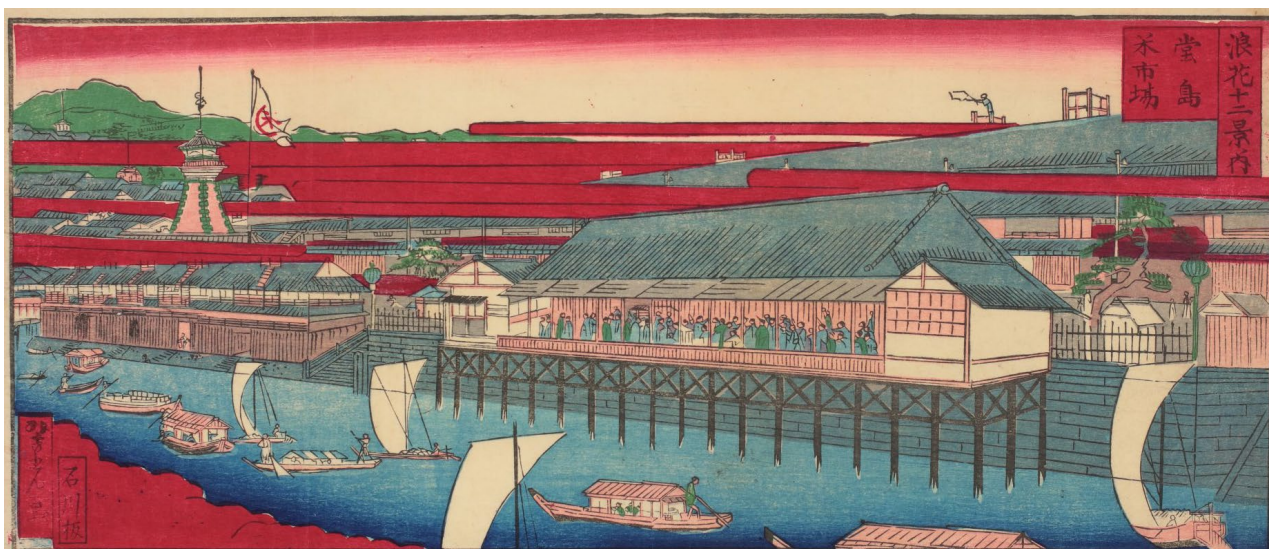


# 米先物取引に関する シーズンレポート (Vol. 6)

(令和7年12月～令和8年2月)



堂島米市場（浪花十二景ノ内）芳光（嘉永3年（1850）～明治24年（1891））画  
大阪府立中之島図書館所蔵

令和8年3月

## 農林水産省

## 【本資料の目的】

「米先物取引に関するシーズンレポート」は、米先物取引について、その価格や取引量の動向、その他関連する情報を収集・整理し、これを原則として3か月ごとに公表することによって、米先物取引に関する各種情報の提供を行うことを目的としております。

今期のレポートは、令和7年12月から令和8年2月までを主な対象としております。

なお、本レポートは、情報提供を目的としたもので、商品先物取引その他の取引の推奨、助言等を目的としたものではありません。

※表紙：堂島米市場（浪花十二景ノ内）芳光（嘉永3年（1850）～明治24年（1891））画  
大阪府立中之島図書館所蔵

堂島川にせり出していた堂島米市場の建物。右上には、相場を伝えるために旗が使われていた様子も描かれている。

## 利用上の注意

### 1 取引データの作成

「米先物取引に関するシーズンレポート」は、特に記載がない限り、堂島取引所・大阪取引所における日々の取引データから得られた情報をもとに農林水産省において作成したものです。

本レポートは将来の市場環境の変動、運用成果等を約束又は予想するものではなく、本レポートに記載された情報の使用又は使用不能により生じた結果については、当省は一切の責任を負いかねます。

### 2 本レポートの引用について

本レポートの引用等を行う場合は、出所を明記してください。

### 3 米先物取引の商品設計（堂島取引所）

取引の種類	指数先物取引
取引の対象	将来における主食用米の平均価格（※） （※） 農林水産省が毎月公表する「米の相対取引価格・数量」における全銘柄についての価格を前年産検査数量で加重平均した値を基に、公益社団法人米穀安定供給確保支援機構が毎月公表する「DI 調査」から推計して算出した数値（1 円の位を四捨五入）
取引単位 (倍率)	3 トン／枚(約定数値に 50 を乗じた値)
立会日・ 立会時間	毎営業日・午前 8 時 45 分～午後 3 時 45 分
取引開始日	奇数月の第 1 営業日
取引期限	取引開始日の属する月から起算した 12 か月以内の各偶数月 (2 月限、4 月限、6 月限、8 月限、10 月限、12 月限)
取引最終日	当月限の最終営業日の前営業日
最終決済日	当月限の最終営業日
最終決済数値	当月限の最終決済日に公表する主食用米の平均価格

#### 4 建玉制限

堂島取引所において、以下のとおり一般投資家一人当たりの取引数量（建玉数）を制限。

##### 【米穀指数】

1 番限（取引最終月）	200 枚
1 番限（取引最終前月）	350 枚
2 番限	500 枚
3 番限	1,000 枚
4 番限～6 番限	2,000 枚

注：1 上記は一般投資家の売り又は買いのそれぞれの建玉上限。当業者、商品先物取引業者等については制限を緩和。

2 1 番限とは各限月のうち最も決済期限に近いもの。それ以降の限月を2 番限、3 番限という。例えば令和7年12月1日時点の米穀指数を例にとると、1 番限は令和7年12月限、2 番限は令和8年2月限、3 番限は4月限、4 番限は6月限、5 番限は8月限、6 番限は10月限。

#### 5 用語の解説

先物取引（さきものとりひき）	将来の一定の時期において、商品及びその対価の授受を約する売買取引であって、当該商品の現物の受渡し若しくは建玉の転売又は買い戻しによる差金の授受によって終了することのできる取引のこと。
限月（げんげつ）	先物取引において売買約定（やくじょう）を最終的に決済しなければならない月のこと。
月限※（がつぎり）	最終決済月が〇月であれば、〇月限と呼ぶ。例：2月限（にがつぎり）
期先※（きさき）	先物取引において、現時点で決済期限を最も後に迎える限月のことをいう。
期近※（きちか）	先物取引において、現時点で決済期限を最も早くに迎える限月のことをいう。
始値※（はじまりね）	一日の最初の約定値段のこと。
高値※（たかね）	相場が高いこと。またはある期間内の一番高い価格のこと。
安値※（やすね）	相場が安いこと。またはある期間内の一番安い価格のこと。
終値※（おわりね）	一日の最終約定値段のこと。
約定（やくじょう）	市場で成立した売買契約のこと。
枚（まい）	取引所における取引の基本となる取引数量または受渡数量を表す最小取引単位の呼称のこと。
出来高（できだか）	市場において成立した売買約定数量のこと。
建玉（たてぎょく）	取引所において売買取引された売買約定によるもので、決済未了のもの。
取組（とりくみ）	売りと買いとが取り組むということから、成立した建玉を取組といい、この売買契約の数量を「取組高」という。
帳入数値※（ちょういれすうち）	各取引日において損益計算をする際の基準となる価格のこと。
数値幅制限※（すうちはばせいげん）	値動きが一定幅に達した場合に、その上限を超える又は下限を下回る価格で取引を成立させない仕組み。米穀指数市場では通常、前営業日の帳入数値の±2%（帳入数値が制限数値幅に達した限月が2以上ある場合は、±0.5%ずつ拡大し、最大で±3%以内。）
当業者（とうぎょうしゃ）	上場商品の売買、売買の媒介、取り次ぎ、生産加工等を業としている関連業者の総称をいう。
商品先物取引法※（しょうひんさきものとりひきほう）	商品先物取引に関する法律。同法に基づき、商品取引所、商品取引清算機関、商品先物取引業者、商品先物取引協会（商品先物取引業者の自主規制組織）等に関する許認可・監督等を行っている。

出典：全国商品取引所連合会（2006）『商品先物取引用語集』（※については、農林水産省が作成。）

# 目 次

1	直近3ヶ月の米穀指数先物取引の動向	
	【概況】	1
	(1) 取引価格の動向	
	ア 限月別取引価格（期間中の値動き）	2
	イ 限月別取引価格（取引開始日からの値動き）	3
	ウ 期先限月取引価格（期間中の高値・安値の動き）	4
	エ 限月別取引開始日の始値、 取引最終日の終値及び数値幅制限の発動状況	5
	(2) 出来高の動向	
	ア 期間中の出来高	6
	イ 平均・最高・最低・合計出来高	6
	ウ 限月別の出来高の平均・最高・最低	7
	(3) 取組高の動向	
	ア 期間中の取組高	8
	イ 最高・最低取組高等	8
	ウ 限月別取組高	9
	(4) 取引参加者の構成	
	ア 受託取引参加者別出来高（各月の出来高）	10
	イ 受託取引参加者別建玉割合（各月末の建玉割合）	11
	ウ 当業者・非当業者別建玉割合	12
	エ 自己取引・委託取引の割合	13
	オ 建玉報告対象者の割合	13
	(5) 直近3ヶ月のデータ	
	ア 期間中の価格（終値）	14
	イ 期間中の出来高	16
2	関連情報	
	(1) 米の関連情報	
	ア 米の取引価格及び数量	18
	イ 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和8年2月分）	21
	ウ 事前契約（播種前契約）の取組状況	26
	エ 米の販売・消費動向	28
	オ 米の民間在庫情報	35
	カ 主食用米等の需給見通し（米の基本指針（令和7年10月31日））	39
	キ 令和7年産水稻の収穫量	45
	(2) 金の関連情報（大阪取引所）	
	ア 取引価格	48
	イ 出来高	48
	ウ 取組高	49

### 3 参考資料

- (1) 現物市場と先物市場（堂島取引所）との連携について . . . . . 50
- (2) 米先物取引に係るこれまでの主な経過 . . . . . 51

# **1 直近3ヶ月の米穀指数 先物取引の動向**

**【R7. 12. 1～R8. 2. 27】**



# 概況

(令和7年12月～令和8年2月)

## 【価格】

- ・ 令和7年12月限、令和8年2月限及び4月限は、概ね上昇傾向で推移。
- ・ 令和8年6月限、8月限及び10月限は、下落して始まったが、その後は概ね横ばいで推移。
- ・ 令和8年12月限は、概ねゆるやかな下落傾向で推移。
- ・ 令和7年12月限、令和8年2月限の最終決済数値は、それぞれ37,810円、36,270円。

令和7年12月限は12月30日、令和8年2月限は2月27日に最終決済日を迎え、最終決済数値はそれぞれ37,810円、36,270円。

その他の各限月の期間中最後の取引日（2月27日）における終値は、令和8年4月限：32,980円、6月限：31,890円、8月限：29,000円、10月限：28,000円、12月限：26,960円

## 【出来高】

- ・ 期間中合計は、20,222枚（前四半期（令和7年9月～11月）は19,837枚）。
- 期間中の一日あたり平均出来高は、343枚（前四半期は331枚）。

令和7年12月は6,710枚、令和8年1月は7,247枚と出来高が増加したが、2月は営業日数が少なかったこともあり、合計で6,265枚成約となり減少した。

期間中の限月ごとの内訳は、令和7年12月限：173枚、令和8年2月限：3,109枚、4月限：3,449枚、6月限：3,531枚、8月限：3,749枚、10月限：4,451枚、12月限：1,760枚

# (1) 取引価格の動向

## ア 限月別取引価格（期間中の値動き）

図 期間中の値動き（米穀指数）

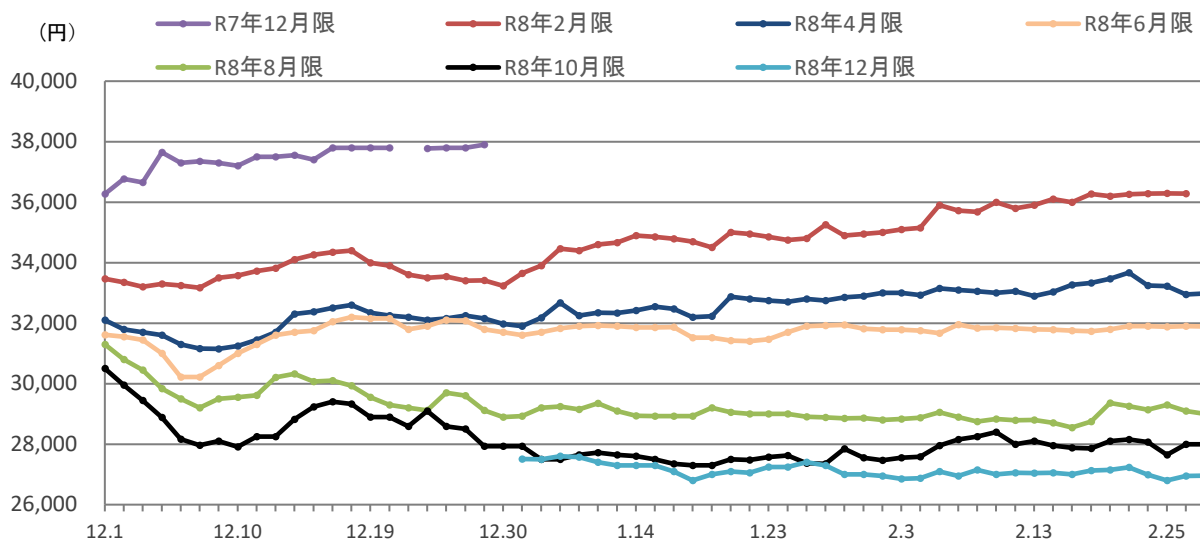


表 3ヵ月間の平均・最高・最低価格（米穀指数）

	平均	最 高		最 低	
		年 月 日	価 格	年 月 日	価 格
R7年12月～R8年2月	(円) 30,746	R7年12月29日	37,900 (円)	R8年1月19日	26,700 (円)
12月	30,792	R7年12月29日	37,900	R7年12月30日	27,500
1月	30,588	R8年1月28日	35,260	R8年1月19日	26,700
2月	30,880	R8年2月25日	36,290	R8年2月25日	26,750

注：1 図は令和7年12月1日から令和8年2月27日の間に取引が行われた各限月（げんげつ）の毎日の価格の終値の推移を表している。  
 2 表は上記期間における全ての限月の平均・最高・最低の価格を表している。なお、同一価格が複数あった場合は最初の日付を掲載。（終値とは限らないため、図とは一致しない。）  
 3 価格は玄米60kg当たり。

## イ 限月別取引価格（取引開始日からの値動き）

図 取引開始日からの値動き（米穀指数）

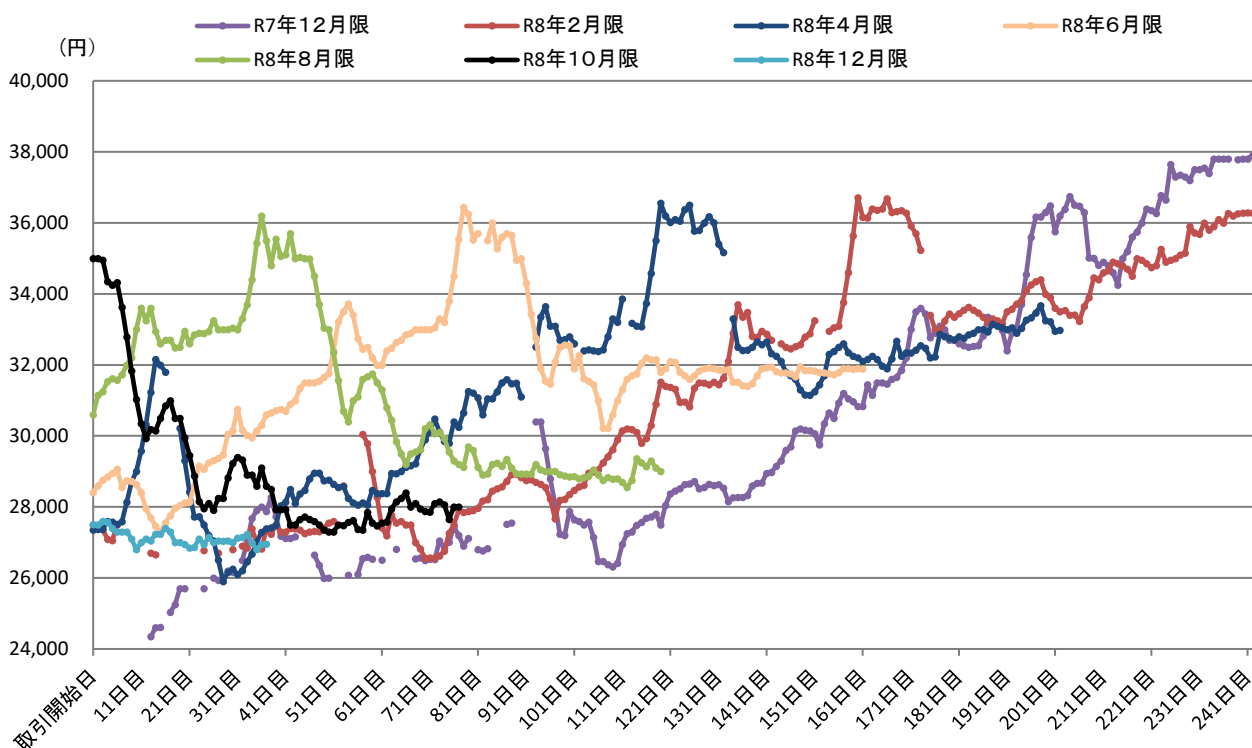


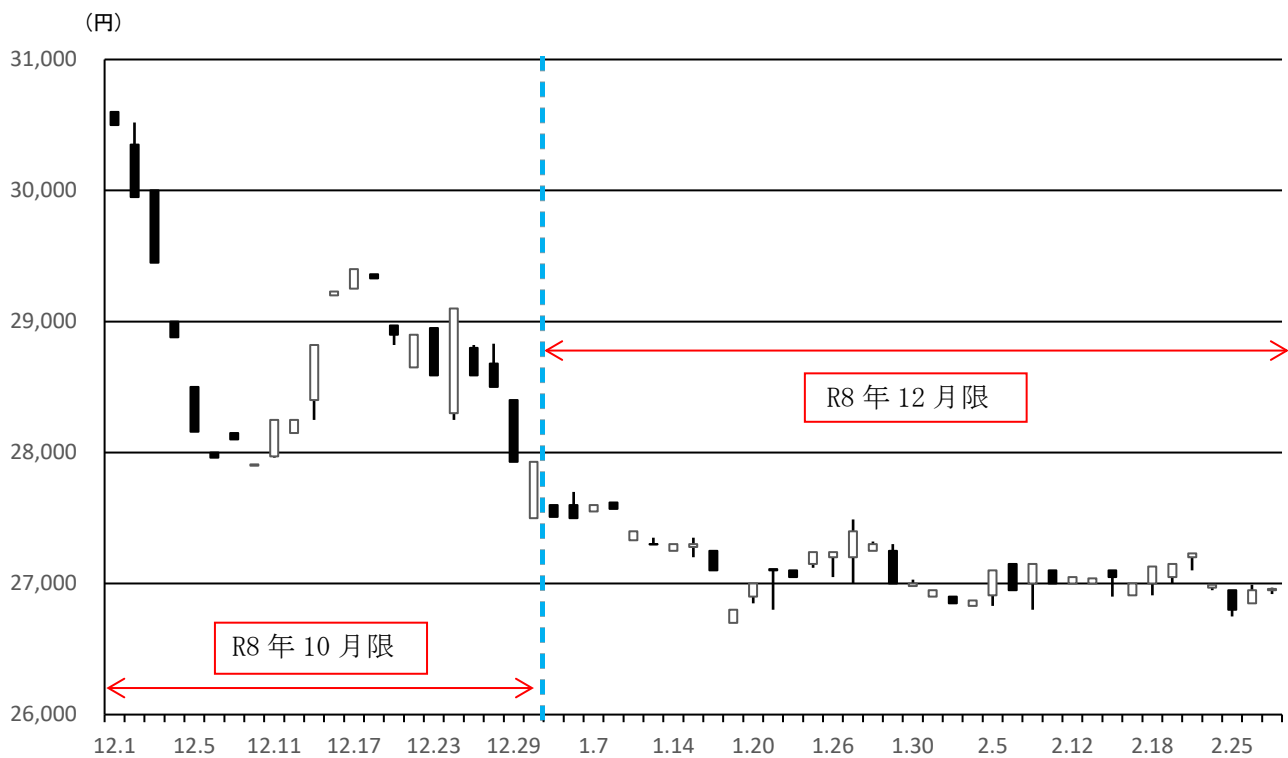
表 取引開始日からの平均・最高・最低（米穀指数）

限 月	営業 日数	平 均	最 高		最 低		2月 末 現 在
			価 格	年 月 日	価 格	年 月 日	
	(日)	(円)	(円)		(円)		
R7年12月限	242	29,089	37,900	R7年12月29日	24,300	R7年1月23日	取引終了
R8年2月限	242	30,743	36,710	R7年10月23日	26,020	R7年6月12日	取引終了
R8年4月限	202	30,745	36,570	R7年10月23日	25,850	R7年6月11日	取引中
R8年6月限	161	31,206	36,550	R7年10月23日	27,280	R7年7月22日	取引中
R8年8月限	119	31,471	36,490	R7年10月23日	28,550	R8年2月17日	取引中
R8年10月限	77	29,486	35,300	R7年11月4日	27,060	R8年1月16日	取引中
R8年12月限	37	27,087	27,700	R8年1月6日	26,700	R8年1月19日	取引中

- 注：1 図は令和7年12月1日から令和8年2月27日の間に取引が行われた各限月（げんげつ）の取引開始日からの価格の終値を表している。  
 2 表は上記期間における各限月の平均・最高・最低の価格を表している。なお、同一価格が複数あった場合は最初の日付を記載。（終値とは限らないため、図とは一致しない。）  
 3 価格は玄米60kg当たり。

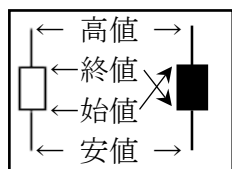
## ウ 期先限月取引価格（期間中の高値・安値の動き）

図 期間中の高値・安値の動き（米穀指数）



注：最終的に決済しなければならない期日が最も先の限月（期先限月）の1日の始値、高値、安値、終値の推移を表している（新たな期先限月の取引開始後は当該限月の価格に切替え。）。

ローソク足の見方



※ 終値が始値より高い場合、白抜き。終値が始値より低い場合、黒塗り。

## エ 限月別取引開始日の始値、取引最終日の終値及び数値幅制限の発動状況

表1 取引開始日の始値、取引最終日の終値（米穀指数）

限 月	産 年	取 引 開 始 日		取 引 最 終 日		2 月 末 現 在	
		年	月 日	年	月 日	年	月 日
	(年)	(円)	(円)	(円)	(円)		
R7年12月限	7	24,300	R7年1月23日	37,900	R7年12月29日	取引終了	
R8年2月限	7	27,500	R7年3月3日	36,280	R8年2月26日	取引終了	
R8年4月限	7	27,350	R7年5月1日	取引中		32,980	R8年2月27日
R8年6月限	7	28,300	R7年7月1日	取引中		31,890	R8年2月27日
R8年8月限	7	30,600	R7年9月1日	取引中		29,000	R8年2月27日
R8年10月限	8	34,990	R7年11月4日	取引中		28,000	R8年2月27日
R8年12月限	8	27,600	R8年1月5日	取引中		26,960	R8年2月27日

- 注：1 取引開始日に取引が成立しなかった場合は、最初に取引が成立した日の始値を取引開始日の始値とする。  
 2 取引最終日に取引が成立しなかった場合は、最後に取引が成立した日の終値を取引最終日の終値とする。  
 3 2月末現在は当該月の最終営業日の終値（当該月の最終営業日に取引が成立しなかった場合は最後に取引が成立した日の終値。）。

表2 数値幅制限の発動状況（米穀指数）

限 月	12 月 ～ 2 月			12 月			1 月			2 月		
	営業 日数	ストップ° 高	ストップ° 安	営業 日数	ストップ° 高	ストップ° 安	営業 日数	ストップ° 高	ストップ° 安	営業 日数	ストップ° 高	ストップ° 安
R7年12月限	(日) 21	(回) -	(回) -	(日) 21	(回) -	(回) -	(日) -	(回) -	(回) -	(日) -	(回) -	(回) -
R8年2月限	58	-	-	22	-	-	19	-	-	17	-	-
R8年4月限	59	1	-	22	-	-	19	1	-	18	-	-
R8年6月限	59	-	2	22	-	2	19	-	-	18	-	-
R8年8月限	59	3	1	22	2	1	19	-	-	18	1	-
R8年10月限	59	1	4	22	1	4	19	-	-	18	-	-
R8年12月限	37	-	-	-	-	-	19	-	-	18	-	-

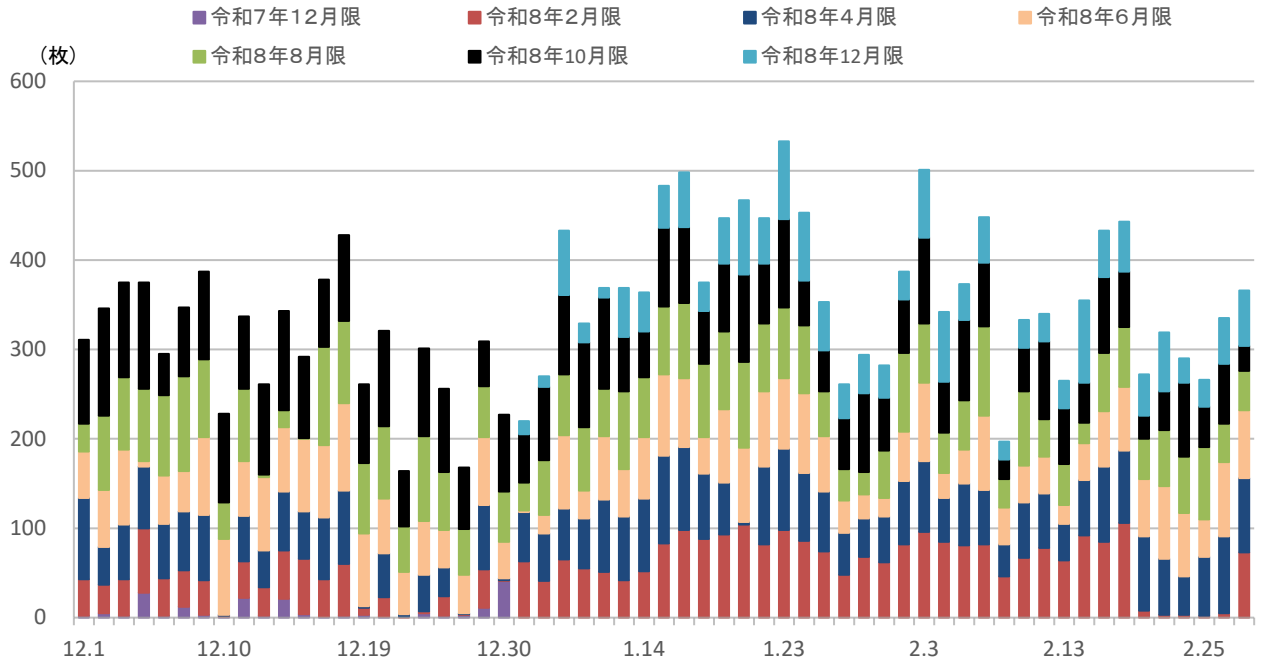
表3 取引開始日からの数値幅制限の発動状況（米穀指数）

限 月	取 引 開 始 日 か ら		
	営業 日数	ストップ° 高	ストップ° 安
	(日)	(回)	(回)
R7年12月限	242	12	7
R8年2月限	242	9	4
R8年4月限	202	14	7
R8年6月限	161	6	10
R8年8月限	119	5	4
R8年10月限	77	1	6
R8年12月限	37	-	-

## (2) 出来高の動向

### ア 期間中の出来高

図 期間中の出来高の動き



### イ 平均・最高・最低・合計出来高

表 1-1 3ヵ月間の平均・最高・最低・合計出来高（米穀指数）

単位：枚

	12月～2月			
	平均	最高	最低	合計
米穀指数	343	533	164	20,222

表 1-2 各月の平均・最高・最低・合計出来高（米穀指数）

単位：枚

	12月				1月				2月			
	平均	最高	最低	合計	平均	最高	最低	合計	平均	最高	最低	合計
米穀指数	305	428	164	6,710	381	533	220	7,247	348	501	197	6,265

表 1-3 取引開始日からの平均・最高・最低・合計出来高（米穀指数）

単位：枚

	取引開始日から			
	平均	最高	最低	合計
米穀指数	318	1,100	0	119,512

- 注：1 出来高とは市場において成立した売買契約の数（売りと買いセットで1枚とカウント）。  
 2 図は令和7年12月1日から令和8年2月27日までの毎日の出来高の合計。  
 3 表はそれぞれの期間ごとに1日の出来高の平均、最高及び最低を表している。

## ウ 限月別の出来高の平均・最高・最低

表 1-1 取引開始日からの出来高の平均・最高・最低（米穀指数）

限 月	営業 日数	平 均	最 高		最 低		2 月 末 現 在
			年 月 日	年 月 日			
	(日)	(枚)	(枚)		(枚)		
R7年12月限	242	51	297	R7年4月25日	0	R7年1月6日	取引終了
R8年2月限	242	60	293	R7年4月24日	0	R7年3月11日	取引終了
R8年4月限	202	63	296	R7年5月15日	0	R7年5月27日	取引中
R8年6月限	161	70	224	R7年8月25日	0	R7年10月29日	取引中
R8年8月限	119	70	205	R7年10月28日	1	R7年9月1日	取引中
R8年10月限	77	82	220	R7年11月12日	20	R7年11月4日	取引中
R8年12月限	37	48	92	R8年2月16日	11	R8年1月9日	取引中

注：表は令和7年12月1日から令和8年2月27日までに取引が行われた全ての限月について、それぞれの限月の取引開始日から令和8年2月27日までの平均・最高・最低の1日当たりの出来高を表している。なお、同一枚数が複数日あった場合は最初の日付を掲載。

表 1-2 期間中の出来高の平均・最高・最低（米穀指数）

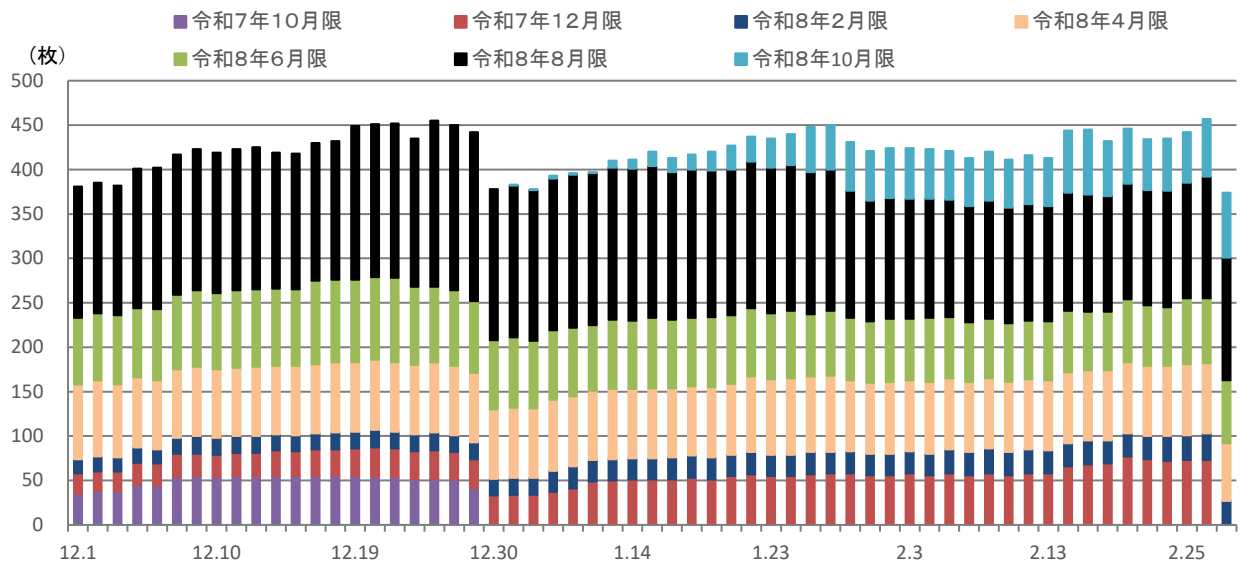
限 月	営業 日数	平 均	最 高		最 低		2 月 末 現 在
			年 月 日	年 月 日			
	(日)	(枚)	(枚)		(枚)		
R7年12月限	21	8	41	R7年12月30日	0	R7年12月23日	取引終了
R8年2月限	58	54	106	R8年2月18日	1	R7年12月10日	取引終了
R8年4月限	59	58	98	R8年1月15日	1	R7年12月10日	取引中
R8年6月限	59	60	98	R7年12月18日	2	R8年1月5日	取引中
R8年8月限	59	64	110	R7年12月17日	1	R7年12月16日	取引中
R8年10月限	59	75	120	R7年12月2日	22	R8年2月9日	取引中
R8年12月限	37	48	92	R8年2月16日	11	R8年1月9日	取引中

注：表は令和7年12月1日から令和8年2月27日までに取引が行われた（最終決済日を含む）全ての限月について、それぞれの限月の令和7年12月1日から令和8年2月27日までの平均・最高・最低の1日当たりの出来高を表している。なお、同一枚数が複数日あった場合は最初の日付を掲載。

### (3) 取組高の動向

#### ア 期間中の取組高

図 期間中の取組高の動き



#### イ 最高・最低取組高等

表 1-1 3ヵ月間の月末・最高・最低取組高（米穀指数）

単位：枚

	12月～2月		12月		1月			2月			
	最高	最低	末値	最高	最低	末値	最高	最低	末値	最高	最低
米穀指数	457	374	378	455	378	421	450	378	374	457	374

表 1-2 取引開始日からの最高・最低取組高（米穀指数）

単位：枚

	取引開始日から	
	最高	最低
米穀指数	457	0

- 注：1 取組高とは市場において成立した未決済売買契約の数（売りと買いセットで1枚とカウント）。
- 2 図は令和7年12月1日から令和8年2月27日までの毎日の取組高の合計。
- 3 表1-1はそれぞれの期間ごとに1日の取組高の月末の値、最高及び最低を表している。

## ウ 限月別取組高

表 米穀指数

単位：枚

	R 7年 2月限	4月限	6月限	8月限	10月限	12月限	R 8年 2月限	4月限	6月限	8月限	10月限	12月限	合計
R6年													
8月末	45	24	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	84
9月末	46	23	6	8	-	-	-	-	-	-	-	-	83
10月末	43	25	7	12	-	-	-	-	-	-	-	-	87
11月末	45	25	7	11	12	-	-	-	-	-	-	-	100
12月末	79	26	14	16	16	-	-	-	-	-	-	-	151
R7年													
1月末	53	28	13	21	19	2	-	-	-	-	-	-	136
2月末	-	32	14	21	20	10	-	-	-	-	-	-	97
3月末	-	35	83	27	19	9	3	-	-	-	-	-	176
4月末	-	-	102	33	26	10	16	-	-	-	-	-	187
5月末	-	-	32	32	27	16	20	61	-	-	-	-	188
6月末	-	-	-	28	23	18	19	12	-	-	-	-	100
7月末	-	-	-	22	25	18	18	14	6	-	-	-	103
8月末	-	-	-	-	38	53	18	15	139	-	-	-	263
9月末	-	-	-	-	36	59	23	15	113	118	-	-	364
10月末	-	-	-	-	-	55	20	21	90	130	-	-	316
11月末	-	-	-	-	-	35	22	16	84	74	134	-	365
12月末	-	-	-	-	-	-	33	19	78	78	170	-	378
R8年													
1月末	-	-	-	-	-	-	56	24	80	69	136	56	421
2月末	-	-	-	-	-	-	-	27	65	71	138	73	374

注： 各限月の月末時点の取組高を掲載。

#### (4) 取引参加者の構成

##### ア 受託取引参加者別出来高（令和7年12月～令和8年2月の各月の出来高）

図1 出来高（売）

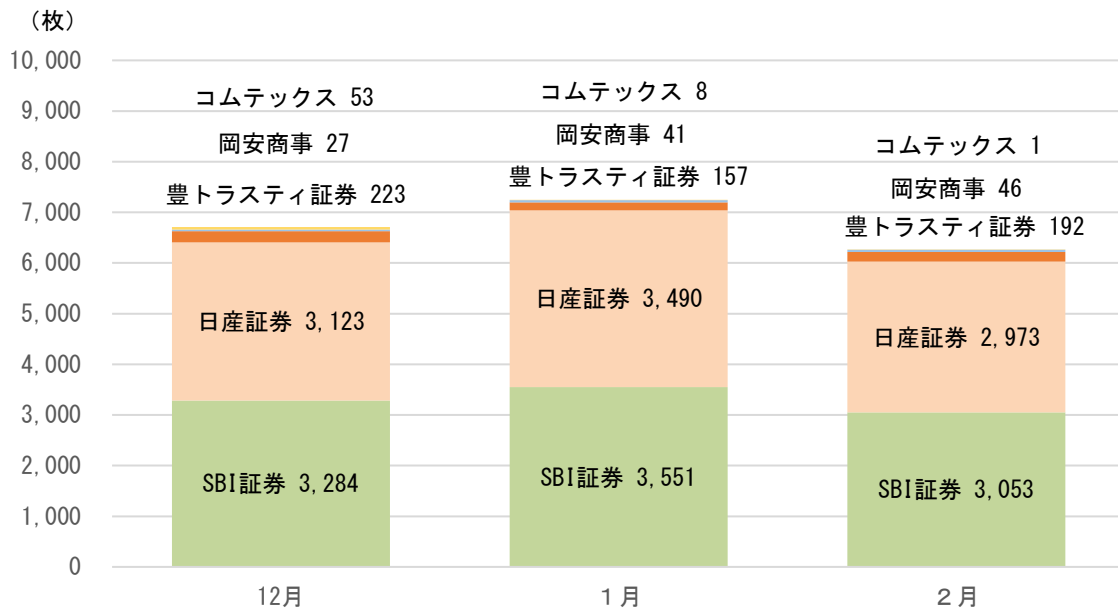
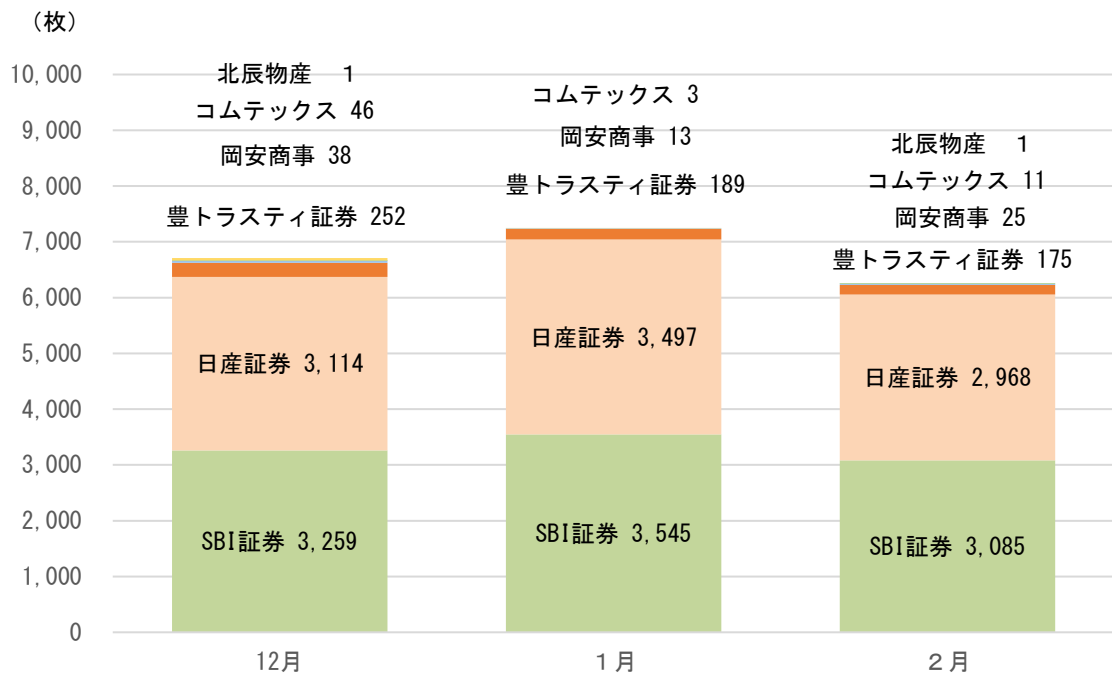


図2 出来高（買）



注： 令和7年12月1日から令和8年2月27日の各月の取引における各受託取引参加者の出来高。

イ 受託取引参加者別建玉割合（令和7年12月～令和8年2月の各月末の建玉割合）

図1 12月末売建玉

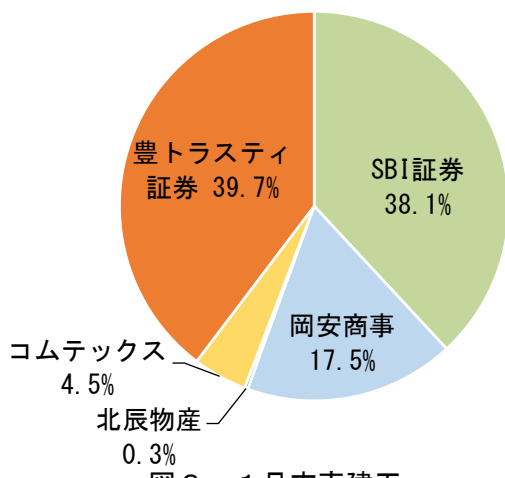


図2 12月末買建玉

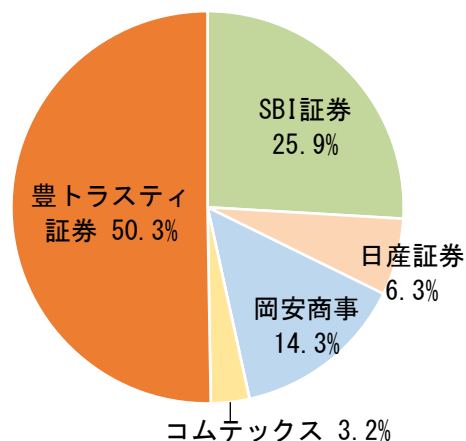


図3 1月末売建玉

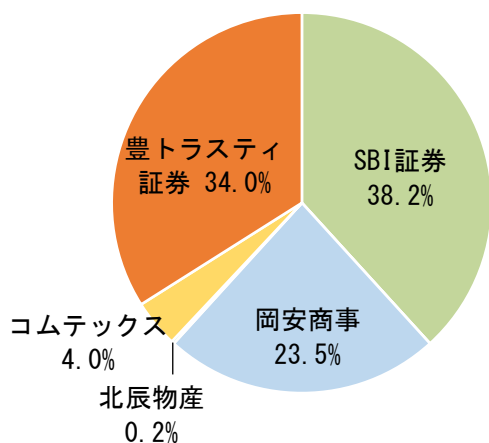


図4 1月末買建玉

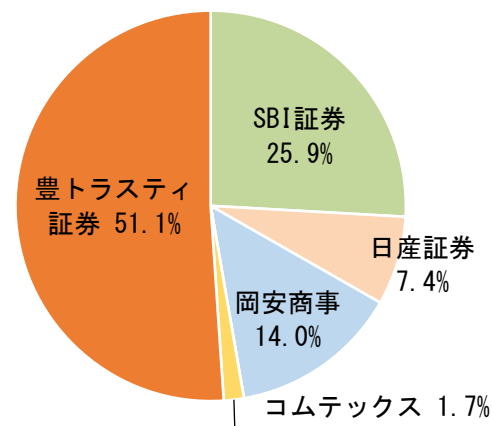


図5 2月末売建玉

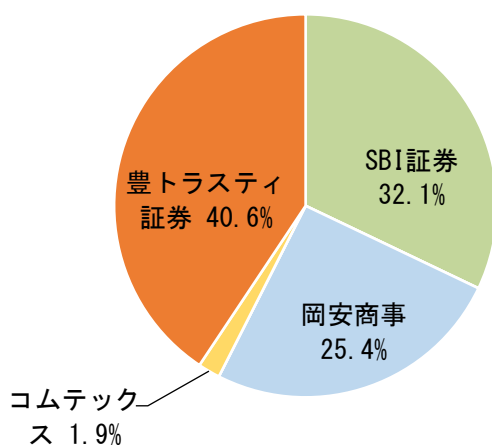
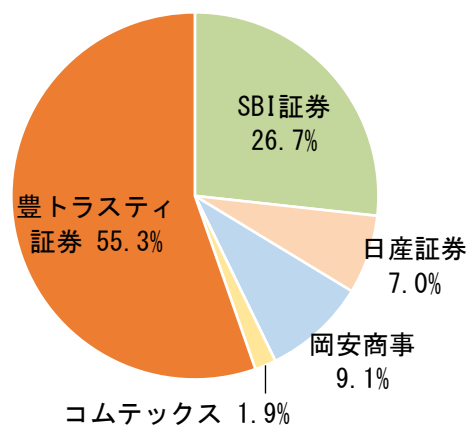


図6 2月末買建玉



注：1 令和7年12月から令和8年2月の各月末時点の建玉における受託取引参加者の割合。  
2 ラウンドの関係で計が100%とならない場合がある。

ウ 当業者・非当業者別建玉割合（令和7年12月～令和8年2月の各月末の建玉割合）

図1 12月末売建玉

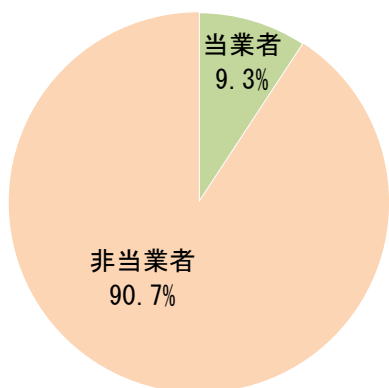


図2 12月末買建玉

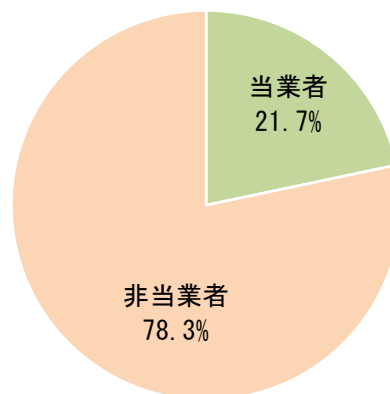


図3 1月末売建玉

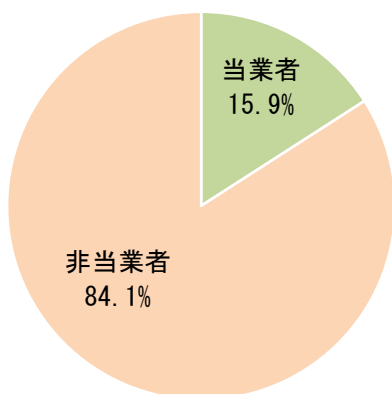


図4 1月末買建玉

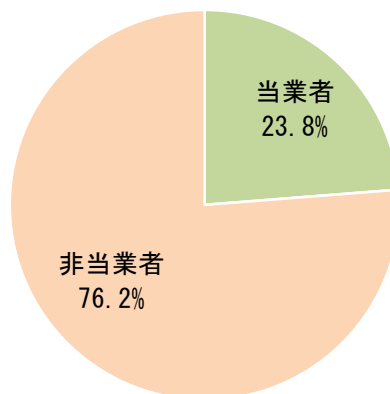


図5 2月末売建玉

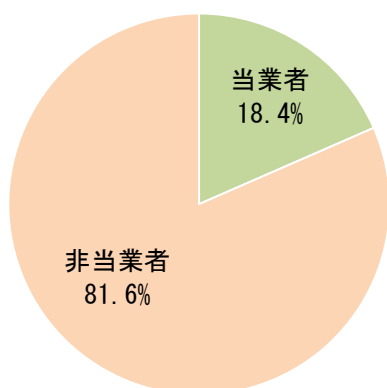
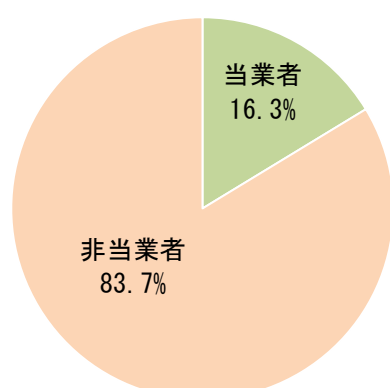


図6 2月末買建玉



注：1 取引所において把握している、令和7年12月から令和8年2月の各月末時点の建玉における当業者・非当業者の割合。  
 2 建玉とは、市場において成立した売買契約（将来売買する約束）のうち、まだ転売・買戻しが行われず、市場に残っている売買契約の総数（売りと買いそれぞれ1枚とカウント）。  
 3 当業者とは、米の売買、売買の媒介、取次ぎ若しくは代理、生産、加工、又は使用を業として行っている者（生産者、卸・小売業者、米加工品製造業者、外食事業者等）。

## エ 自己取引・委託取引の割合

表 各月末時点（米穀指数）

	建					玉			
	売					買			
	自	己	(%)	委	託	自	己	(%)	委
	(枚)	(枚)	(%)	(枚)	(%)	(枚)	(%)	(枚)	(%)
12月末	378	-	-	378	100	-	-	378	100
1月末	421	-	-	421	100	-	-	421	100
2月末	374	-	-	374	100	-	-	374	100

注：自己取引とは、取引参加資格を持つ者が自己資金で行う売買であり、委託取引とは、商品先物取引業者が顧客から委託を受けて、当該顧客の資金で行う売買をいう。

## オ 建玉報告対象者の割合

表 各月末時点（米穀指数）

	建			玉	
	売			買	
	(枚)	(枚)	(%)	(枚)	(%)
12月末	378	202	53.4	160	42.3
1月末	421	200	47.5	157	37.3
2月末	374	162	43.3	165	44.1

注：建玉報告対象者とは、それぞれの商品先物市場において、一定の建玉（堂島取引所の米穀指数については21枚以上）を有する者。商品先物取引法第112条第2号に基づき、商品取引所は当該建玉の状況等を、毎日主務大臣に報告することとされている。

(5) 直近3ヶ月のデータ

ア 期間中の価格（終値）

表1-1 米穀指数（12・1月）

単位：円

	R7年12月限	R8年2月限	R8年4月限	R8年6月限	R8年8月限	R8年10月限	R8年12月限
R7年12月1日	36,270	33,470	32,100	31,620	31,300	30,500	
12月2日	36,770	33,350	31,800	31,550	30,800	29,950	
12月3日	36,650	33,200	31,700	31,450	30,450	29,450	
12月4日	37,650	33,300	31,600	31,000	29,840	28,880	
12月5日	37,300	33,250	31,300	30,220	29,500	28,160	
12月8日	37,350	33,170	31,160	30,220	29,200	27,960	
12月9日	37,300	33,500	31,150	30,600	29,500	28,100	
12月10日	37,200	33,570	31,250	31,000	29,550	27,910	
12月11日	37,500	33,720	31,450	31,300	29,620	28,250	
12月12日	37,500	33,820	31,700	31,600	30,210	28,250	
12月15日	37,550	34,100	32,300	31,700	30,320	28,820	
12月16日	37,400	34,260	32,380	31,750	30,070	29,230	
12月17日	37,800	34,350	32,500	32,050	30,100	29,400	
12月18日	37,800	34,400	32,600	32,200	29,930	29,330	
12月19日	37,800	34,000	32,350	32,150	29,550	28,900	
12月22日	37,800	33,900	32,250	32,150	29,300	28,900	
12月23日		33,600	32,200	31,800	29,200	28,590	
12月24日	37,780	33,500	32,100	31,900	29,120	29,100	
12月25日	37,800	33,540	32,160	32,100	29,700	28,590	
12月26日	37,800	33,400	32,250	32,080	29,600	28,500	
12月29日	37,900	33,410	32,160	31,800	29,120	27,930	
12月30日		33,230	31,970	31,700	28,900	27,930	
R8年1月5日		33,650	31,900	31,600	28,930	27,930	27,510
1月6日		33,900	32,180	31,700	29,200	27,500	27,500
1月7日		34,460	32,670	31,830	29,240	27,500	27,600
1月8日		34,400	32,250	31,900	29,150	27,650	27,570
1月9日		34,600	32,350	31,920	29,350	27,720	27,400
1月13日		34,660	32,340	31,900	29,100	27,650	27,300
1月14日		34,900	32,420	31,860	28,940	27,600	27,300
1月15日		34,850	32,550	31,860	28,930	27,500	27,300
1月16日		34,790	32,470	31,870	28,930	27,350	27,100
1月19日		34,700	32,200	31,520	28,930	27,300	26,800
1月20日		34,500	32,230	31,520	29,200	27,300	27,000
1月21日		35,000	32,870	31,420	29,050	27,500	27,100
1月22日		34,950	32,800	31,400	29,000	27,480	27,050
1月23日		34,850	32,750	31,470	29,000	27,570	27,240
1月26日		34,750	32,710	31,700	29,000	27,620	27,240
1月27日		34,800	32,800	31,900	28,910	27,370	27,400
1月28日		35,260	32,750	31,920	28,880	27,350	27,300
1月29日		34,900	32,850	31,940	28,850	27,850	27,000
1月30日		34,950	32,900	31,820	28,860	27,550	27,000

表 1-2 米穀指数 (2月)

単位：円

	R7年12月限	R8年2月限	R8年4月限	R8年6月限	R8年8月限	R8年10月限	R8年12月限
R8年2月2日		35,000	33,000	31,780	28,800	27,470	26,950
2月3日		35,100	33,000	31,780	28,830	27,550	26,850
2月4日		35,150	32,930	31,750	28,870	27,580	26,870
2月5日		35,900	33,150	31,670	29,050	27,950	27,100
2月6日		35,720	33,100	31,950	28,900	28,150	26,950
2月9日		35,680	33,050	31,840	28,750	28,250	27,150
2月10日		36,000	33,000	31,850	28,830	28,400	27,000
2月12日		35,800	33,050	31,830	28,790	28,000	27,050
2月13日		35,900	32,900	31,790	28,800	28,100	27,040
2月16日		36,100	33,030	31,780	28,700	27,950	27,050
2月17日		36,000	33,270	31,750	28,550	27,880	27,000
2月18日		36,270	33,330	31,730	28,750	27,860	27,130
2月19日		36,200	33,470	31,790	29,360	28,100	27,150
2月20日		36,260	33,670	31,900	29,250	28,150	27,230
2月24日		36,280	33,250	31,900	29,140	28,070	26,990
2月25日		36,290	33,220	31,880	29,300	27,650	26,800
2月26日		36,280	32,950	31,900	29,100	28,000	26,950
2月27日			32,980	31,890	29,000	28,000	26,960

## イ 期間中の出来高

表 1-1 米穀指数 (12・1月)

単位：枚

	R7年12月限	R8年2月限	R8年4月限	R8年6月限	R8年8月限	R8年10月限	R8年12月限	合計
R7年12月1日	2	41	91	52	31	94		311
12月2日	5	32	42	64	83	120		346
12月3日	2	41	61	84	81	106		375
12月4日	28	72	69	6	81	119		375
12月5日	2	42	61	54	90	46		295
12月8日	12	41	66	45	106	77		347
12月9日	3	39	73	87	87	98		387
12月10日	1	1	1	85	41	99		228
12月11日	22	41	51	61	81	81		337
12月12日	2	32	41	82	3	101		261
12月15日	21	54	66	72	19	111		343
12月16日	4	62	53	81	1	91		292
12月17日	1	42	69	81	110	75		378
12月18日	2	58	82	98	92	96		428
12月19日	3	8	2	81	79	88		261
12月22日	1	22	49	61	81	107		321
12月23日		1	3	47	51	62		164
12月24日	5	2	41	60	95	98		301
12月25日	2	22	32	42	65	93		256
12月26日	3	1	1	43	51	69		168
12月29日	11	43	72	76	57	50		309
12月30日	41	1	2	41	56	86		227
12月計	173	698	1,028	1,403	1,441	1,967		6,710
R8年1月5日		63	55	2	31	54	15	220
1月6日		41	53	21	61	82	12	270
1月7日		65	57	82	68	89	72	433
1月8日		55	56	31	71	95	21	329
1月9日		51	81	71	53	102	11	369
1月13日		42	71	53	87	61	55	369
1月14日		52	81	69	67	51	44	364
1月15日		83	98	91	76	88	47	483
1月16日		98	93	77	84	85	61	498
1月19日		88	73	41	82	59	32	375
1月20日		93	58	82	87	76	51	447
1月21日		104	3	83	96	98	83	467
1月22日		82	87	84	76	67	51	447
1月23日		98	91	79	79	99	87	533
1月26日		86	76	89	76	50	76	453
1月27日		74	67	62	50	46	54	353
1月28日		48	47	36	35	57	38	261
1月29日		68	43	27	25	88	43	294
1月30日		62	51	21	53	59	36	282
1月計		1,353	1,241	1,101	1,257	1,406	889	7,247

表 1-2 米穀指数 (2月)

単位：枚

	R7年12月限	R8年2月限	R8年4月限	R8年6月限	R8年8月限	R8年10月限	R8年12月限	合計
R8年2月2日		82	71	55	88	60	31	387
2月3日		96	79	88	66	96	76	501
2月4日		85	49	28	45	57	78	342
2月5日		81	69	38	55	90	40	373
2月6日		82	61	83	100	71	51	448
2月9日		46	36	41	32	22	20	197
2月10日		67	62	41	83	49	31	333
2月12日		78	61	41	42	87	31	340
2月13日		64	41	21	46	62	31	265
2月16日		92	62	41	23	45	92	355
2月17日		85	84	62	65	85	52	433
2月18日		106	81	71	67	62	56	443
2月19日		8	83	64	45	26	46	272
2月20日		3	63	81	63	43	66	319
2月24日		3	43	71	63	83	27	290
2月25日		2	66	42	81	45	30	266
2月26日		5	86	83	43	67	51	335
2月27日		73	83	76	44	28	62	366
2月計		1,058	1,180	1,027	1,051	1,078	871	6,265



## 2 関連情報



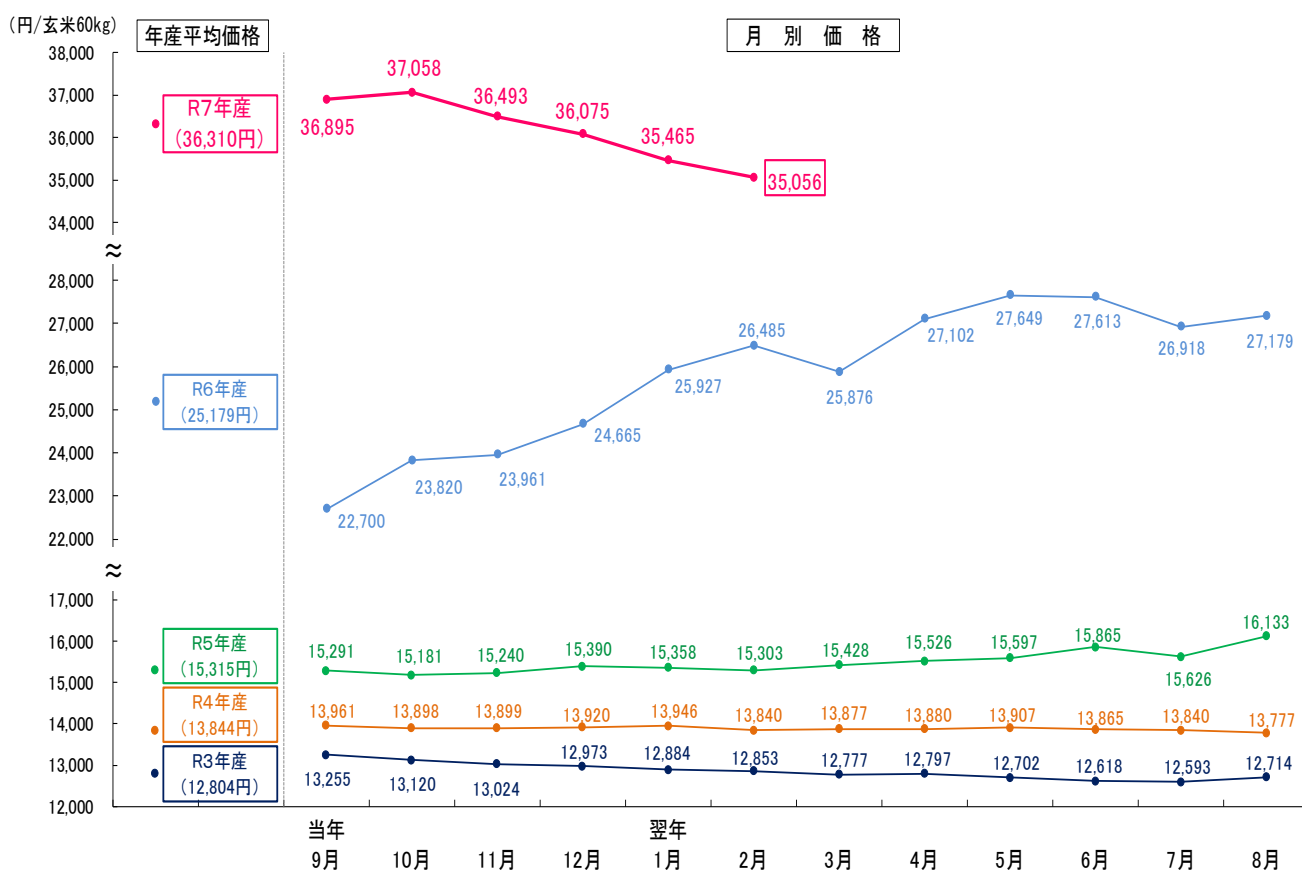
# (1) 米の関連情報

## ア 米の取引価格及び数量

### (ア) 年産別の相対取引価格（速報）

- 令和7年産米の令和8年2月の相対取引価格は、全銘柄平均で 35,056 円/玄米 60kg となり、対前年同月+8,571 円（+32%）、対前月▲409 円（▲1%）となったところ。また、取引数量は、11.1 万トン（対前年同月比▲34%）となった。
- 年産平均価格は 36,310 円/玄米 60kg となり、対前年+11,131 円（+44%）となった。

相対取引価格の推移（税込）（全銘柄平均価格）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格である。

注2：グラフ左側の年産平均価格は、当該年産の出回りから翌年10月まで（7年産は出回りから令和8年2月までの速報値）の通年平均価格、右側は月ごとの価格の推移

(イ) 相対取引価格・数量 (令和7年産米、産地品種銘柄別、令和8年2月分) (速報)

相対取引価格・数量 (北海道から愛知まで)

(単位:円/玄米60kg税込、玄米トン)

産地	品種銘柄	7年産米 令和8年2月		月別価格						年産平均価格			取引数量					
		価格 ①	数量 ②	7年産米 (8年1月)		6年産米 (7年2月)		7年産米 出回り~ 8年2月		6年産米 出回り~ 7年10月		7年産米 (8年1月)	対前年 同月比	対前年 同月比	6年産米 (7年2月)	7年産米 出回り~ 8年2月	6年産米 出回り~ 7年2月	対前年 同期比
				③	①/③	④	①/④	⑤	⑥	⑤/⑥	⑦							
北海道	ななつぼし	32,958	9,257	35,563	93%	118%	28,020	35,639	27,035	132%	12,114	76%	65%	14,170	76,591	90,092	85%	
北海道	ゆめびりか	36,973	3,798	37,281	99%	122%	30,221	37,311	28,034	133%	4,659	82%	48%	7,904	38,743	52,448	74%	
北海道	きらら397	35,570	725	35,743	100%	128%	27,786	35,663	26,349	135%	879	82%	27%	2,639	5,646	12,508	45%	
青森	まっしら	30,982	8,790	31,286	99%	99%	31,357	34,704	26,297	132%	14,128	62%	454%	1,937	78,745	54,710	144%	
青森	はれわた	35,759	706	34,526	104%	-	-	36,719	-	-	431	164%	-	-	12,478	-	-	
岩手	ひとめぼれ	35,804	1,844	34,130	105%	143%	25,005	36,860	24,101	153%	1,819	101%	14%	13,023	54,512	53,420	102%	
岩手	銀河のしずく	31,542	1,384	-	-	121%	26,099	36,966	24,387	152%	-	-	150%	921	16,567	14,565	114%	
岩手	あきたこまち	-	-	35,390	-	-	25,601	38,011	25,413	150%	148	-	-	1,007	4,754	5,113	93%	
宮城	ひとめぼれ	34,598	2,154	36,270	95%	131%	26,477	37,164	24,315	153%	1,235	174%	14%	15,936	108,559	87,244	124%	
宮城	つや姫	33,252	166	39,512	84%	117%	28,441	36,220	24,276	149%	521	32%	7%	2,243	12,096	11,894	102%	
宮城	ササニシキ	-	-	38,477	-	-	24,187	38,596	24,726	156%	132	-	-	150	7,089	7,755	91%	
秋田	あきたこまち	37,749	14,604	36,724	103%	147%	25,634	38,230	24,806	154%	14,982	97%	61%	24,015	100,322	96,725	104%	
秋田	めんこいな	34,850	1,098	32,000	109%	141%	24,639	36,376	23,770	153%	865	127%	225%	487	6,552	3,974	165%	
秋田	ひとめぼれ	35,721	2,245	34,535	103%	158%	22,650	35,597	22,285	160%	1,870	120%	46%	4,928	12,761	13,444	95%	
山形	はえぬき	32,807	6,026	35,099	93%	123%	26,630	35,432	25,804	137%	5,261	115%	29%	20,480	50,995	42,000	121%	
山形	つや姫	37,272	3,963	40,554	92%	132%	28,282	39,639	28,137	141%	1,663	238%	59%	6,718	27,166	24,470	111%	
山形	雪若丸	33,012	2,991	36,867	90%	123%	26,864	36,245	26,676	136%	1,562	191%	102%	2,944	14,223	11,090	128%	
福島	コシヒカリ(中通り)	29,854	2,970	37,195	80%	104%	28,606	36,345	27,013	135%	1,745	170%	454%	654	30,359	20,669	147%	
福島	コシヒカリ(会津)	37,696	1,556	38,475	98%	139%	27,129	36,957	26,437	140%	476	327%	359%	434	22,282	20,482	109%	
福島	コシヒカリ(浜通り)	38,275	136	37,854	101%	143%	26,788	37,470	26,069	144%	188	72%	114%	119	1,761	2,983	59%	
福島	天のつぶ	28,158	3,654	33,278	85%	110%	25,668	34,625	24,772	140%	1,403	260%	3292%	111	37,819	11,320	334%	
福島	ひとめぼれ	35,316	609	32,865	107%	126%	28,102	36,095	26,343	137%	2,708	22%	77%	792	22,540	11,800	191%	
茨城	コシヒカリ	35,545	676	35,352	101%	103%	34,567	37,560	28,223	133%	525	129%	116%	582	21,651	22,897	95%	
茨城	あきたこまち	-	-	-	-	-	40,218	36,061	26,462	136%	-	-	-	102	4,729	5,544	85%	
茨城	にじのきらめき	31,998	313	33,865	94%	113%	28,275	35,541	26,785	133%	254	123%	60%	522	6,453	4,031	160%	
栃木	コシヒカリ	36,171	951	35,683	101%	135%	26,702	36,657	25,295	145%	998	95%	88%	1,086	41,754	48,134	87%	
栃木	とちぎの星	34,550	369	35,022	99%	133%	25,985	33,552	24,927	135%	256	144%	61%	605	19,580	10,265	191%	
栃木	あさひの夢	-	-	32,199	-	-	-	33,656	24,600	137%	402	-	-	-	3,185	2,643	121%	
群馬	あさひの夢	34,277	926	35,421	97%	125%	27,427	35,359	27,033	131%	350	265%	26%	3,532	3,748	4,954	76%	
群馬	にじのきらめき	-	-	-	-	-	-	33,250	-	-	-	-	-	-	165	-	-	
埼玉	彩のきずな	34,780	249	34,679	100%	-	-	34,638	23,846	145%	579	43%	-	-	3,169	530	598%	
埼玉	彩のかがやき	-	-	34,371	-	-	-	34,564	26,145	132%	137	-	-	-	1,491	1,893	79%	
埼玉	コシヒカリ	-	-	-	-	-	21,098	35,711	24,746	144%	-	-	-	194	1,230	948	130%	
千葉	コシヒカリ	33,322	521	35,008	95%	137%	24,281	36,606	24,169	151%	494	105%	105%	494	9,948	17,763	56%	
千葉	ふさこがね	32,652	202	33,110	99%	138%	23,719	33,886	23,591	144%	350	58%	151%	134	10,471	8,851	118%	
千葉	ふさおとめ	32,940	357	32,129	103%	146%	22,609	33,383	23,384	143%	230	155%	343%	104	6,715	7,961	84%	
山梨	コシヒカリ	-	-	35,919	-	-	19,833	36,216	19,758	183%	116	-	-	194	596	1,403	42%	
長野	コシヒカリ	36,684	736	34,719	106%	146%	25,060	36,268	23,438	155%	2,889	25%	12%	5,955	37,793	42,635	89%	
長野	あきたこまち	-	-	-	-	-	24,692	35,192	23,015	153%	-	-	-	494	4,189	4,668	90%	
静岡	コシヒカリ	-	-	40,642	-	-	-	35,630	23,512	152%	111	-	-	-	587	1,319	44%	
静岡	きぬむすめ	-	-	-	-	-	-	27,170	22,393	121%	-	-	-	-	142	213	66%	
静岡	にこまる	-	-	-	-	-	-	-	24,397	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟	コシヒカリ(一般)	37,744	3,752	36,589	103%	146%	25,786	38,528	25,636	150%	10,592	35%	86%	4,383	82,433	54,689	151%	
新潟	コシヒカリ(魚沼)	42,875	778	40,117	107%	162%	26,446	41,846	26,517	158%	2,655	29%	48%	1,610	13,930	16,980	82%	
新潟	コシヒカリ(佐渡)	-	-	36,694	-	-	24,715	38,821	25,253	154%	2,172	-	-	246	11,485	7,770	148%	
新潟	コシヒカリ(岩船)	-	-	36,412	-	-	24,922	38,464	25,140	153%	2,185	-	-	181	10,755	7,640	141%	
新潟	こしいぶき	33,762	2,496	33,550	101%	150%	22,548	34,592	23,552	147%	5,074	49%	879%	284	30,188	15,734	192%	
富山	コシヒカリ	40,989	521	39,737	103%	159%	25,748	36,296	26,635	136%	294	177%	66%	789	36,745	28,729	128%	
富山	てんたかく	32,726	106	34,178	96%	136%	23,981	35,136	24,725	142%	148	72%	13%	835	6,976	4,175	167%	
富山	富富富	28,566	772	29,636	96%	-	-	32,880	-	-	161	480%	-	-	10,046	-	-	
石川	コシヒカリ	-	-	-	-	-	24,498	36,144	23,317	155%	-	-	-	525	8,853	8,381	106%	
石川	ゆめみづほ	-	-	-	-	-	-	33,629	21,948	153%	-	-	-	-	5,698	4,875	117%	
石川	ひやくまん穀	38,027	300	-	-	-	-	38,025	-	-	-	-	-	-	2,691	-	-	
福井	コシヒカリ	33,920	516	34,126	99%	150%	22,678	33,426	21,494	156%	1,023	50%	358%	144	11,347	13,752	83%	
福井	ハナエチゼン	32,747	481	32,973	99%	-	-	32,859	21,166	155%	766	63%	-	-	10,092	10,294	98%	
福井	あきさかり	30,233	328	32,834	92%	-	-	32,362	21,213	153%	192	171%	-	-	2,506	3,017	83%	
岐阜	ハツシモ	38,311	196	35,871	107%	149%	25,798	36,976	25,448	145%	1,759	11%	35%	557	5,576	2,117	263%	
岐阜	コシヒカリ	-	-	37,210	-	-	25,531	38,451	25,604	150%	601	-	-	482	3,190	2,104	152%	
岐阜	ほしじるし	-	-	34,765	-	-	24,605	34,331	24,165	142%	300	-	-	413	1,068	872	122%	
愛知	あいちのかおり	-	-	-	-	-	24,115	34,719	24,203	143%	-	-	-	364	-	1,279	-	
愛知	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知	大地の風	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

注: 本表の注意点は次頁の脚注を参照

相対取引価格・数量（三重から鹿児島まで）

(単位:円/玄米60kg税込、玄米トン)

産地	品種銘柄	7年産米 令和8年2月		月別価格						年産平均価格						取引数量					
		令和8年2月		7年産米 (8年1月)		6年産米 (7年2月)		7年産米 出回り～ 8年2月		6年産米 出回り～ 7年10月		7年産米 (8年1月)		6年産米 (7年2月)		7年産米 出回り～ 8年2月		6年産米 出回り～ 7年2月			
		①	②	③	①/③	④	⑤	⑥	⑤/⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑨/⑩							
三重	コシヒカリ(一般)	-	-	-	-	23,795	39,464	23,303	169%	-	-	1,561	4,440	5,291	84%						
三重	コシヒカリ(伊賀)	-	-	-	-	24,722	39,679	23,672	168%	-	-	977	4,071	3,110	131%						
三重	キヌヒカリ	-	-	34,609	-	-	36,380	22,429	162%	231	-	-	424	467	91%						
滋賀	コシヒカリ	34,812	2,696	35,236	99%	145%	23,926	35,057	23,771	147%	2,801	96%	307%	879	11,700	10,042	117%				
滋賀	みずかがみ	35,249	1,546	35,127	100%	144%	24,463	34,939	23,782	147%	408	379%	158%	977	6,028	7,232	83%				
滋賀	キヌヒカリ	33,493	682	33,654	100%	144%	23,312	33,777	24,177	140%	721	95%	343%	199	3,999	3,786	106%				
京都	コシヒカリ	34,133	316	37,650	91%	-	-	36,601	22,946	160%	642	49%	-	-	3,833	2,870	134%				
京都	キヌヒカリ	34,088	174	32,037	106%	-	-	33,214	20,348	163%	191	91%	-	-	589	722	81%				
京都	ヒノヒカリ	32,619	148	-	-	-	-	34,197	22,074	155%	-	-	-	-	283	550	51%				
兵庫	コシヒカリ	36,827	1,141	38,015	97%	148%	24,845	37,874	23,954	158%	2,045	56%	173%	659	6,742	5,734	118%				
兵庫	ヒノヒカリ	33,242	766	34,298	97%	155%	21,436	34,041	23,327	146%	707	108%	180%	425	1,850	1,391	133%				
兵庫	キヌヒカリ	32,756	657	34,407	95%	154%	21,303	34,220	22,613	151%	1,205	55%	206%	319	2,481	1,739	143%				
奈良	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	21,684	-	-	-	-	-	-	140	-	-				
鳥取	きぬむすめ	36,552	199	35,522	103%	-	-	35,812	24,575	146%	1,845	11%	-	-	3,105	1,854	167%				
鳥取	コシヒカリ	-	-	36,113	-	-	-	36,360	23,519	155%	1,050	-	-	-	2,050	1,760	116%				
鳥取	ひとめぼれ	36,135	111	35,234	103%	-	-	35,561	23,777	150%	1,457	8%	-	-	2,321	1,168	199%				
島根	きぬむすめ	-	-	-	-	-	21,023	34,343	19,943	172%	-	-	-	560	12,043	10,782	112%				
島根	コシヒカリ	-	-	35,078	-	-	-	36,019	20,761	173%	113	-	-	168	8,243	9,154	90%				
島根	つや姫	-	-	-	-	-	-	35,821	20,464	175%	-	-	-	-	4,165	4,630	90%				
岡山	アケボノ	35,123	456	35,511	99%	150%	23,460	35,245	25,558	138%	1,089	42%	60%	765	3,709	1,358	273%				
岡山	きぬむすめ	35,668	170	35,670	100%	136%	26,186	35,732	25,351	141%	860	20%	33%	520	3,823	2,800	137%				
岡山	コシヒカリ	-	-	36,699	-	-	26,987	36,539	25,341	144%	297	-	-	114	2,961	2,590	114%				
広島	コシヒカリ	34,770	1,081	35,224	99%	150%	23,203	35,609	22,696	157%	642	168%	193%	561	4,542	3,741	121%				
広島	あきさかり	32,820	209	36,118	91%	150%	21,895	35,163	21,511	163%	314	67%	157%	133	1,300	1,567	83%				
広島	あきろまん	32,712	250	35,868	91%	145%	22,504	34,794	22,305	156%	130	192%	74%	336	1,221	774	158%				
山口	コシヒカリ	33,320	1,400	-	-	144%	23,156	34,426	22,575	152%	-	-	440%	318	2,679	3,866	69%				
山口	ひとめぼれ	33,591	1,203	-	-	151%	22,290	34,416	22,173	155%	-	-	614%	196	2,759	3,869	71%				
山口	きぬむすめ	31,513	1,221	35,005	90%	138%	22,872	33,774	22,245	152%	114	1071%	529%	231	3,526	4,019	88%				
徳島	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	36,095	23,568	153%	-	-	-	-	1,428	3,404	42%				
徳島	あきさかり	32,605	180	-	-	-	-	32,682	22,633	144%	-	-	-	-	710	976	73%				
香川	ヒノヒカリ	34,225	196	34,225	100%	148%	23,101	34,225	22,552	152%	196	100%	40%	491	794	2,064	38%				
香川	コシヒカリ	34,765	281	34,765	100%	147%	23,641	34,765	22,515	154%	281	100%	90%	311	1,369	4,206	33%				
香川	あきさかり	34,225	129	34,225	100%	150%	22,885	34,225	22,127	155%	129	100%	48%	268	639	1,919	33%				
愛媛	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	38,227	21,469	178%	-	-	-	-	894	2,118	42%				
愛媛	ひめの涙	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
愛媛	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	23,901	-	-	-	-	-	-	388	-				
高知	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	35,299	22,339	158%	-	-	-	4,284	8,212	52%				
高知	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	34,327	21,367	161%	-	-	-	299	578	52%				
福岡	夢つくし	33,713	1,658	26,699	126%	130%	25,937	33,776	24,163	140%	228	727%	145%	1,143	7,572	9,262	82%				
福岡	ヒノヒカリ	31,830	1,243	33,058	96%	122%	26,117	33,627	24,616	137%	374	332%	40%	3,142	7,675	8,624	89%				
福岡	元気つくし	33,223	2,985	31,833	104%	125%	26,614	34,089	25,241	135%	288	1036%	115%	2,597	11,406	11,188	102%				
佐賀	さがびより	36,711	577	35,879	102%	162%	22,598	36,225	22,228	163%	420	137%	53%	1,079	2,109	3,399	62%				
佐賀	夢しずく	36,621	435	37,909	97%	161%	22,732	36,926	21,691	170%	610	71%	126%	344	2,248	2,849	79%				
佐賀	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
長崎	にこまる	31,278	315	35,196	89%	132%	23,641	34,815	24,307	143%	1,511	21%	67%	471	3,239	928	349%				
長崎	なつほのか	-	-	34,961	-	-	23,425	34,791	24,089	144%	844	-	-	342	1,635	433	377%				
長崎	ヒノヒカリ	-	-	34,732	-	-	23,160	34,750	23,743	146%	274	-	-	177	598	409	146%				
熊本	ヒノヒカリ	35,802	155	36,513	98%	136%	26,247	36,331	25,821	141%	136	114%	90%	172	662	954	69%				
熊本	森のくまさん	-	-	-	-	-	-	-	23,519	-	-	-	-	-	-	-	-				
熊本	コシヒカリ	35,744	162	35,692	100%	144%	24,892	35,126	24,406	144%	125	130%	70%	233	829	1,631	51%				
大分	ヒノヒカリ	34,578	1,828	34,709	100%	144%	23,976	34,816	24,265	143%	337	542%	1128%	162	3,748	2,633	142%				
大分	なつほのか	34,765	366	34,828	100%	-	-	34,917	24,358	143%	950	39%	-	-	2,078	1,350	154%				
大分	ひとめぼれ	34,981	198	35,509	99%	-	-	35,058	24,246	145%	173	114%	-	-	1,329	918	145%				
宮崎	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	36,508	22,600	162%	-	-	-	-	8,152	4,405	185%				
宮崎	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	36,275	27,076	134%	-	-	-	-	8,303	3,440	241%				
鹿児島	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	31,455	-	29,258	-	-	-	-	113	-	189	-				
鹿児島	あきほなみ	-	-	-	-	-	35,681	-	32,303	-	-	-	-	135	-	179	-				
鹿児島	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	31,679	21,140	150%	-	-	-	-	754	771	98%				
全銘柄平均価格、合計数量		35,056	110,589	35,465	99%	132%	26,485	36,310	25,179	144%	128,885	86%	66%	168,249	1,351,914	1,192,562	113%				

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注： 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。

3 価格に含む消費税は、軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。

4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以東（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。

5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の取引状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。また、算定に当たっては、契約価格に運賃を含めない産地在姿の取引分も対象としている。

6 報告対象産地品種銘柄ごとの年産平均価格は、当該報告対象産地品種銘柄の出回りから当該月までの相対取引数量ウェイトで加重平均により算定している（7年産は速報値）。

7 全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定している。

8 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。また、各年産米の年産平均価格について、令和7年産米は、当該月までの相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。令和6年産米は、当該年産において報告対象としていない産地品種銘柄であり、価格の公表を行わないものである。

9 全銘柄平均価格、合計数量欄には公表していない産地品種銘柄分を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

10 令和6年産米の令和7年3月以降の取引は政府備蓄米を含む。（なお、産地区分のない、福島県産コシヒカリは「コシヒカリ（中通り）」に、新潟県産コシヒカリは「コシヒカリ（一般）」に含めて算定している。）

## イ 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和8年2月分）

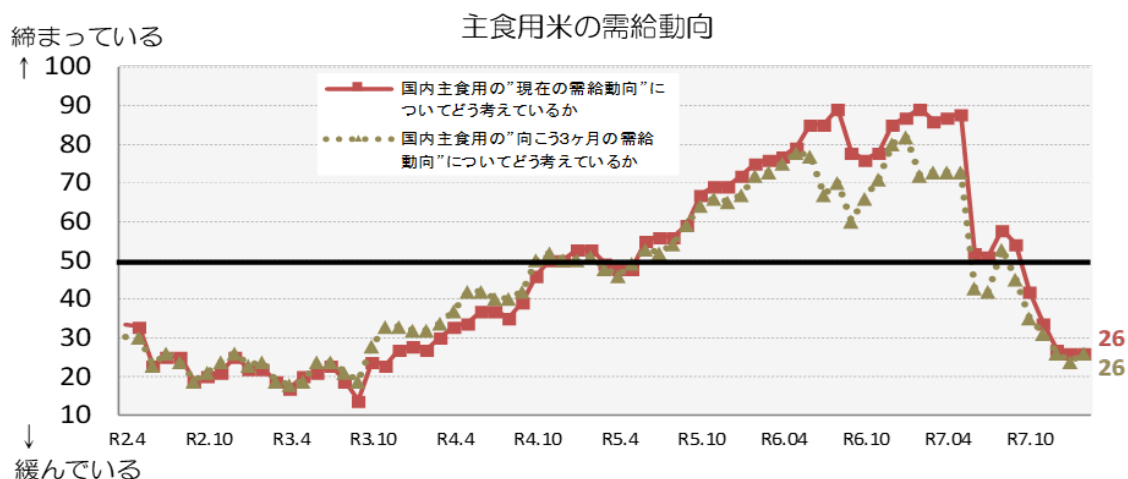
調査結果は、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。  
【<https://www.komenet.jp/>】

- 米穀機構の米取引関係者の判断に関する調査(令和8年2月分)によると、主食用米の需給動向の現状判断は前回調査と比べて±0ポイントの「横ばい」、見通し(向こう3ヶ月)判断は+2ポイントの「やや増加」。
- 米価水準の現状判断は前回調査と比べて▲8ポイントの「大幅に減少」、見通し(向こう3ヶ月)判断は±0ポイントの「横ばい」。

### 1.国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断（全体）

#### ① 主食用米の需給動向

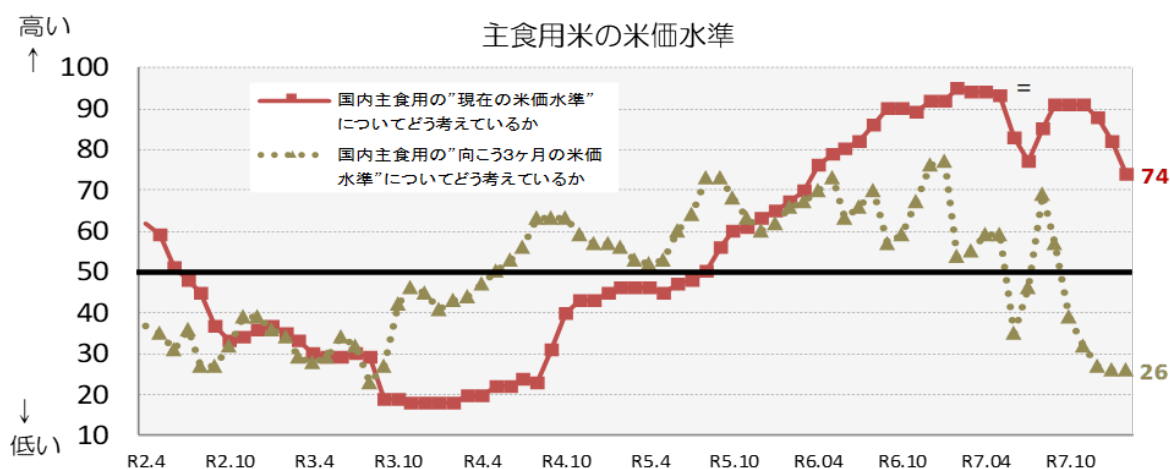
(ア) 現状判断DI	前回からの増減	±0（今月の数値	26）
(イ) 見通し判断DI（向こう3ヶ月）	前回からの増減	+2（今月の数値	26）



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「縮まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### ② 主食用米の米価水準

(ア) 現状判断DI	前回からの増減	▲8（今月の数値	74）
(イ) 見通し判断DI（向こう3ヶ月）	前回からの増減	±0（今月の数値	26）



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

## 2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

### ①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し 100 に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に 0 に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### (ア) 今月の販売数量に関する現状判断 D I

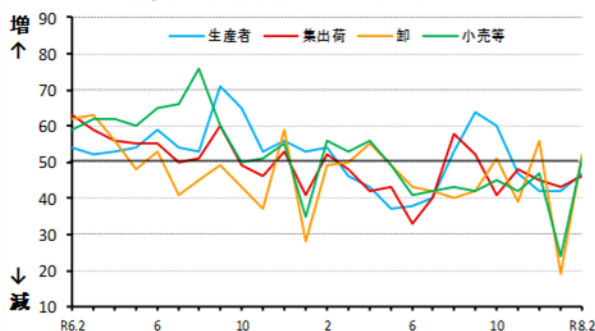
##### a. 先月との比較

生産者	: 前回からの増減	+ 5	(今月の数値	4 7)
集出荷	: 前回からの増減	+ 3	(今月の数値	4 6)
卸	: 前回からの増減	+33	(今月の数値	5 2)
小売等	: 前回からの増減	+27	(今月の数値	5 1)

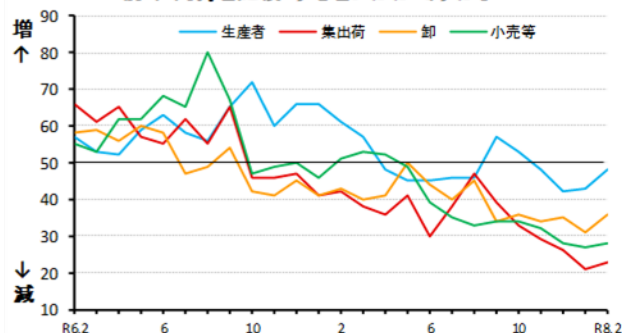
##### b. 前年同月との比較

生産者	: 前回からの増減	+ 5	(今月の数値	4 8)
集出荷	: 前回からの増減	+ 2	(今月の数値	2 3)
卸	: 前回からの増減	+ 5	(今月の数値	3 6)
小売等	: 前回からの増減	+ 1	(今月の数値	2 8)

①-ア-a 貴社の”今月”の主食用米の”販売数量”について、”先月と比較”するといかがですか。



①-ア-b 貴社の”今月”の主食用米の”販売数量”について、”前年同月と比較”するといかがですか。



#### (イ) 来月の販売数量に関する見通し D I

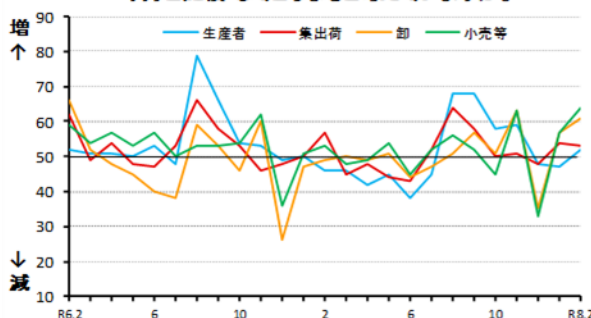
##### a. 今月との比較

生産者	: 前回からの増減	+ 5	(今月の数値	5 2)
集出荷	: 前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	5 3)
卸	: 前回からの増減	+ 4	(今月の数値	6 1)
小売等	: 前回からの増減	+ 7	(今月の数値	6 4)

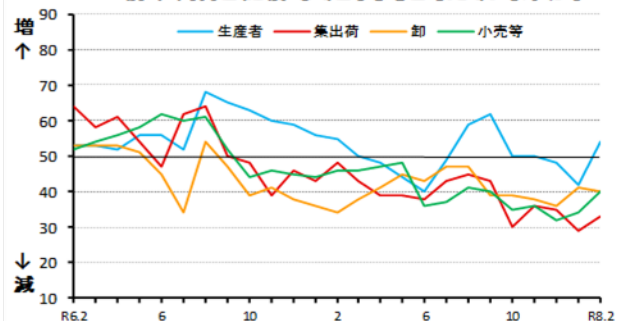
##### b. 前年同月との比較

生産者	: 前回からの増減	+12	(今月の数値	5 4)
集出荷	: 前回からの増減	+ 4	(今月の数値	3 3)
卸	: 前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	4 0)
小売等	: 前回からの増減	+ 6	(今月の数値	4 0)

①-イ-a 貴社の”来月”の主食用米の”販売数量”について、”今月と比較”してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の”来月”の主食用米の”販売数量”について、”前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



## ②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し 100 に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に 0 に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

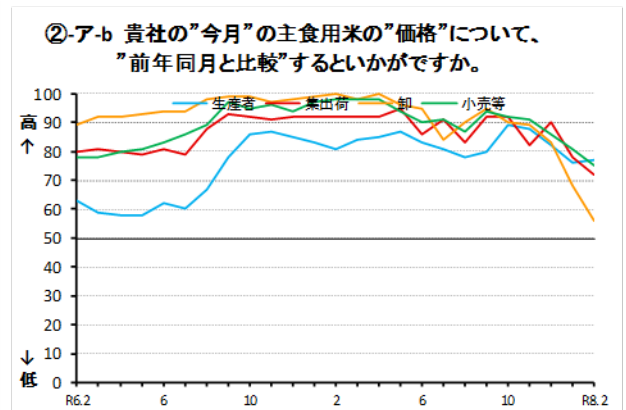
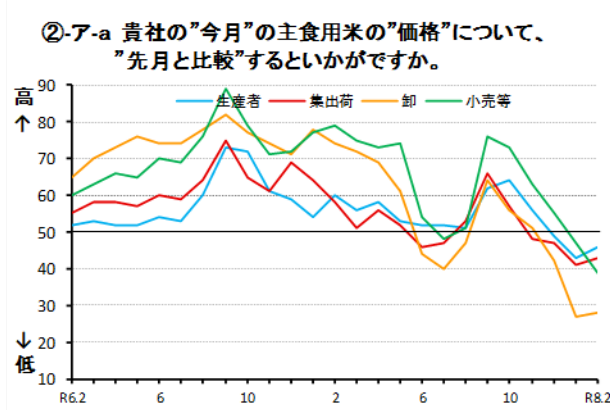
### (ア) 今月の価格に関する現状判断 D I

#### a. 先月との比較

生産者	： 前回からの増減	+ 3	( 今月の数値	4 6 )
集出荷	： 前回からの増減	+ 2	( 今月の数値	4 3 )
卸	： 前回からの増減	+ 1	( 今月の数値	2 8 )
小売等	： 前回からの増減	▲ 8	( 今月の数値	3 9 )

#### b. 前年同月との比較

生産者	： 前回からの増減	+ 1	( 今月の数値	7 7 )
集出荷	： 前回からの増減	▲ 6	( 今月の数値	7 2 )
卸	： 前回からの増減	▲ 12	( 今月の数値	5 6 )
小売等	： 前回からの増減	▲ 6	( 今月の数値	7 5 )



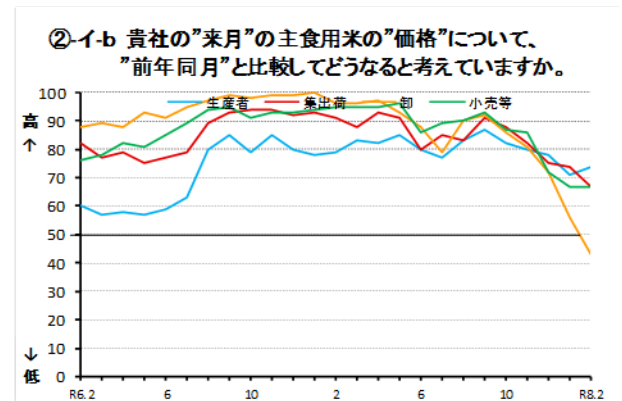
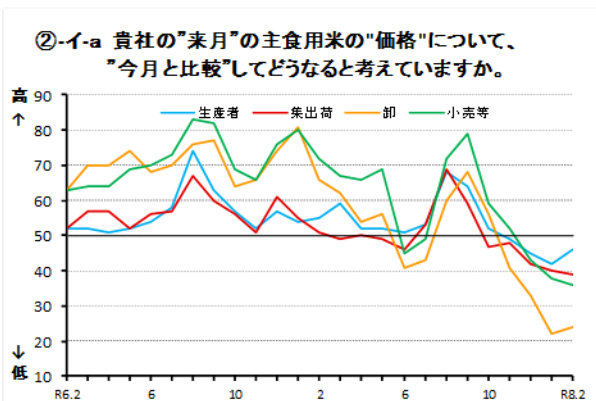
### (イ) 来月の価格に関する見通し D I

#### a. 今月との比較

生産者	： 前回からの増減	+ 4	( 今月の数値	4 6 )
集出荷	： 前回からの増減	▲ 1	( 今月の数値	3 9 )
卸	： 前回からの増減	+ 2	( 今月の数値	2 4 )
小売等	： 前回からの増減	▲ 2	( 今月の数値	3 6 )

#### b. 前年同月との比較

生産者	： 前回からの増減	+ 3	( 今月の数値	7 4 )
集出荷	： 前回からの増減	▲ 7	( 今月の数値	6 7 )
卸	： 前回からの増減	▲ 13	( 今月の数値	4 3 )
小売等	： 前回からの増減	± 0	( 今月の数値	6 7 )



### ③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し 100 に近づけば、「多くなった」/「(将来)多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に 0 に近づけば、「少なくなった」/「(将来)少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

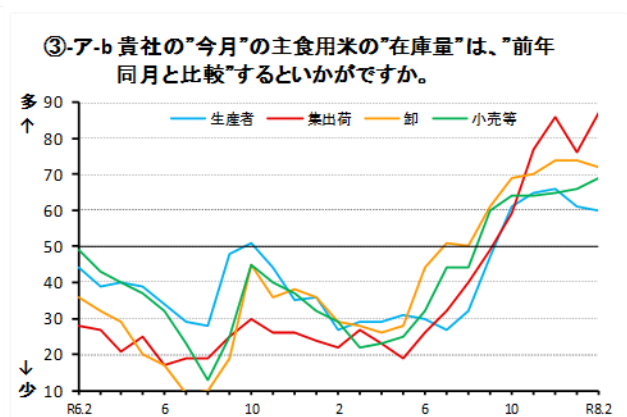
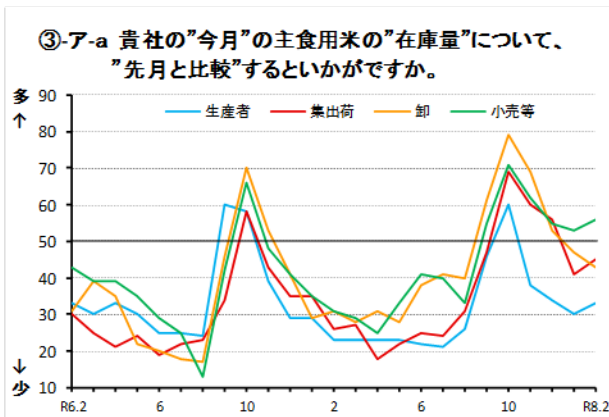
#### (ア) 今月の在庫量に関する現状判断 D I

##### a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	+3	(今月の数値	33)
集出荷：前回からの増減	+4	(今月の数値	45)
卸：前回からの増減	▲4	(今月の数値	43)
小売等：前回からの増減	+3	(今月の数値	56)

##### b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲1	(今月の数値	60)
集出荷：前回からの増減	+11	(今月の数値	87)
卸：前回からの増減	▲2	(今月の数値	72)
小売等：前回からの増減	+3	(今月の数値	69)



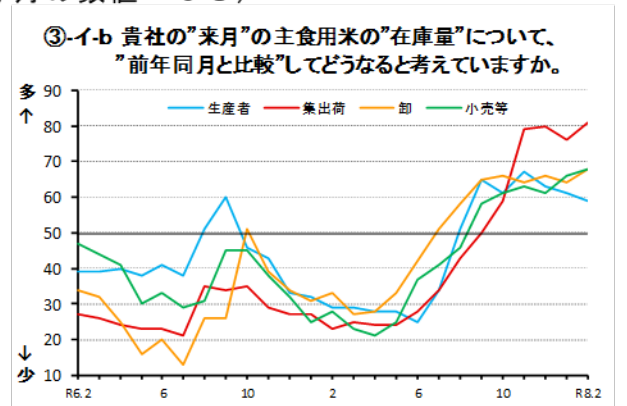
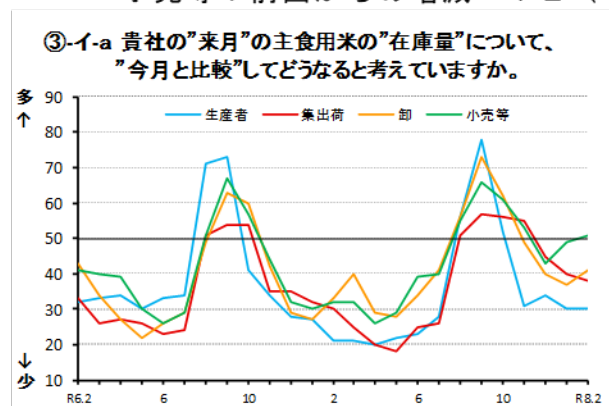
#### (イ) 来月の在庫量に関する見通し D I

##### a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	±0	(今月の数値	30)
集出荷：前回からの増減	▲2	(今月の数値	38)
卸：前回からの増減	+4	(今月の数値	41)
小売等：前回からの増減	+2	(今月の数値	51)

##### b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲2	(今月の数値	59)
集出荷：前回からの増減	+5	(今月の数値	81)
卸：前回からの増減	+4	(今月の数値	68)
小売等：前回からの増減	+2	(今月の数値	68)



取引関係者が1の①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他		作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
R6.2	9%	27%	1%	51%	8%	4%	0%	R7.2	0%	24%	28%	40%	4%	3%	1%
R6.3	7%	29%	0%	53%	8%	2%	1%	R7.3	3%	32%	17%	42%	2%	2%	1%
R6.4	3%	29%	2%	52%	9%	3%	1%	R7.4	1%	31%	19%	42%	4%	3%	1%
R6.5	6%	30%	1%	55%	4%	2%	1%	R7.5	1%	29%	21%	41%	5%	4%	0%
R6.6	5%	34%	1%	49%	7%	3%	1%	R7.6	1%	18%	49%	26%	5%	1%	1%
R6.7	6%	35%	3%	46%	7%	3%	1%	R7.7	5%	24%	21%	42%	4%	2%	2%
R6.8	2%	43%	2%	45%	5%	1%	1%	R7.8	18%	15%	5%	50%	5%	3%	5%
R6.9	6%	24%	1%	52%	11%	3%	2%	R7.9	11%	23%	4%	51%	5%	4%	2%
R6.10	7%	22%	2%	54%	10%	3%	2%	R7.10	5%	32%	6%	40%	13%	3%	0%
R6.11	10%	17%	2%	53%	12%	6%	1%	R7.11	3%	41%	3%	36%	13%	4%	0%
R6.12	3%	26%	2%	57%	7%	3%	1%	R7.12	1%	44%	4%	34%	12%	5%	2%
R7.1	1%	25%	7%	54%	7%	4%	3%	R8.1	0%	45%	4%	27%	18%	6%	0%
								R8.2	0%	47%	3%	28%	14%	9%	0%

《アンケート方法等》

○調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答

○調査方法：電子メールを利用したアンケート調査

○調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の180客体

※ 米取引関係者の動向をより適切に反映したものとなるよう、  
令和5年4月にアンケート対象事業者の一部入替を行いました。

○有効回答数：140客体

生産者・・・・・・・・・・26

集出荷業者／団体・・・・・・・・23

卸売業者（主に主食用米）・・・・28

小売業者／中食・外食業者・・・・49

その他・・・・・・・・・・14

※「その他」は以下の業者です。

- ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
- ・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

○結果公表：翌月上旬（公表日時は半期ごとにホームページに掲載）

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

（DIの算出例）

問：国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

## ウ 事前契約（播種前契約）の取組状況

### (ア) 近年の事前契約（播種前契約）数量の推移

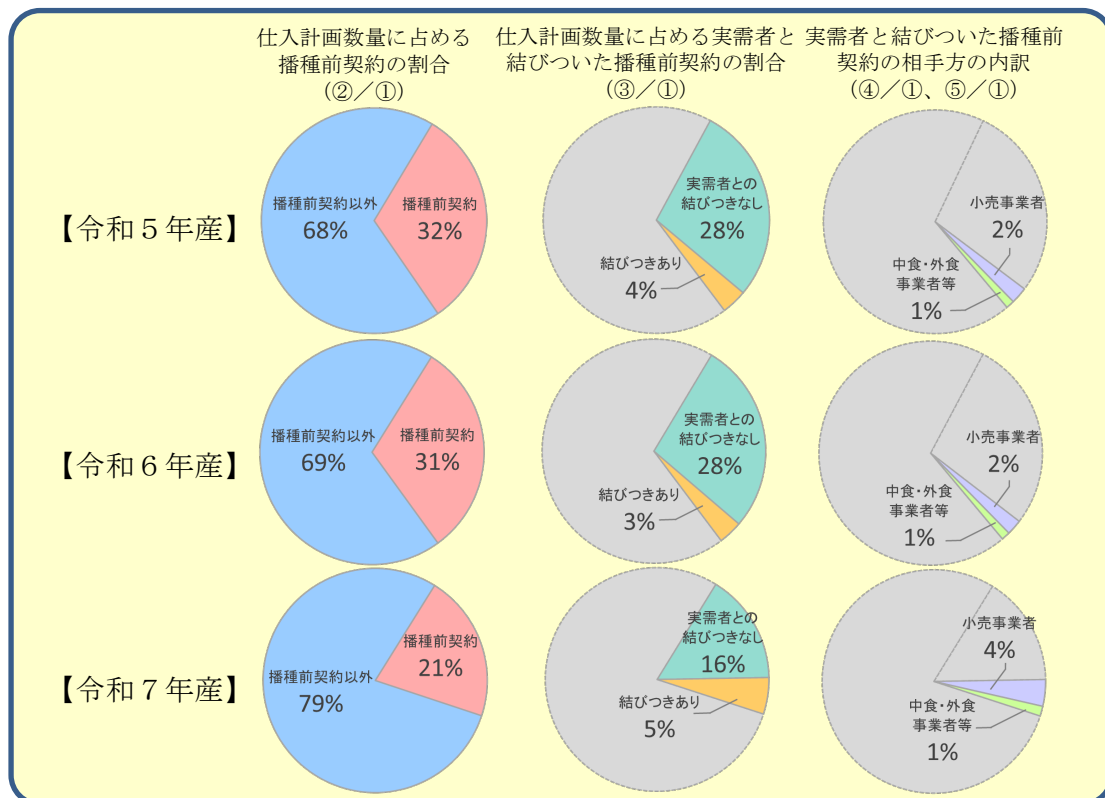
- 事前契約（播種前契約）の取組状況について、一定規模以上の集出荷業者を対象に調査を実施。
- 7年産の仕入計画数量に占める播種前契約（複数年契約を含む）の割合は21%。7年産の仕入計画数量に占める実需者と結びついた播種前契約の割合は5%。

#### 【播種前契約の状況】

(単位:千玄米トン)

年産	仕入計画数量 ①	播種前契約数量 ②	うち実需者との結びつき		
			計	中食・外食等	小売
			③	④	⑤
3年産	3,699	1,026 (28%)	184 (5%)	95 (3%)	89 (2%)
4年産	3,451	1,001 (29%)	108 (3%)	69 (2%)	40 (1%)
5年産	3,504	1,115 (32%)	127 (4%)	42 (1%)	85 (2%)
6年産	3,549	1,104 (31%)	123 (3%)	44 (1%)	79 (2%)
7年産	3,548	752 (21%)	187 (5%)	51 (1%)	137 (4%)

#### 【近年の播種前契約の状況】



注1：調査対象は、年間取扱数量500トン以上の集出荷業者。

2：仕入計画数量は、卸売業者や小売事業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入(集荷)計画数量(見込含む)として調査。

3：播種前契約数量は、生産年の3月末までに締結した事前契約(確認書等により販売数量が決定しているもの)の数量をいう。

4：中食・外食等は、小売以外の実需者(学校給食や事業所給食など)との契約を含む。

5：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(イ) 令和6・7年産米の産地別事前契約（播種前契約）の取組状況（速報）

(単位：千玄米トン、%)

	6年産				7年産			
	仕入計画 数量 ①	うち播種前契約		うち 複数年契約	仕入計画 数量 ④	うち播種前契約		うち複数年契約
		契約数量 ②	契約比率 ②/①	契約数量 ③		契約数量（前年差） ⑤	契約比率（前年差） ⑤/④	契約数量（前年差） ⑥
北海道	385	176	46%	176	403	144 (▲32)	36% (▲10%)	144 (▲32)
青森	181	41	23%	34	181	44 (+3)	24% (+2%)	36 (+2)
岩手	138	67	48%	62	167	39 (▲28)	23% (▲25%)	39 (▲24)
宮城	186	125	67%	101	191	93 (▲31)	49% (▲18%)	93 (▲8)
秋田	285	130	46%	114	277	135 (+5)	49% (+3%)	120 (+6)
山形	244	54	22%	41	244	19 (▲35)	8% (▲14%)	19 (▲22)
福島	194	40	21%	37	190	13 (▲27)	7% (▲14%)	13 (▲24)
茨城	124	26	21%	1	153	2 (▲24)	1% (▲20%)	1 (▲0)
栃木	169	59	35%	59	190	60 (+1)	32% (▲3%)	59 (+0)
群馬	26	5	20%	-	24	1 (▲5)	2% (▲18%)	-
埼玉	40	8	20%	1	41	4 (▲4)	10% (▲10%)	1 (▲0)
千葉	118	10	8%	8	123	1 (▲9)	0% (▲8%)	-
東京	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	4	-	-	-	3	-	-	-
山梨	6	-	-	-	7	-	-	-
長野	95	37	39%	37	80	36 (▲1)	45% (+7%)	36 (▲0)
静岡	13	-	-	-	13	-	-	-
新潟	347	117	34%	79	331	72 (▲44)	22% (▲12%)	72 (▲7)
富山	95	0	0%	0	88	0 (+0)	0% (+0%)	0 (+0)
石川	66	17	26%	-	68	19 (+2)	28% (+2%)	-
福井	49	7	15%	7	47	7 (▲0)	15% (▲0%)	7 (▲0)
岐阜	34	10	30%	3	31	4 (▲6)	14% (▲16%)	3 (+1)
愛知	48	1	2%	0	42	4 (+3)	10% (+8%)	4 (+3)
三重	44	28	65%	-	43	7 (▲22)	16% (▲49%)	-
滋賀	59	20	34%	8	30	12 (▲8)	40% (+5%)	12 (+3)
京都	18	3	19%	1	17	2 (▲1)	12% (▲7%)	1 (+0)
大阪	2	-	-	-	2	-	-	-
兵庫	37	16	43%	-	29	1 (▲15)	4% (▲39%)	-
奈良	10	-	-	-	10	-	-	-
和歌山	3	-	-	-	-	-	-	-
鳥取	25	0	1%	0	37	0 (▲0)	0% (▲1%)	-
島根	35	-	-	-	33	-	-	-
岡山	42	1	1%	1	45	1 (+0)	1% (▲0%)	1 (+0)
広島	40	22	55%	-	40	-	-	-
山口	40	14	35%	0	40	-	-	-
徳島	16	-	-	-	20	-	-	-
香川	20	-	-	-	17	-	-	-
愛媛	16	7	44%	-	17	-	-	-
高知	9	-	-	-	9	-	-	-
福岡	64	31	49%	-	66	14 (▲17)	21% (▲28%)	-
佐賀	41	18	44%	15	38	19 (+1)	50% (+6%)	17 (+1)
長崎	10	7	70%	-	11	-	-	-
熊本	58	-	-	-	54	-	-	-
大分	22	7	33%	1	21	-	-	-
宮崎	33	-	-	-	20	-	-	-
鹿児島	24	-	-	-	25	-	-	-
沖縄	1	-	-	-	1	-	-	-
全 国	3,549	1,104	31%	788	3,548	752 (▲352)	21% (▲10%)	677 (▲111)

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

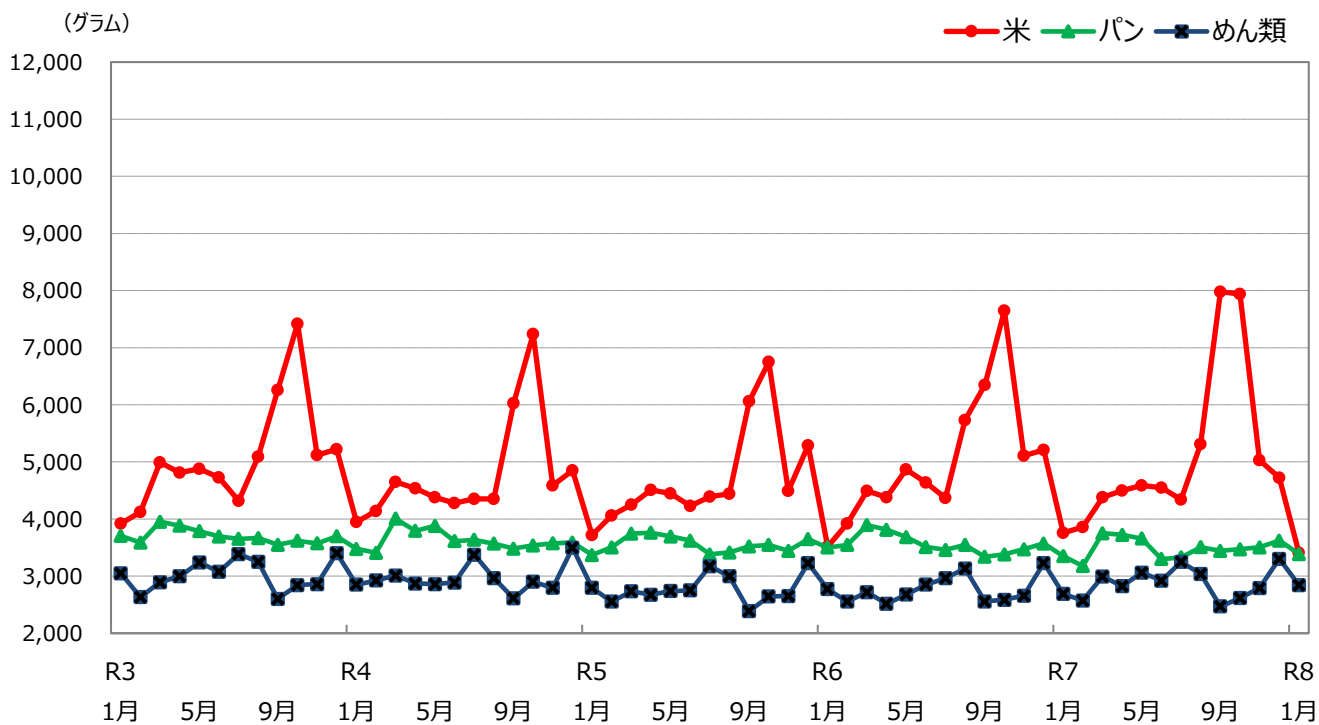
- 注：1 報告対象業者は、年間の玄米仕入数量が500トン以上の出荷業者。  
 2 仕入計画数量は、卸売業者や小売業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入（集荷）計画数量（見込含む）として調査。  
 3 播種前契約は、生産年の3月末までに締結した事前契約（確認書等により販売数量が決定しているもの。）をいう。  
 4 複数年契約は、播種前契約のうち、複数年にわたる契約をいう。  
 5 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。  
 6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

## エ 米の販売・消費動向

### (ア) 購入数量・支出金額の推移（家計調査）

- 総務省が公表している家計調査によると、令和8年1月の米の購入数量は、対前年同月 ▲9.3%の3.4kg、パンは+1.1%の3.4kg、めん類は+5.8%の2.8kg。

### 1世帯当たり1か月間の購入数量の推移



(グラム)

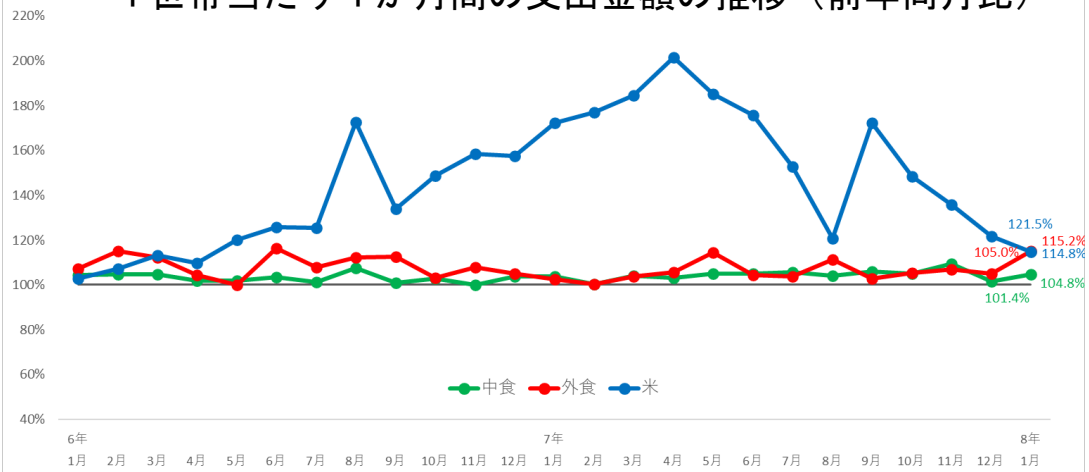
	米		パン		めん類	
	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比
令和3年	60,800	94.2%	44,345	96.7%	36,208	95.2%
4年	57,380	94.4%	43,571	98.3%	35,557	98.2%
5年	56,650	98.7%	42,680	98.0%	33,345	93.8%
6年	60,200	106.3%	42,702	100.1%	33,192	99.5%
7年	61,310	101.8%	41,812	97.9%	34,521	104.0%
令和8年1月	3,410	90.7%	3,388	101.1%	2,844	105.8%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯

注1：米は精米ベースである。

- ・ 総務省が公表している家計調査によると、1世帯当たり1か月間の令和8年1月の中食の支出金額は、対前年同月比+4.8%、外食は+15.2%。

### 1世帯当たり1か月間の支出金額の推移（前年同月比）



	穀類	中食 (主食的調理食品)				弁当	すし (弁当)	おにぎり・その他	調理パン	他の主食的調理食品	
		米	パン	麺類	他の穀類						
6年 1月	103.2%	103.0%	105.2%	101.7%	98.1%	104.3%	101.0%	107.0%	103.8%	101.6%	106.2%
2月	106.8%	107.2%	107.3%	105.7%	107.1%	104.8%	100.3%	102.4%	109.1%	108.5%	109.3%
3月	108.8%	113.3%	107.2%	108.5%	105.6%	104.7%	96.5%	100.2%	112.5%	101.0%	116.2%
4月	103.6%	109.8%	103.0%	100.2%	96.9%	101.9%	99.9%	96.4%	104.7%	103.3%	106.8%
5月	105.7%	120.1%	100.8%	101.8%	100.3%	101.9%	99.2%	100.2%	102.9%	103.9%	104.7%
6月	109.4%	125.8%	102.0%	107.1%	106.8%	103.3%	102.3%	104.7%	99.8%	106.9%	103.1%
7月	106.2%	125.3%	101.7%	97.8%	105.2%	101.3%	103.9%	98.5%	101.6%	104.6%	99.7%
8月	122.4%	172.5%	104.3%	106.1%	124.2%	107.5%	110.8%	106.7%	99.0%	108.1%	107.8%
9月	110.8%	134.0%	98.7%	100.6%	107.5%	101.1%	103.3%	98.5%	104.4%	104.0%	98.9%
10月	115.1%	148.7%	98.1%	99.2%	107.1%	102.8%	102.6%	106.0%	103.4%	104.9%	99.9%
11月	115.1%	158.6%	98.1%	102.5%	105.4%	100.0%	98.2%	99.4%	102.8%	101.1%	100.7%
12月	114.6%	157.4%	100.2%	101.3%	104.0%	103.7%	101.0%	103.9%	110.5%	100.5%	104.7%
7年 1月	113.8%	172.3%	94.5%	100.2%	104.5%	103.7%	102.6%	103.6%	111.0%	102.1%	103.4%
2月	117.6%	177.0%	94.2%	104.7%	110.1%	100.2%	102.5%	94.1%	101.8%	99.8%	104.7%
3月	120.6%	184.4%	96.1%	104.0%	109.7%	104.2%	106.9%	101.1%	104.1%	101.2%	104.9%
4月	128.9%	201.4%	98.4%	108.6%	121.7%	103.3%	99.5%	105.4%	100.0%	97.8%	108.8%
5月	127.1%	185.2%	102.5%	107.7%	115.7%	104.9%	102.5%	107.3%	100.9%	97.9%	109.4%
6月	122.4%	175.9%	97.7%	107.2%	108.8%	105.1%	101.2%	100.2%	109.2%	103.9%	112.2%
7月	115.8%	152.6%	98.5%	105.0%	110.7%	105.8%	103.6%	104.7%	106.9%	101.2%	110.3%
8月	105.2%	120.6%	98.5%	95.8%	96.4%	104.0%	101.9%	108.7%	106.5%	103.1%	101.4%
9月	129.5%	172.4%	101.3%	103.7%	109.5%	105.9%	102.9%	103.9%	109.0%	100.9%	111.3%
10月	122.4%	148.3%	102.0%	105.4%	111.8%	105.1%	106.7%	101.1%	103.1%	103.0%	107.9%
11月	115.2%	135.8%	103.2%	102.6%	112.8%	109.5%	110.1%	111.0%	103.5%	106.4%	111.0%
12月	109.6%	121.5%	100.7%	103.9%	110.9%	101.4%	99.7%	97.7%	94.1%	104.8%	107.0%
8年 1月	108.2%	114.8%	105.6%	103.5%	106.1%	104.8%	102.9%	107.7%	96.3%	104.9%	106.2%

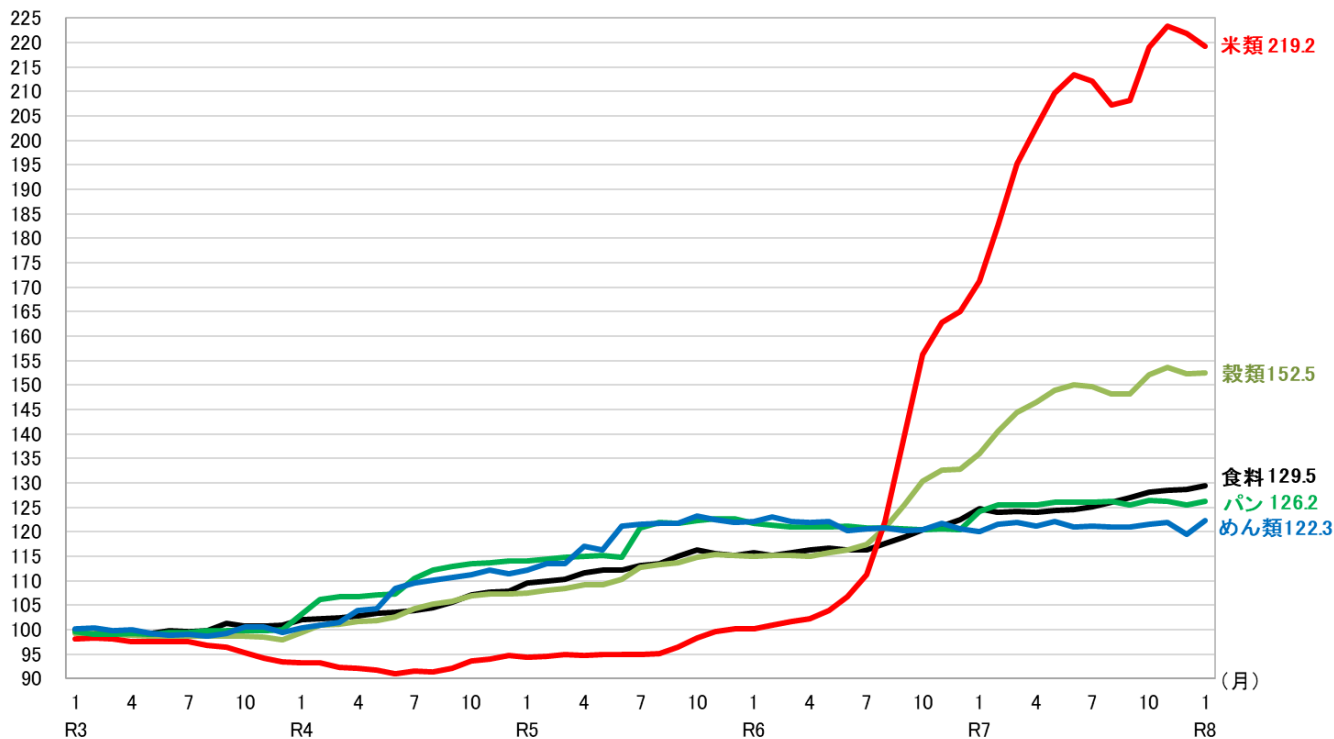
	外食 (食事代)	外食の種類									
		日本そば・うどん	中華そば	他の種類 外食	すし (外食)	和食	中華食	洋食	焼肉	ハンバーガー	他の主食的 外食
6年 1月	107.3%	118.0%	109.9%	126.0%	93.6%	104.9%	122.5%	98.7%	115.1%	96.5%	112.5%
2月	115.1%	113.2%	116.8%	143.1%	106.6%	119.0%	112.9%	116.1%	131.8%	117.7%	111.4%
3月	112.3%	111.1%	115.9%	127.8%	100.1%	118.9%	104.3%	125.5%	132.2%	124.7%	105.4%
4月	104.3%	114.3%	107.1%	104.2%	102.7%	112.0%	99.1%	103.4%	81.9%	103.6%	104.2%
5月	100.0%	104.7%	103.3%	121.3%	90.5%	109.3%	100.5%	101.2%	85.0%	110.9%	97.5%
6月	116.4%	115.7%	113.3%	118.4%	113.6%	114.4%	116.0%	118.4%	120.0%	135.6%	115.7%
7月	108.0%	100.5%	108.5%	102.1%	100.2%	110.5%	98.7%	102.6%	95.9%	103.5%	115.1%
8月	112.1%	107.4%	115.9%	103.1%	104.8%	116.1%	106.2%	123.2%	104.6%	114.3%	112.3%
9月	112.5%	118.9%	109.7%	115.0%	118.4%	114.7%	107.5%	106.1%	111.0%	116.2%	111.1%
10月	103.1%	107.7%	108.2%	124.3%	107.8%	101.0%	96.3%	106.5%	90.5%	90.6%	103.4%
11月	107.8%	110.7%	103.3%	105.6%	127.8%	104.7%	91.8%	114.6%	100.8%	106.5%	106.0%
12月	104.9%	106.9%	109.1%	104.3%	100.7%	109.5%	96.0%	111.1%	121.8%	97.8%	101.2%
7年 1月	102.5%	102.4%	105.6%	98.8%	108.8%	103.6%	99.3%	111.1%	87.8%	108.3%	100.0%
2月	100.3%	104.4%	107.0%	93.3%	99.8%	100.5%	93.7%	115.4%	103.4%	95.8%	96.4%
3月	103.9%	100.8%	113.8%	101.7%	113.3%	105.4%	107.6%	100.9%	99.0%	106.9%	100.4%
4月	105.6%	98.2%	117.6%	122.2%	116.7%	96.4%	101.2%	116.6%	115.5%	99.2%	102.6%
5月	114.3%	111.0%	115.3%	114.2%	119.3%	106.1%	120.5%	131.7%	119.3%	119.1%	111.3%
6月	104.4%	108.0%	107.1%	97.0%	108.1%	100.9%	112.0%	111.3%	99.7%	91.4%	104.3%
7月	103.9%	107.9%	103.7%	115.8%	112.1%	100.5%	111.5%	108.5%	107.4%	107.0%	99.8%
8月	111.4%	114.4%	117.1%	116.3%	117.3%	111.2%	112.4%	108.1%	111.6%	111.6%	107.9%
9月	102.8%	108.9%	113.7%	112.7%	103.2%	102.8%	103.4%	109.0%	93.7%	104.1%	99.4%
10月	105.4%	111.7%	112.4%	102.8%	107.2%	111.1%	114.4%	108.6%	106.9%	116.4%	98.5%
11月	106.8%	109.2%	118.6%	126.2%	106.3%	111.2%	120.9%	99.7%	113.7%	117.2%	100.3%
12月	105.0%	110.4%	111.6%	128.2%	113.3%	103.4%	104.7%	101.7%	101.4%	111.6%	100.9%
8年 1月	115.2%	118.6%	107.8%	114.6%	124.8%	115.0%	129.4%	129.9%	119.7%	114.4%	107.0%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯

注1：米は精米ベースである。

## (イ) 消費者物価指数の推移

- 総務省が公表している消費者物価指数（令和2年基準）によると、令和8年1月の米類の指数は対前年同月比 +27.9%（対前月比▲1.2%）の219.2ポイント。



(令和2年=100、指数)

	食料		穀類		米類 (うるち米)		うるち米 (コシヒカリ)		パン	めん類		
	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比		対前年 (同月)比		
令和3年(平均)	100.0	0.0%	98.8	▲1.2%	96.8	▲3.2%	96.7	▲3.3%	99.5	▲0.5%	99.7	▲0.3%
4年(平均)	104.5	4.5%	103.7	5.0%	92.6	▲4.3%	93.3	▲3.5%	109.6	10.1%	107.1	7.4%
5年(平均)	112.9	8.1%	111.5	7.5%	96.1	3.8%	96.3	3.2%	118.4	8.1%	118.9	11.1%
6年(平均)	117.8	4.3%	121.0	8.5%	122.8	27.7%	121.1	25.8%	121.0	2.2%	121.4	2.0%
7年(平均)	125.8	6.8%	147.6	21.9%	205.6	67.5%	203.3	67.9%	125.8	4.0%	121.2	▲0.2%
令和7年 1月	124.7	7.8%	136.1	18.4%	171.3	70.9%	169.4	69.2%	124.3	2.0%	120.0	▲1.7%
2月	124.1	7.6%	140.5	21.9%	182.6	80.9%	180.4	80.1%	125.5	3.4%	121.6	▲1.3%
3月	124.2	7.4%	144.5	25.4%	195.3	92.1%	192.8	91.3%	125.6	3.7%	121.9	▲0.2%
4月	124.0	6.5%	146.6	27.4%	202.8	98.4%	199.7	98.2%	125.6	3.8%	121.3	▲0.5%
5月	124.4	6.5%	149.0	28.7%	209.7	101.7%	207.0	103.0%	126.1	4.2%	122.2	0.1%
6月	124.6	7.2%	150.0	29.0%	213.5	100.2%	211.2	101.9%	126.1	4.0%	121.0	0.6%
7月	125.1	7.6%	149.7	27.4%	212.2	90.7%	210.4	92.0%	126.0	4.2%	121.2	0.4%
8月	126.1	7.2%	148.2	22.7%	207.3	69.7%	205.2	71.3%	126.2	4.4%	121.0	0.1%
9月	127.0	6.7%	148.2	18.0%	208.2	49.2%	206.1	50.0%	125.6	4.1%	121.0	0.7%
10月	128.1	6.4%	152.2	16.8%	219.1	40.2%	217.0	41.1%	126.4	5.1%	121.6	0.9%
11月	128.6	6.1%	153.7	15.8%	223.4	37.1%	221.1	37.3%	126.2	4.6%	121.9	0.0%
12月	128.8	5.1%	152.4	14.7%	221.9	34.4%	219.4	34.6%	125.6	4.2%	119.5	▲1.0%
令和8年 1月	129.5	3.9%	152.5	12.0%	219.2	27.9%	216.8	28.0%	126.2	1.6%	122.3	1.9%

資料：総務省「消費者物価指数」2020年基準、品目別価格指数（全国）

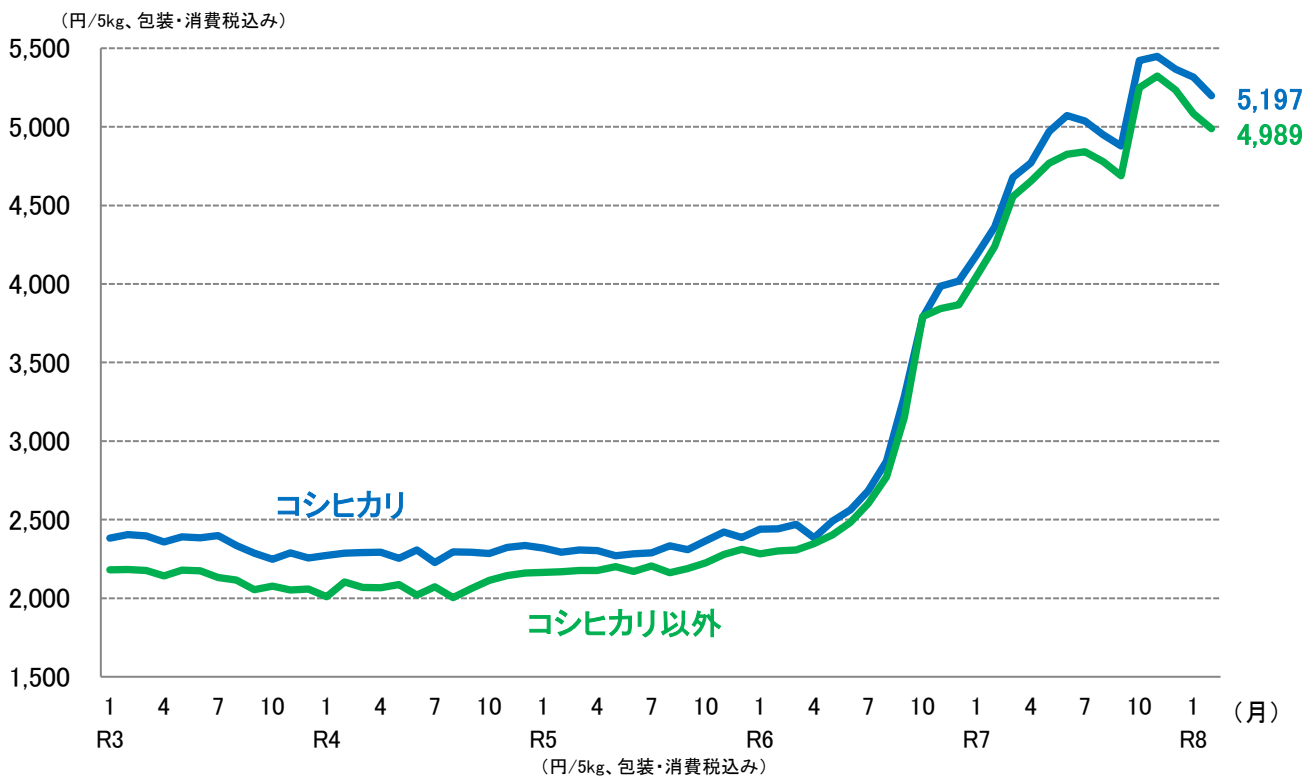
注1：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。

2：穀類は、米類（うるち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。

3：上の令和3年～7年のデータは年平均であり、下の7年及び8年は月次データである。

## (ウ) 小売物価統計の推移

- ・ 総務省が公表している小売物価統計によると、令和8年2月のうるち米の小売価格（5kg 当たり）は、コシヒカリで対前年同月比+19.1%（対前月比▲2.3%）の5,197円。
- ・ コシヒカリ以外の銘柄の平均では、対前年同月比+17.7%（対前月比▲1.8%）の4,989円。



年平均	R3	R4	R5	R6	R7
コシヒカリ	2,344	2,288	2,323	2,951	4,928
前年比	▲3.4%	▲2.4%	1.5%	27.0%	67.0%
コシヒカリ以外	2,127	2,076	2,203	2,846	4,768
前年比	▲5.3%	▲2.4%	6.1%	29.2%	67.5%

月次(令和6年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コシヒカリ	2,440	2,441	2,470	2,384	2,490	2,561	2,683	2,871	3,285	3,787	3,985	4,018
前年同月比	5.2%	6.5%	7.1%	3.5%	9.6%	12.2%	17.2%	23.1%	42.2%	60.0%	64.5%	68.4%
コシヒカリ以外	2,283	2,300	2,306	2,347	2,403	2,483	2,602	2,772	3,152	3,792	3,843	3,868
前年同月比	5.5%	6.0%	5.9%	7.8%	9.2%	14.4%	18.0%	28.2%	44.1%	70.4%	68.6%	67.4%

月次(令和7年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コシヒカリ	4,185	4,363	4,679	4,770	4,970	5,072	5,036	4,949	4,879	5,421	5,448	5,366
前年同月比	71.5%	78.7%	89.4%	100.1%	99.6%	98.0%	87.7%	72.4%	48.5%	43.1%	36.7%	33.5%
コシヒカリ以外	4,051	4,239	4,557	4,654	4,769	4,825	4,842	4,778	4,689	5,248	5,323	5,235
前年同月比	77.4%	84.3%	97.6%	98.3%	98.5%	94.3%	86.1%	72.4%	48.8%	38.4%	38.5%	35.3%

月次(令和8年)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
コシヒカリ	5,317	5,197										
前年同月比	27.0%	19.1%										
コシヒカリ以外	5,083	4,989										
前年同月比	25.5%	17.7%										

資料:総務省「小売物価統計」動向編

注1:東京都都区における精米価格である(7日以内の特売分を除く)。

注2:コシヒカリは、国内産、精米、単一原料米(産地、品種及び産年が同一のもの)、袋入り(5kg 入り)

注3:コシヒカリ以外は、国内産、精米、単一原料米(産地、品種及び産年が同一のもの)、袋入り(5kg 入り)、コシヒカリを除く

注4:令和7年の年平均は、農林水産省で試算した参考値。

## (エ) 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向（速報）

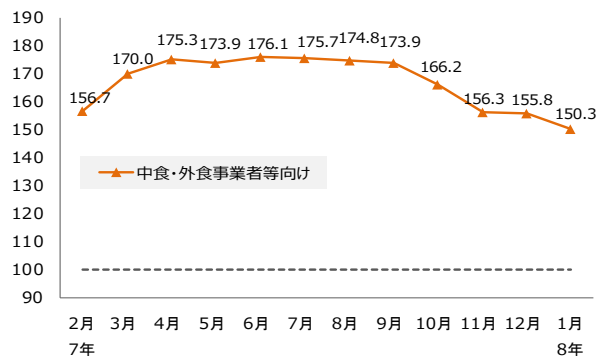
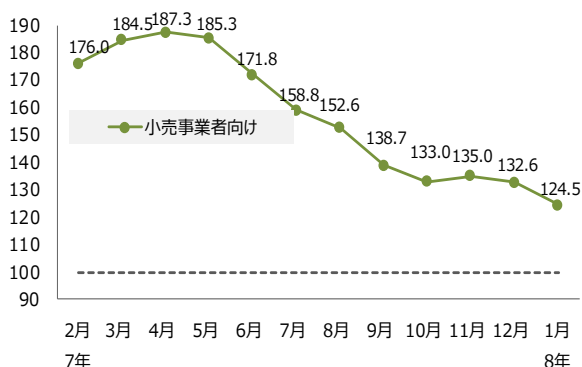
- 米穀販売事業者における令和8年1月の販売数量は、対前年同月比で小売事業者向けが87%、中食・外食事業者等向けが90%で、全体としては89%となっている。
- 前年同月を基準にした令和8年1月の販売価格の値動きは、小売事業者向け124.5、中食・外食事業者等向け150.3。

### 1 販売数量の動向（前年同月比）

	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年1月 ~12月計
小売事業者向け	94%	89%	86%	92%	93%	88%	94%	84%	99%	107%	92%	91%	92%
中食・外食事業者等向け	101%	95%	98%	97%	90%	98%	93%	91%	94%	93%	90%	89%	94%
販売数量計	97%	92%	91%	94%	92%	92%	94%	87%	96%	100%	91%	90%	93%

	8年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	8年1月 ~12月計
小売事業者向け	87%												
中食・外食事業者等向け	90%												
販売数量計	89%												

### 2 販売価格の動向（前年同月の価格を基準にした値動き）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000トンの販売事業者である。

注2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

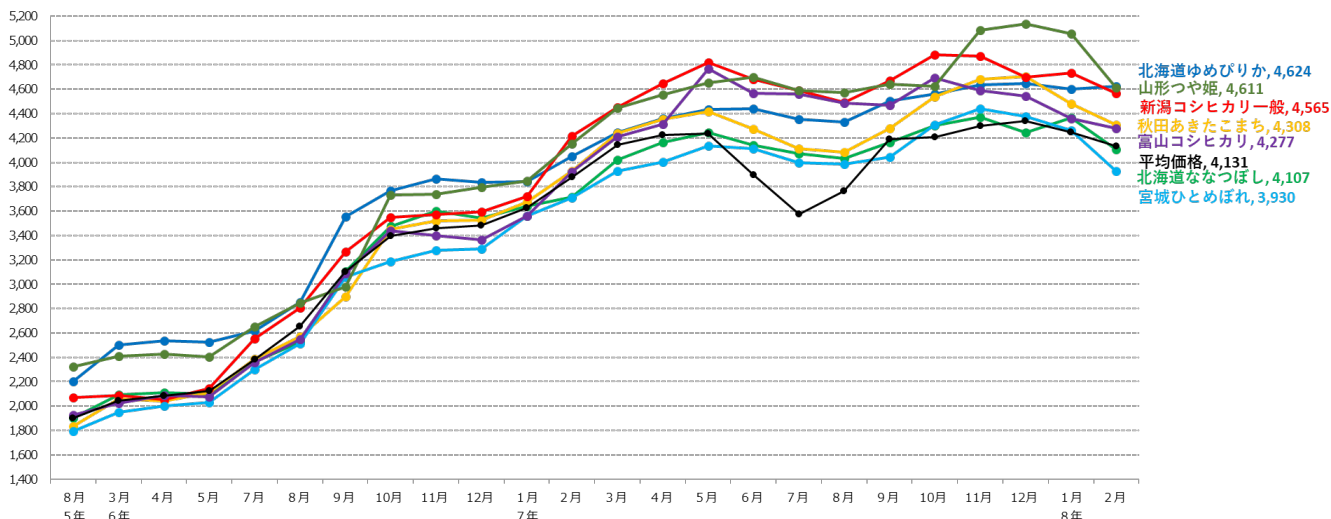
注3：令和7年3月以降には、売り渡した政府備蓄米を含む。

注4：速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。

## (オ) 小売価格・販売数量等の推移 (POSデータ)

- 令和8年2月の小売価格 (POS データ) の平均価格 (5kg 当たり) は、対前月差▲117 円 (▲2.8%)、対前年同月差+253 円 (+6.5%) の 4,131 円。

円/5kg 袋販売時換算(税込)



資料：(株)KSP-SP が提供する P O S データに基づいて農林水産省が作成

注 1：(株) KSP-SP が提供する P O S データは、全国約 1,000 店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注 2：POS データは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注 3：POS データの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注 4：全 POS 取引平均価格は、POS データで把握できる 全ての精米の販売について 5 kg 袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

注 5：価格に含む消費税は 8% である。

- 販売数量については、令和7年6月、7月は前年を上回る水準で推移し、8月以降はピーク時に比べ低い水準が継続。
- 令和8年3月2日の週の販売数量は対前年同期+21.7%、販売数量に占めるブレンド米等の比率は 28%。

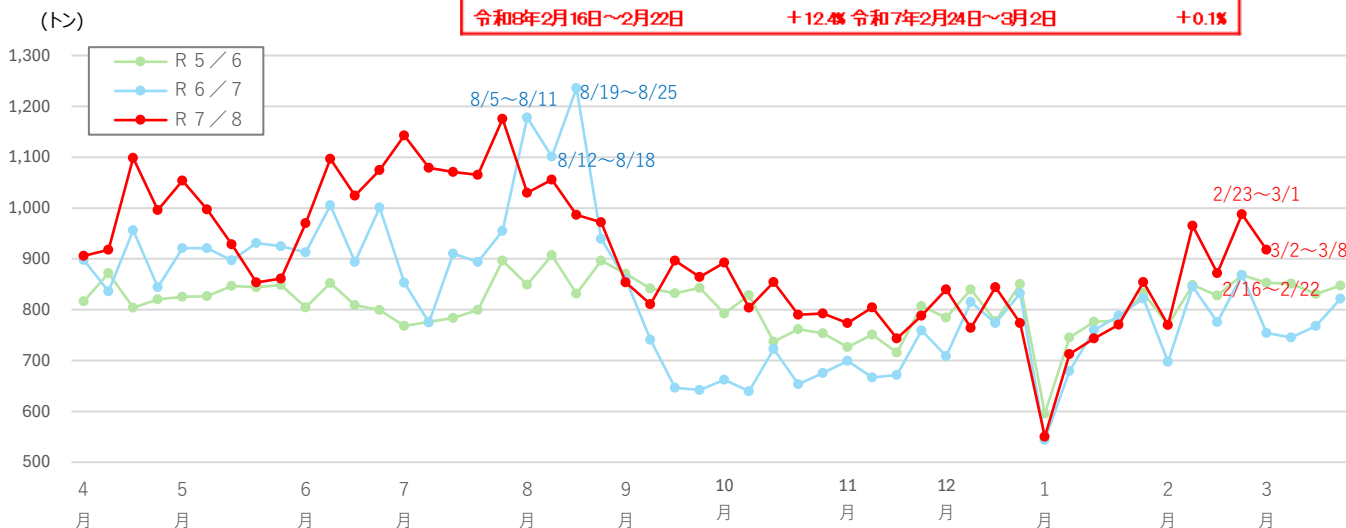
直近の販売状況(対前年同期)

令和8年3月2日～3月8日 +21.7%

(参考)

令和8年2月23日～3月1日 +13.7% 令和7年3月3日～3月9日 ▲11.6%

令和8年2月16日～2月22日 +12.4% 令和7年2月24日～3月2日 +0.1%



# うるち精米の主な銘柄の月別価格・販売数量

単位：円/5kg 袋販売時換算（消費税込み）、トン

	販 売 価 格												販売数量				
	7年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	8年 1月	2月	前月差	前年 同月差	8年 2月	7年3月 ~8年2 月
北海道 きたくりん	3,857	3,962	3,845	4,389	4,320	4,208	4,069	4,248	4,204	4,468	4,562	4,631	4,551	▲ 80	+ 694	7	118
北海道 ななつぼし	3,717	4,021	4,164	4,244	4,141	4,072	4,031	4,162	4,301	4,373	4,242	4,363	4,107	▲ 256	+ 390	319	3,547
北海道 ふっくらりんこ	3,822	4,080	4,040	4,075	4,057	3,959	4,013	4,063	4,259	4,473	4,241	4,410	4,389	▲ 21	+ 567	19	228
北海道 ゆめびりか	4,047	4,247	4,362	4,433	4,442	4,353	4,332	4,505	4,559	4,635	4,647	4,602	4,624	+ 22	+ 577	192	2,630
青森 青天の霹靂	4,038	4,353	4,642	4,658	4,378	4,180	4,376	4,493	4,439	4,990	4,858	4,842	4,638	▲ 204	+ 600	17	216
青森 はれわたりに	3,578	3,737	4,023	4,021	3,929	3,955	4,079	4,158	4,352	4,487	4,442	4,393	4,156	▲ 237	+ 578	37	439
青森 まっしぐら	3,704	4,020	4,298	4,157	4,073	4,104	3,994	4,100	4,218	4,376	4,197	4,164	3,865	▲ 299	+ 161	33	458
岩手 銀河のしずく	3,625	3,850	4,051	4,037	3,888	3,739	3,808	3,978	4,469	4,706	4,640	4,486	4,350	▲ 136	+ 725	39	688
岩手 ひとめぼれ	3,576	3,858	4,137	4,184	4,081	3,971	3,879	4,036	4,372	4,575	4,581	4,430	4,252	▲ 178	+ 676	61	774
宮城 だて正夢	3,627	3,939	4,143	4,208	4,145	4,098	4,178	4,259	4,496	4,599	4,601	4,534	4,485	▲ 49	+ 858	5	66
宮城 つや姫	3,864	4,193	4,266	4,418	4,340	4,280	4,249	4,205	4,415	4,803	4,780	4,540	4,293	▲ 247	+ 429	17	205
宮城 ひとめぼれ	3,708	3,926	4,006	4,135	4,115	3,995	3,985	4,044	4,307	4,440	4,377	4,260	3,930	▲ 330	+ 222	132	1,082
秋田 あきたこまち	3,930	4,236	4,353	4,418	4,272	4,110	4,084	4,282	4,537	4,682	4,707	4,479	4,308	▲ 171	+ 378	191	2,355
山形 つや姫	4,151	4,448	4,554	4,655	4,697	4,588	4,573	4,644	4,625	5,088	5,138	5,054	4,611	▲ 443	+ 460	77	952
山形 はえぬき	3,828	4,170	4,420	4,525	4,464	4,372	4,313	4,266	4,419	4,476	4,362	4,004	3,963	▲ 41	+ 135	76	783
山形 雪若丸	3,802	3,930	4,074	4,281	4,326	4,251	4,276	4,299	4,408	4,525	4,469	4,284	4,135	▲ 149	+ 333	26	309
福島 ひとめぼれ	3,664	4,163	4,221	3,733	3,690	3,697	3,733	4,139	4,261	4,579	4,298	4,252	4,248	▲ 4	+ 584	8	270
茨城 あきたこまち	3,873	4,239	4,463	4,624	4,589	4,395	4,183	4,461	4,444	4,391	4,186	3,862	3,666	▲ 196	▲ 207	38	203
茨城 コシヒカリ	3,624	4,130	4,338	4,409	4,386	4,321	4,329	4,492	4,397	4,481	4,409	4,345	4,060	▲ 285	+ 436	54	464
栃木 コシヒカリ	3,812	4,139	4,445	4,442	4,341	4,292	4,244	4,280	4,710	4,816	4,756	4,526	4,249	▲ 277	+ 437	31	327
栃木 とちぎの星	3,553	4,014	4,310	4,448	4,487	4,326	4,467	4,423	4,594	4,096	4,057	3,895	3,793	▲ 102	+ 240	35	269
栃木 なすひかり	3,814	4,391	4,482	4,113	4,019	3,973	3,944	4,151	4,560	4,593	3,914	4,339	4,187	▲ 152	+ 373	5	106
千葉 コシヒカリ	4,103	4,477	4,662	4,874	4,661	4,537	4,558	4,532	4,576	4,649	4,616	4,401	4,224	▲ 177	+ 121	35	303
千葉 粒すけ	3,940	4,260	4,260	4,348	4,190	3,823	3,873	4,352	4,446	4,513	4,520	4,713	4,442	▲ 271	+ 502	2	126
千葉 ふさおとめ	3,745	4,222	4,374	4,585	4,741	4,298	4,256	4,328	4,347	4,153	4,186	4,067	3,826	▲ 241	+ 81	39	381
千葉 ふさこがね	3,735	3,976	4,491	4,430	4,424	4,468	4,292	4,254	4,346	4,280	4,279	4,123	3,816	▲ 307	+ 81	28	371
山梨 コシヒカリ	4,070	4,233	4,351	4,595	4,454	4,422	4,351	4,497	5,001	5,004	5,011	4,764	4,669	▲ 95	+ 599	6	91
長野 あきたこまち	4,128	4,205	4,439	4,396	4,516	4,294	4,938	4,313	4,325	4,552	4,774	4,466	4,060	▲ 406	▲ 68	10	99
長野 コシヒカリ	4,023	3,996	4,112	4,196	4,287	4,316	4,319	4,431	4,345	4,467	4,355	4,340	4,137	▲ 203	+ 114	61	695
新潟 こしいぶき	3,975	4,324	4,545	4,359	4,481	4,352	4,388	4,508	4,453	4,399	4,141	4,061	4,087	+ 26	+ 112	62	658
新潟 コシヒカリ 一般	4,216	4,450	4,648	4,817	4,683	4,588	4,490	4,669	4,886	4,874	4,702	4,732	4,565	▲ 167	+ 349	140	1,912
新潟 コシヒカリ 魚沼	4,392	4,613	4,844	4,898	4,620	4,472	4,728	4,880	5,094	5,139	5,112	5,114	5,076	▲ 38	+ 684	30	485
新潟 コシヒカリ 佐渡	4,461	4,498	4,633	4,922	4,700	3,988	4,705	4,729	4,771	4,982	4,833	4,832	4,602	▲ 230	+ 141	10	131
新潟 新之助	4,555	4,723	5,012	5,248	5,152	5,121	4,754	4,860	4,918	4,910	4,698	4,633	4,688	+ 55	+ 133	49	619
新潟 みずほの輝き	4,052	4,167	4,505	4,477	4,374	4,724	4,673	4,754	4,797	4,722	4,608	4,388	4,070	▲ 318	+ 18	36	213
富山 コシヒカリ	3,920	4,210	4,311	4,769	4,565	4,558	4,484	4,469	4,691	4,590	4,544	4,362	4,277	▲ 85	+ 357	87	997
富山 てんたかく	3,993	4,370	4,333	4,566	4,581	4,495	4,354	4,612	4,723	4,648	4,630	4,447	4,217	▲ 230	+ 224	4	145
富山 富富富	3,737	4,014	4,054	4,437	4,338	4,316	4,390	4,274	4,436	4,466	4,290	4,188	4,130	▲ 58	+ 393	15	151
石川 コシヒカリ	3,676	3,891	4,087	4,138	4,143	4,103	4,079	4,482	4,831	4,758	4,496	4,384	4,251	▲ 133	+ 575	45	612
石川 ひやくまん穀	3,766	3,782	3,874	4,185	4,229	4,129	4,125	4,554	4,840	4,857	4,679	4,664	4,280	▲ 384	+ 514	27	256
石川 ゆめみづほ	3,644	3,933	3,861	3,856	4,071	4,536	4,403	4,478	4,275	4,393	4,367	4,334	4,094	▲ 240	+ 450	20	181
福井 いちほまれ	3,936	3,976	4,116	4,480	4,421	4,264	4,228	4,550	4,812	4,958	4,676	4,929	4,736	▲ 193	+ 800	12	214
福井 コシヒカリ	3,840	3,900	4,054	4,263	4,258	4,373	4,194	4,415	4,287	4,667	4,865	4,875	4,769	▲ 106	+ 929	8	173
福井 ハナエゼン	3,641	4,310	4,268	4,437	4,964	4,595	4,571	4,367	3,816	3,929	3,443	3,784	4,285	+ 501	+ 644	4	147
三重 コシヒカリ 一般	3,924	4,366	4,503	4,444	4,332	4,288	4,387	4,577	4,635	4,581	4,396	4,351	4,159	▲ 192	+ 235	45	328
三重 コシヒカリ 伊賀	4,156	4,423	4,460	4,580	4,367	4,215	4,272	4,780	4,765	4,776	4,705	4,673	4,464	▲ 209	+ 308	13	153
福岡 元気つくし	4,423	4,561	4,658	4,633	4,568	4,468	4,560	4,620	4,851	4,958	4,629	4,688	4,435	▲ 253	+ 12	21	271
福岡 夢つくし	4,342	4,523	4,588	4,579	4,503	4,567	4,582	4,782	4,837	4,603	4,590	4,378	4,202	▲ 176	▲ 140	30	256
佐賀 さがびより	4,105	4,462	4,563	4,560	4,521	4,388	4,474	4,550	4,549	4,641	4,442	4,422	4,353	▲ 69	+ 248	19	254
佐賀 夢しずく	4,142	4,424	4,422	4,560	4,320	4,266	4,318	4,407	4,401	4,364	4,249	4,206	4,209	+ 3	+ 67	13	145
大分 ヒノヒカリ	4,125	4,266	4,438	4,470	4,410	4,304	4,347	4,430	4,689	4,754	4,725	4,527	4,373	▲ 154	+ 248	8	114
宮崎 コシヒカリ	2,624	2,061	1,995	1,899	-	4,442	4,573	4,498	4,512	4,532	4,472	4,277	4,118	▲ 159	+ 1,494	4	251
宮崎 ヒノヒカリ	3,654	4,043	4,439	4,814	4,868	4,746	4,565	4,522	4,208	4,181	4,369	4,345	4,084	▲ 261	+ 430	15	205
全POS取引平均価格	3,878	4,145	4,225	4,238	3,895	3,575	3,764	4,189	4,209	4,300	4,337	4,248	4,131	▲ 117	+ 253		
全POS取引数量(トン)	3,239	3,569	4,271	4,190	4,527	4,814	4,701	3,749	3,643	3,448	3,539	3,204	3,683	+ 479	+ 444	3,683	47,337

(参考：ドラッグストア)

全POS取引平均価格	3,633	3,978	4,355	4,393	4,221	4,058	4,031	4,028	4,167	4,154	4,122	4,025	3,957	▲ 68	+ 324
------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等（ドラッグストアは約400店舗）から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

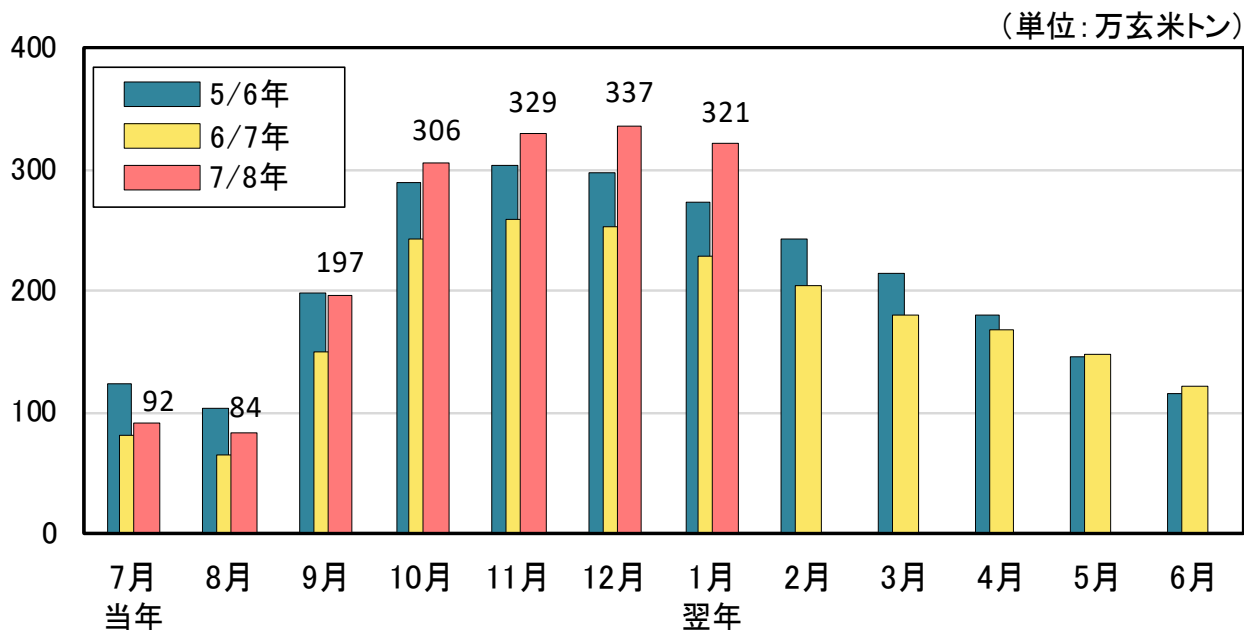
注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：全POS取引平均価格は、POSデータを把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

注5：価格に含む消費税は8%である。

## オ 米の民間在庫情報

- 令和8年1月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、対前年同月差+92万玄米トンの321万玄米トンとなっている。また、流通段階別でみると出荷段階で対前年同月差+71万玄米トンの251万玄米トン、販売段階で+21万玄米トンの71万玄米トンとなっている。



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4 期間については、7/8年であれば、令和7年7月～8年6月である。

5 令和7年3月以降には、売り渡した政府備蓄米（入札及び随意契約による売渡し分）の数量（令和8年1月末時点で0.1万トン）を含む。

## 【令和8年1月末民間在庫量のポイント】

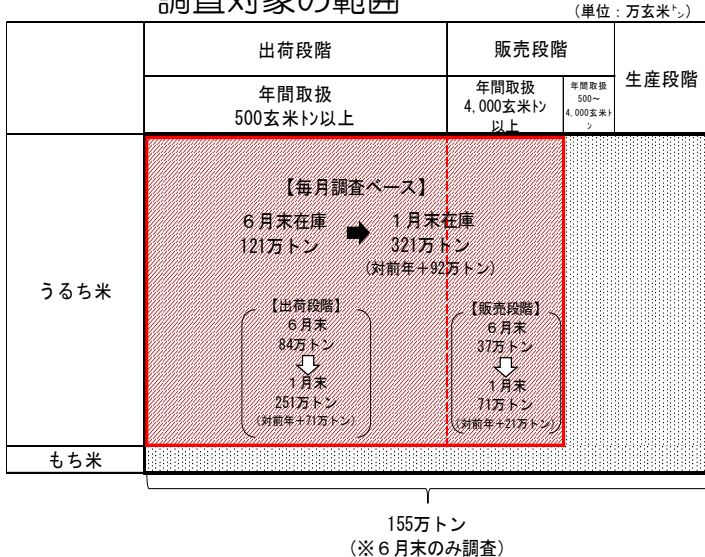
- 令和8年1月末の民間在庫量は対前年同月+92万玄米トンの321万玄米トンと、令和4年（326万玄米トン）に次いで、近年では高い在庫水準（なお、令和4年6月末の農家在庫等も含めた在庫全体は218万玄米トン）。
- 段階別にみると、出荷段階は251万玄米トン、販売段階は71万玄米トンであり、販売段階の在庫量は例年の同時期（50万トン程度）に比べ高い水準で推移。

※ 在庫率は上記対象事業者の在庫量を全体の需要で割ったもの。

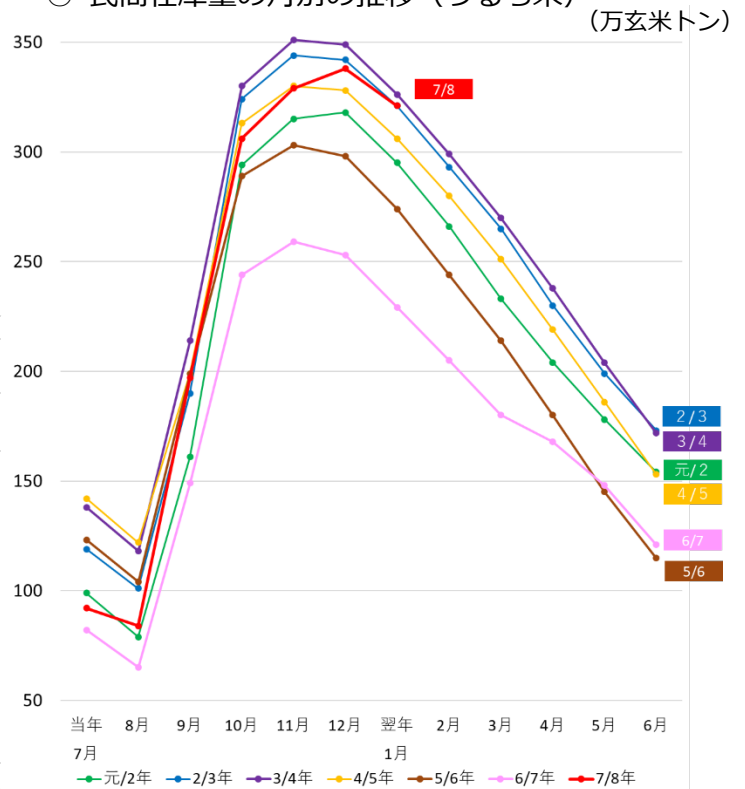
○出荷・販売段階別の民間在庫量（うるち米）

	出荷段階	販売段階	合計
7年1月末	179	50	229
前年差	▲49	+4	▲45
8年1月末	251	71	321
前年差	+71	+21	+92

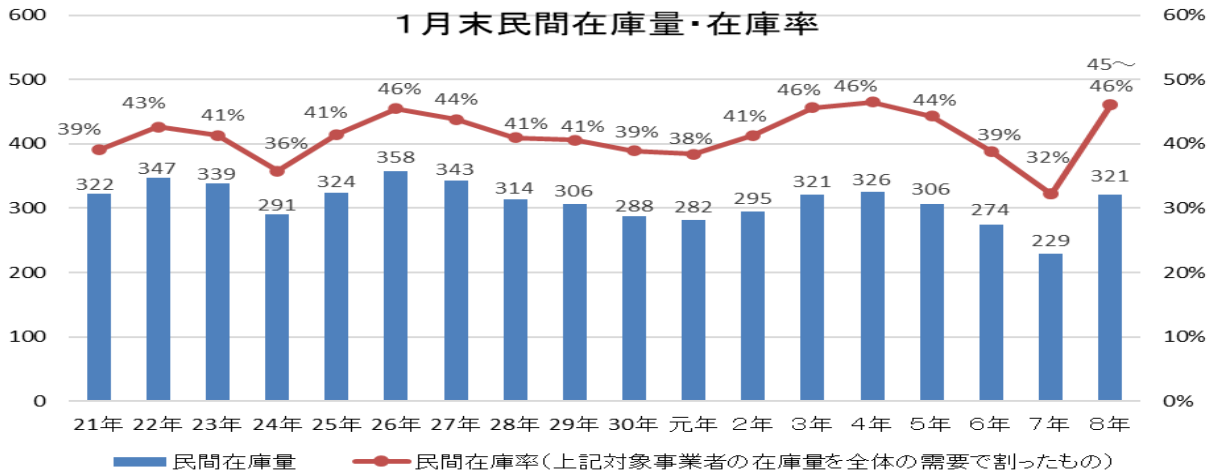
（参考）毎月公表している民間在庫量の調査対象の範囲



○ 民間在庫量の月別の推移（うるち米）



（万玄米トン）



※22年以前は、政府備蓄米の運営を回転備蓄方式で実施していたため、政府備蓄米がこの他に主食用米として販売されている。

※出荷段階は玄米仕入数量が500ト以上の集荷業者等、販売段階は玄米仕入数量が4,000ト以上の卸売業者等を対象。

※令和7年の在庫率は、7/8年の需要見通し（697~711万玄米トン）により算出。

※令和8年は、売り渡した政府備蓄米（入札及び随意契約による売渡し分）の数量（0.1万玄米トン：全て販売段階）を含む。

## 【全国段階の民間在庫の推移(うるち米)】

### 【出荷＋販売段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
元/2年	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
対前年差	▲3	▲9	+10	+6	+10	+17	+13	+7	+6	+11	+16	+23
元 年 産 米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
2/3年	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173
対前年差	+20	+21	+29	+30	+29	+24	+26	+27	+31	+27	+21	+19
2 年 産 米	0	12	124	266	297	304	291	269	245	214	185	162
1年古米(元年産)	112	84	61	51	40	31	23	17	13	11	9	7
3/4年	138	118	214	330	351	349	326	299	270	238	204	172
対前年差	+19	+17	+24	+6	+6	+7	+5	+6	+6	+7	+5	▲1
3 年 産 米	0	11	129	253	285	293	278	258	236	208	179	149
1年古米(2年産)	129	99	77	68	57	47	39	33	28	23	19	17
4/5年	142	122	199	313	330	328	306	280	251	219	186	153
対前年差	+4	+4	▲15	▲18	▲21	▲21	▲20	▲19	▲20	▲18	▲19	▲18
4 年 産 米	1	12	112	236	263	273	259	240	217	191	163	134
1年古米(3年産)	124	94	71	59	49	40	33	26	21	17	14	11
5/6年	123	104	199	289	303	298	274	244	214	180	145	115
対前年差	▲20	▲18	±0	▲23	▲26	▲31	▲32	▲36	▲37	▲39	▲40	▲38
5 年 産 米	1	14	131	232	254	260	245	221	195	165	133	105
1年古米(4年産)	106	78	56	46	36	27	21	15	13	10	7	5
6/7年	82	65	149	244	259	253	229	205	180	168	148	121
対前年差	▲40	▲39	▲51	▲45	▲44	▲45	▲45	▲39	▲34	▲12	+3	+6
6 年 産 米	1	13	112	213	234	234	215	193	170	155	128	106
1年古米(5年産)	74	47	31	23	18	11	7	5	4	9	15	11
7/8年	92	84	197	306	329	337	321					
対前年差	+10	+19	+48	+62	+70	+84	+92					
7 年 産 米	0	16	146	261	290	306	296					
1年古米(6年産)	83	63	44	36	30	22	18					

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4 期間については、7/8年であれば、令和7年7月～8年6月である。

5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。

6 令和7年3月以降には、売り渡した政府備蓄米（入札及び随意契約による売渡し分）の数量（令和8年1月末時点で0.1万トン）を含む（下表を参照）。

(参考) 売り渡した政府備蓄米の民間在庫

(単位: 万玄米トン)

	7年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	8年 1月
出荷＋販売段階	0.2	16.4	19.7	11.9	5.3	1.8	1.0	0.4	0.2	0.2	0.1
6 年 産 米	0.1	11.2	6.9	3.3	1.3	0.4	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0
5 年 産 米	0.1	5.3	12.8	8.3	3.8	1.2	0.6	0.2	0.1	0.1	0.0
出荷段階	0.0	14.5	16.4	7.8	2.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	-
6 年 産 米	0.0	9.8	4.8	1.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
5 年 産 米	0.0	4.6	11.6	6.3	2.4	0.0	-	-	-	-	-
販売段階	0.2	2.0	3.3	4.1	2.7	1.7	1.0	0.4	0.2	0.2	0.1
6 年 産 米	0.1	1.3	2.2	1.8	1.1	0.4	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0
5 年 産 米	0.1	0.6	1.2	2.1	1.4	1.2	0.6	0.2	0.1	0.1	0.0

## 【出荷段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
元/2年	74	55	128	238	257	261	244	219	184	157	138	109
対前年差	▲2	▲8	+8	+2	+5	+13	+9	+4	+1	+7	+11	+8
元 年 産 米	0	7	99	222	246	254	238	214	181	155	136	108
1年古米(30年産)	73	47	28	14	9	6	4	3	2	2	1	1
2/3年	84	70	151	265	285	284	269	245	217	186	162	132
対前年差	+10	+15	+23	+27	+27	+22	+26	+27	+33	+29	+24	+23
2 年 産 米	0	9	108	236	263	268	258	237	211	182	158	129
1年古米(元年産)	82	60	42	28	20	14	10	7	5	4	3	3
3/4年	106	90	178	277	298	296	279	256	226	196	169	139
対前年差	+22	+20	+27	+12	+13	+12	+10	+11	+9	+10	+7	+7
3 年 産 米	0	8	115	227	255	261	249	231	206	179	154	126
1年古米(2年産)	103	80	61	47	40	33	28	24	19	16	14	13
4/5年	116	98	166	262	277	276	259	236	204	176	149	121
対前年差	+10	+8	▲12	▲15	▲21	▲20	▲20	▲20	▲22	▲20	▲20	▲18
4 年 産 米	0	9	97	208	231	239	228	210	185	160	136	110
1年古米(3年産)	103	78	58	44	36	29	24	19	14	11	9	7
5/6年	95	78	161	235	249	246	228	202	171	139	112	84
対前年差	▲21	▲20	▲5	▲27	▲28	▲31	▲31	▲34	▲33	▲36	▲38	▲37
5 年 産 米	0	10	113	200	220	225	212	190	163	134	108	81
1年古米(4年産)	86	61	42	30	24	17	13	10	6	4	3	2
6/7年	58	44	113	187	200	196	179	159	135	125	109	84
対前年差	▲38	▲34	▲49	▲49	▲49	▲49	▲49	▲43	▲36	▲14	▲3	±0
6 年 産 米	0	9	90	172	189	190	175	156	133	119	95	76
1年古米(5年産)	55	34	21	12	8	5	3	2	2	6	13	7
7/8年	60	51	144	226	248	260	251					
対前年差	+2	+7	+31	+39	+48	+63	+71					
7 年 産 米	0	10	116	208	234	249	242					
1年古米(6年産)	56	40	26	16	12	8	7					

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

## 【販売段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
元/2年	26	24	33	56	58	57	51	47	49	46	40	45
対前年差	±0	▲1	+2	+3	+4	+4	+4	+4	+5	+4	+5	+14
元 年 産 米	0	3	16	32	37	40	38	36	40	38	33	38
1年古米(30年産)	22	18	15	20	15	10	8	6	5	4	3	2
2/3年	35	31	39	59	60	58	52	48	48	44	37	41
対前年差	+10	+7	+6	+3	+2	+1	+1	+1	▲2	▲2	▲3	▲4
2 年 産 米	0	3	15	30	34	36	33	32	34	33	27	33
1年古米(元年産)	30	24	19	23	20	16	13	10	9	7	6	4
3/4年	32	28	36	53	53	53	46	43	44	42	35	32
対前年差	▲3	▲2	▲3	▲5	▲7	▲5	▲6	▲4	▲3	▲2	▲2	▲8
3 年 産 米	0	3	14	26	30	32	29	28	30	30	25	24
1年古米(2年産)	25	20	16	20	16	14	11	9	9	7	5	4
4/5年	26	25	33	50	52	52	47	44	46	43	36	33
対前年差	▲6	▲4	▲3	▲3	▲1	▲1	+1	+1	+2	+2	+1	±0
4 年 産 米	0	3	15	28	32	34	31	31	32	31	26	24
1年古米(3年産)	20	17	13	15	13	11	8	7	8	7	5	4
5/6年	27	26	38	54	54	52	46	42	43	41	34	31
対前年差	+1	+2	+5	+3	+2	±0	±0	▲3	▲3	▲3	▲3	▲2
5 年 産 米	0	4	18	32	34	35	32	31	32	31	26	24
1年古米(4年産)	20	17	14	16	12	10	8	6	6	6	4	3
6/7年	25	21	36	58	59	56	50	46	45	43	40	37
対前年差	▲3	▲5	▲2	+4	+5	+4	+4	+4	+2	+2	+6	+6
6 年 産 米	0	4	23	41	44	44	40	38	37	36	33	30
1年古米(5年産)	19	13	9	11	9	6	4	3	2	3	3	3
7/8年	32	33	53	80	81	78	71					
対前年差	+8	+12	+17	+22	+22	+21	+21					
7 年 産 米	0	5	29	53	56	57	54					
1年古米(6年産)	26	22	18	20	18	14	11					

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

## カ 主食用米等の需給見通し（米の基本指針（令和7年10月31日））

### （1）令和6/7年の需給実績（確定値）

○ 令和6/7年（令和6年7月から令和7年6月までの1年間）の需要実績（確定値）は、玄米ベースで713万玄米トン、精米ベースで635万精米トンとなります。

		玄米ベース (万トン(玄米))	精米ベース (万トン(精米))
令和 6/ 7 年	令和6年6月末民間在庫量	A	153
	令和6年産主食用米等生産量	B	679
	政府備蓄米供給数量	C	36
	令和6/7年主食用米等供給量計	D= A+B+C	868
	令和6/7年主食用米等需要量	E	713
	令和7年6月末民間在庫量	F= D-E	155
			635

- 注1：令和6年産主食用米等生産量は、令和6年産水稻の収穫量（主食用）（「作物統計」農林水産省大臣官房統計部）である。
- 注2：6月末民間在庫量は、玄米の取扱数量が年間500トン以上の届出事業者の在庫量に水稻を作付けした生産者の在庫量推計値を加えたものである。なお、令和7年6月末民間在庫量には、売り渡した政府備蓄米の在庫量（12万玄米トン）を含む。
- 注3：令和6/7年政府備蓄米供給量は、令和7年6月までに供給された政府備蓄米の数量（買戻し条件付売渡しによる政府備蓄米31万玄米トン、随意契約による政府備蓄米5万玄米トン）である。
- 注4：精米ベースの令和6年6月末民間在庫量、令和6年産主食用米等生産量、政府備蓄米供給量及び令和7年6月末民間在庫量は、玄米ベースの値に「精米歩留りの状況調査」による当該年産の精米歩留りを乗じた値である。
- 注5：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

#### 需要実績の算出方法

	玄米ベース	精米ベース	
①	679万トン	606万トン	（令和6年産主食用米等生産量）
+	② 36万トン	32万トン	（令和6/7年政府備蓄米供給量）
+	③ 153万トン	135万トン	（令和6年6月末民間在庫量）
-	④ 155万トン	138万トン	（令和7年6月末民間在庫量）
	<hr/> 713万トン	<hr/> 635万トン	

## (2) 令和7/8年の主食用米等の需要見通しの算出（見直し）【精米ベースで算出】

- 1人当たり消費量は、直近5年ではマイナス・トレンドとなっておらず、直近の需要の動向を反映するため、直近5年の平均値と最大値の幅を持って設定。
- その上で、人口推計やインバウンド需要を考慮して、需要見通しを幅を持って設定。

### ■ 令和7/8年の主食用米等の需要見通しの算出方法

#### I 1人当たり消費量（精米ベース）の算出

- ① 直近5年（令和2/3年～6/7年）の需要実績（精米ベース）から当該年のインバウンド需要を減じた上で、当該年の人口で除し、各年の1人当たり消費量（精米ベース）を算出

※需要実績にはインバウンド需要が含まれているため、これを減じた上で、人口で除し、日本在住者の1人当たり消費量を算定

$$(\text{需要実績} - \text{インバウンド需要}) \div \text{人口} = \text{1人当たり消費量}$$

- ② ①で算出した直近5年の1人当たり消費量の平均値と最大値の幅をもって設定

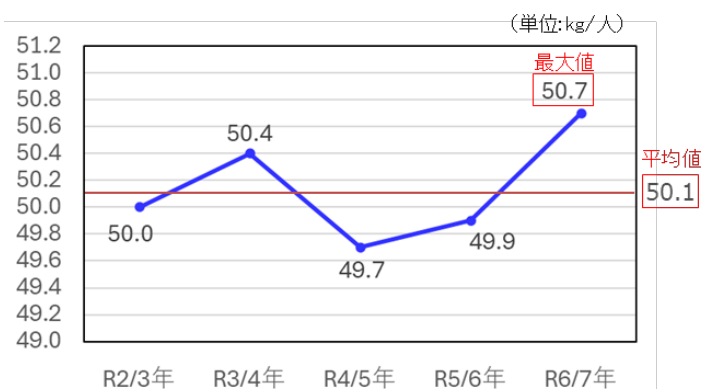
#### II 需要見通し（精米・玄米ベース）の算出

- ① Iの②で算出した「平均値」と「最大値」について、令和7年の人口（推計値）を乗じた上で、令和7/8年のインバウンド需要（試算）を加え、需要見通しを算定

$$(\text{1人当たり消費量} \times \text{人口推計}) + \text{インバウンド需要(試算)} = \text{需要見通し}$$

- ② ①で算出した精米ベースの需要量見通しについて、精米歩留りの直近5年の実績ベースの幅（直近5年平均値、直近5年最低値）をもって玄米換算

（参考1）1人当たり消費量（精米ベース）の推移



（参考2）訪日外国人による米の需要量の推移  
(単位: 万ト)

R2/3	R3/4	R4/5	R5/6	R6/7	R7/8 (推計値)
0.0	0.1	1.9	5.1	5.7	6.1

（参考3）精米歩留りの推移

(単位: %)					
2年産	3年産	4年産	5年産	6年産	5年平均
89.7	90.3	90.0	88.6	89.2	89.6

### (3) -1 令和7/8年の主食用米等の需要見通しの算出

- 需要見通しの算出のポイントは、以下のとおりです。
  - ① 1人当たり消費量：マイナストレンド⇒直近5年の実績ベースを幅で設定
  - ② インバウンド需要：新たに需要量に盛り込む
  - ③ 精米歩留まり：直近5年の実績ベースを「幅」で設定

#### ■ 令和7/8年の主食用米等の需要見通しの算出方法

##### ① 1人当たり消費量（精米ベース）

【算出方法】

$$\left( \text{需要実績} - \text{インバウンド需要量 (試算)} \right) \div \text{人口} = \text{一人当たり消費量 (インバウンド需要除く)}$$

○直近5年平均値

50.2kg/人

○直近5年の最大値（令和6/7年）

50.8kg/人

× 0.998

50.7kg/人

直近のとう精数量の実績に基づき補正（次ページ参照）

##### ② 令和7/8年需要量（玄米ベース）

一人当たり消費量 (インバウンド需要除く)	×	令和7年人口 (7年9月人口(概算値))	=	令和7/8年需要量 (インバウンド需要除く)	+	令和7/8年 インバウンド需要量(試算)	=	令和7/8年需要量 【精米ベース】	÷ 0.896	令和7/8年需要量 【玄米ベース】
50.2kg/人		123,170千人		618.0万吨		6.1万吨		624.1万吨	→ 玄米換算	697.4万吨
50.7kg/人		123,170千人		624.8万吨		6.1万吨		630.9万吨	÷ 0.886	711.3万吨

（参考1）一人当たり消費量（精米）の推移

	需要実績 (万吨)		インバウンド 需要 (万精米トン) ②	人口 (千人) ③	1人当たり 消費量 (精米kg) (①-②)÷③
	玄米	精米 ①			
R2/3年	704.0	631.3	0.0	126,146	50.0
R3/4年	701.5	632.8	0.1	125,502	50.4
R4/5年	691.1	622.3	1.9	124,947	49.7
R5/6年	704.9	626.2	5.1	124,352	49.9
R6/7年	712.7	635.0	5.7	123,802	50.8
				5年平均	50.2

（参考2）精米歩留りの推移

（単位：％）

2年産	3年産	4年産	5年産	6年産	5年平均
89.7	90.3	90.0	88.6	89.2	89.6

（参考3）人口減少による需要の減少量

R6/7年からR7/8年の人口減少（▲63万人）による需要の減少量は ▲63万人×50.8kg/人＝▲3.2万吨

### (3) -2 とう精数量実績に基づく、令和7/8年の1人当たり消費量の最大値の補正

- 令和7/8年の7月・8月のとう精実績は、3ヵ年平均値の同月分と比べて約2,400玄米トン（0.42%）少なくなっている。
- この減少率に、需要量全体に占めるとう精数量の割合を加味すれば、需要見通し上では0.20%の減少率に相当。
- 減少率0.20%とすると、1人当たり消費量（インバウンド需要除く）の最大値は50.7kg/人。

#### ○ とう精数量実績の推移（千トン（玄米））

	7月	8月	7月~8月計	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	年計
令和4/5年	272.5	279.9	552.5	280.1	278.4	269.9	290.0	252.8	260.6	290.1	291.1	290.8	289.6	3,345.9
令和5/6年	282.5	291.5	574.0	285.3	288.9	278.8	299.8	268.1	279.7	295.9	310.1	302.8	293.8	3,477.3
令和6/7年	301.7	308.3	609.9	278.9	278.7	268.9	287.2	261.7	258.5	271.0	303.1	288.6	291.5	3,397.9
3ヵ年平均	285.6	293.2	578.8	281.4	282.0	272.5	292.3	260.9	266.3	285.6	301.4	294.1	291.6	3,407.0
令和7/8年	304.5	271.9	576.4 (▲0.42%)	280.3	280.8	271.4	291.1	259.8	265.2	284.5	300.2	292.9	290.4	3,392.9

注 とう精数量は、報告のあった468の精米事業者のうち、前回調査（本年6月）と比較可能な398の精米事業者の実績を集計。

3,006千精米トン

#### ○ 1人当たり消費量の最大値の補正

上記の減少率（▲0.42%）に、  
R7/8 需要量全体（626.1万トン<sup>※</sup>）に占める  
R7/8 とう精数量見込み（300.6万トン）の割合  
を乗じて▲0.20%

※ 50.8kg/人×123,170千人=626.1万トン

$$0.42\% \times \frac{300.6 \text{ 万トン}}{626.1 \text{ 万トン}} = 0.20\% \quad \rightarrow \quad 50.8\text{kg} \times (1 - 0.20\%) = \underline{50.7\text{kg}}$$

## (4) 令和8/9年の主食用米等の需要見通しの算出

- 需要見通しの算出のポイントは、以下のとおりです。  
令和7/8年需要見通しの算定の考え方を踏襲して設定
- ① 1人当たり消費量：直近5年（令和2/3年～6/7年）の需要実績（精米ベース）を基に、平均値～最大値の幅で設定
- ② 人口、インバウンド需要：令和8/9年の推計値に更新

### ■ 令和8/9年の主食用米等の需要見通しの算出方法

#### ① 1人当たり消費量（精米ベース）

【算出方法】

$$\left( \text{需要実績} - \text{インバウンド需要量 (試算)} \right) \div \text{人口} = \text{一人当たり消費量 (インバウンド需要除く)}$$

○直近5年平均値

50.2kg/人

○直近5年の最大値（令和6/7年）

50.8kg/人

#### ② 令和8/9年需要量（玄米ベース）

一人当たり消費量 (インバウンド需要除く)	×	令和8年人口 (推計値)	=	令和8/9年需要量 (インバウンド需要除く)	+	令和8/9年 インバウンド需要量(試算)	=	令和8/9年需要量 【精米ベース】	÷0.896	令和8/9年需要量 【玄米ベース】
50.2kg/人		122,569千人		615.0万トン		6.6万トン		621.6万トン	↓ 玄米 換算 ↑	694.1万トン
50.8kg/人		122,569千人		623.0万トン		6.6万トン		629.6万トン		÷0.886

#### (参考1) 一人当たり消費量（精米）の推移

	需要実績 (万トン)		インバウンド 需要 (万精米トン) ②	人口 (千人) ③	1人当たり 消費量 (精米kg) (①-②)÷③
	玄米	精米 ①			
R2/3年	704.0	631.3	0.0	126,146	50.0
R3/4年	701.5	632.8	0.1	125,502	50.4
R4/5年	691.1	622.3	1.9	124,947	49.7
R5/6年	704.9	626.2	5.1	124,352	49.9
R6/7年	712.7	635.0	5.7	123,802	50.8
				5年平均	50.2

#### (参考2) 精米歩留りの推移

(単位：%)

2年産	3年産	4年産	5年産	6年産	5年平均
89.7	90.3	90.0	88.6	89.2	89.6

(参考3) 人口減少による需要の減少量  
R7/8年からR8/9年の人口減少(▲60万人)  
による需要の減少量は ▲60万人×50.8kg/人  
=▲3.1万トン

## (5) 令和7/8及び令和8/9年の需給見通し

- 令和7/8年の需給見通しについては、需要量を前記で算出した玄米ベースで697万玄米トンから711万玄米トン、精米ベースで624万精米トンから631万精米トンと設定。この結果、令和8年6月末民間在庫量は玄米ベースで215万玄米トンから229万玄米トン、精米ベースで191万精米トンから205万精米トンと見通されます。
- 令和8/9年の需給見通しについては、需要量を前記で算出した玄米ベースで694万玄米トンから711万玄米トン、精米ベースで622万精米トンから630万精米トンと設定。令和8年産主食用米等の生産量の見通しは、需要見通しに対して余裕をもって設定することとし、需要量見通しの上位値である玄米ベースで711万玄米トン、精米ベースで630万精米トンから637万精米トンとします。この結果、令和9年6月末民間在庫量は玄米ベースで215万玄米トンから245万玄米トン、精米ベースで191万精米トンから220万精米トンと見通されます。

### ■ 令和7/8年及び令和8/9年の主食用米等の需給見通し

		玄米ベース (万トン(玄米))	精米ベース (万トン(精米))
令和 7 / 8 年	令和7年6月末民間在庫量 A	155	138
	令和7年産主食用米等生産量 B=C+D	748	662~670
	うち生産者ふるい目幅以上 C	715	/
	うち生産者ふるい目幅未満のうち、 主食用米への供給見込量 D	32	
	令和7/8年政府備蓄米供給量 E	23	21
	令和7/8年主食用米等供給量計 F=A+B+E	926	822~829
	令和7/8年主食用米等需要量 G	697~711	624~631
令和8年6月末民間在庫量 H=F-G	215~229	191~205	
注：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。			
令和 8 / 9 年	令和8年6月末民間在庫量 H	215~229	191~205
	令和8年産主食用米等生産量 I	711	630~637
	令和8/9年主食用米等供給量計 J=H+I	926~939	821~841
	令和8/9年主食用米等需要量 K	694~711	622~630
	令和9年6月末民間在庫量 L=J-K	215~245	191~220

注：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

※1：事前契約による令和8年産備蓄米の政府買入れは21万玄米トンを予定。これは上記「令和8年産主食用米等生産量」には含まれていない。

※2：政府備蓄米の放出（全体で約59万玄米トン）に係る買戻し及び買入れは、今後の需給状況等を見定めた上で行う。

※3：上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式や枠外の民間輸入（令和6/7年：約4万実トン）による輸入米は含まれない。

※4：需給の見通しについては、今後の生産量や需要量の把握に努め、必要に応じて柔軟に対応。

# キ 令和7年産水稻の収穫量

## 令和7年産水稻の作付面積（主食用）及び収穫量（全国農業地域別）

全国農業地域	作付面積 (主食用) ①	生産者が使用している ふるい目幅で選別		前年産との比較					
		10a当たり 収量 ②	A 収穫量(主食用 (生産者ふるい上 米)) ③=①×②	作付面積 (主食用)		生産者が使用しているふるい目幅で選別			
				対差	対比	10a当たり収量	対差	対比	収穫量(主食用(生産者 ふるい上米))
	ha	kg	t	ha	%	kg	%	t	%
全国 (1)	1,367,000	526	7,181,000	108,000	109	7	101	662,000	110
北海道 (2)	90,400	549	496,300	6,700	108 △	13	98	25,900	106
東北 (4)	361,100	557	2,012,000	41,300	113	1	100	236,000	113
北陸 (5)	187,700	517	970,300	11,900	107	7	101	74,300	108
関東・東山 (6)	260,700	524	1,366,000	25,700	111 △	5	99	122,000	110
東海 (7)	87,000	490	425,700	3,600	104	16	103	30,100	108
近畿 (8)	93,500	507	473,900	2,900	103	19	104	31,900	107
中国 (9)	92,700	519	482,100	2,300	103	21	104	32,100	107
四国 (10)	43,700	495	215,800	1,400	103	24	105	16,400	108
九州 (11)	149,500	492	736,900	11,300	108	26	106	93,700	115
沖縄 (12)	597	311	1,860	40	107 △	8	97	80	104

全国農業地域	ふるい目幅 1.70mm で選別	前年産との比較						作況単収指数
		10a当たり収 量 ⑤	C = A + B 収穫量 (主食用(生産者ふる い下米含む)) ⑥ = ① × ⑤	ふるい目幅 1.70mm で選別		収穫量(主食用 (生産者ふるい下米含 む))		
				10a当たり収量	対差	対比	対差	
	kg	t	kg	%	t	%		
全国 (1)	547	7,468,000	7	101	676,000	110	102	
北海道 (2)	574	518,900	△ 18	97	23,400	105	98	
東北 (4)	583	2,103,000	0	100	238,000	113	101	
北陸 (5)	541	1,015,000	6	101	76,200	108	101	
関東・東山 (6)	541	1,411,000	△ 4	99	129,000	110	100	
東海 (7)	505	439,000	16	103	31,500	108	103	
近畿 (8)	527	492,700	20	104	33,100	107	105	
中国 (9)	538	499,400	26	105	36,400	108	105	
四国 (10)	505	220,000	24	105	16,400	108	106	
九州 (11)	513	767,400	24	105	91,400	114	106	
沖縄 (12)	314	1,870	△ 12	96	50	103	99	

資料：農林水産省統計部『作物統計』

- 注：1 作付面積（主食用）(①)とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 2 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10a当たり収量(②)及び収穫量(主食用(生産者ふるい上米))(③)は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 3 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10a当たり収量(②)については、都道府県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。
- 4 10a当たり収量(⑤)及び収穫量(主食用(生産者ふるい下米含む))(⑥)は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 5 収穫量(主食用(生産者ふるい上米))(③)及び収穫量(主食用(生産者ふるい下米含む))(⑥)については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
- 6 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10a当たり収量の前年産までの5か年中3年平均(最高、最低除く)に対する10a当たり収量の比率である。

## 令和7年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況（全国農業地域別）

全国農業地域	ふるい目幅別重量分布状況							対前年差					
	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～ 1.80	1.80 ～ 1.85	1.85 ～ 1.90	1.90 ～ 2.00	2.00mm以上	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～ 1.80	1.80 ～ 1.85	1.85 ～ 1.90	1.90 ～ 2.00	2.00mm以上
	%	%	%	%	%	%	%	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント
全	100.0	0.7	1.2	1.5	2.6	12.0	82.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	△ 0.1
北	100.0	0.5	0.8	1.0	2.0	8.9	86.8	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 1.8	△ 2.5
東	100.0	0.5	1.0	1.2	2.2	10.9	84.2	0.0	△ 0.1	△ 0.1	0.0	0.4	△ 0.2
北	100.0	0.8	1.1	1.4	2.6	12.4	81.7	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.8	1.4
東	100.0	0.8	1.5	1.9	3.1	15.7	77.0	0.0	0.3	0.3	0.5	2.2	△ 3.3
東	100.0	0.8	1.3	1.8	2.8	11.4	81.9	0.2	0.2	0.3	0.7	2.5	△ 3.9
近	100.0	0.9	1.3	1.5	2.4	10.4	83.5	0.1	0.2	0.1	0.1	0.3	△ 0.8
中	100.0	0.8	1.2	1.4	2.1	9.5	85.0	0.3	0.3	0.3	0.3	1.0	△ 2.2
四	100.0	0.8	1.2	1.7	2.4	10.8	83.1	0.0	0.1	0.2	0.0	△ 0.8	0.5
九	100.0	1.0	1.6	1.9	3.3	13.3	78.9	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.6	△ 1.1	△ 4.4	6.6
沖	100.0	0.4	1.0	1.2	1.9	9.2	86.3	0.0	0.1	0.0	△ 0.7	△ 3.6	4.2

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：ふるい目幅別重量分布とは、それぞれのふるい目幅で選別された玄米の重量の割合である。

## 令和7年産水稻玄米のふるい目幅別10a当たり収量（全国農業地域別）

単位：kg

全国農業地域	1.70mm以上	1.75mm以上	1.80mm以上	1.85mm以上	1.90mm以上	2.00mm以上
	全	547	543	537	529	515
北	574	571	566	560	549	498
東	583	580	574	567	555	491
北	541	537	531	523	509	443
東	541	537	530	520	503	418
東	505	501	494	488	474	416
近	527	522	516	508	497	442
中	538	534	527	521	510	459
四	505	501	495	487	475	421
九	513	508	500	490	474	406
沖	314	313	311	307	301	271

資料：農林水産省統計部『作物統計』

## 令和7年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（主食用、全国農業地域別）

単位：t

全国農業地域	1.70mm以上	1.75mm以上	1.80mm以上	1.85mm以上	1.90mm以上	2.00mm以上
	全	7,468,000	7,415,000	7,328,000	7,222,000	7,034,000
北	518,900	516,300	512,200	507,000	496,300	449,600
東	2,103,000	2,094,000	2,073,000	2,048,000	2,003,000	1,774,000
北	1,015,000	1,006,000	994,900	981,300	956,000	831,100
東	1,411,000	1,399,000	1,381,000	1,355,000	1,311,000	1,088,000
東	439,000	435,500	429,800	424,200	411,800	361,200
近	492,700	488,300	482,400	474,600	464,800	413,300
中	499,400	495,300	489,400	483,600	473,400	425,500
四	220,000	218,300	215,800	212,200	207,100	183,300
九	767,400	760,000	748,000	733,800	708,400	606,100
沖	1,870	1,860	1,860	1,840	1,800	1,630

資料：農林水産省統計部『作物統計』

## 令和7年産水稻の作況標本筆の10a当たり収量の分布状況（全国農業地域別）

単位：%

全国農業地域	計	100kg未満	100～200	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800kg以上
全	100.0	0.3	0.4	1.8	8.6	27.9	40.8	17.4	2.6	0.2
北海道	100.0	-	-	0.6	3.3	25.6	45.6	22.9	1.8	0.2
東北	100.0	0.1	0.4	0.7	4.3	20.4	40.7	26.7	6.3	0.4
北陸	100.0	0.1	0.2	2.3	8.6	30.2	43.5	14.2	0.8	0.1
関東・東山	100.0	0.2	0.6	1.1	9.1	26.6	38.3	19.9	4.0	0.2
東海	100.0	-	0.5	4.0	12.7	31.3	41.4	9.3	0.8	-
近畿	100.0	0.4	0.3	1.9	10.0	31.1	38.5	16.7	1.1	-
中国	100.0	0.3	0.5	1.9	10.2	24.7	40.9	18.6	2.6	0.3
四国	100.0	-	0.7	3.3	13.9	31.6	36.1	12.9	1.5	-
九州	100.0	1.3	0.6	2.1	9.6	34.7	42.8	8.7	0.2	-
沖縄	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：1 10a当たり収量は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。

2 沖縄については、水稻作況標本筆を設置していないことから「…」で示した。

## 令和7年産水稻の玄米品位の状況（全国農業地域別）

単位：%

全国農業地域	白未熟粒	死米	胴割粒	着色粒
全	3.7	0.3	1.2	0.2
北海道	2.9	0.3	0.3	0.2
東北	1.7	0.1	1.2	0.2
北陸	3.0	0.2	1.2	0.1
関東・東山	4.7	0.4	1.2	0.2
東海	7.0	0.7	1.9	0.4
近畿	5.3	0.4	1.2	0.2
中国	4.1	0.3	0.7	0.2
四国	5.5	0.6	0.6	0.3
九州	4.8	0.3	1.4	0.2
沖縄	5.9	0.2	1.2	0.3

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：1 水稻作況標本（基準）筆の刈取試料（生産者が使用しているふるい目幅で選別した玄米）を、筆ごとに穀粒判別器を用いて品位分析を行い、その結果を集計したものであり、調製のうえ販売される玄米の品位とは異なる。

2 白未熟粒は白色不透明な部分の大きさが粒平面の1/2以上のものである粒、死米は粉状質で光沢がないものが2/3以上を占める粒、胴割粒は粒平面に横一条の亀裂がすっきり通っている粒、着色粒は着色部分の大きさが直径1mm以上かつ粒表面の2/3以下のものである粒をいう。

## (2) 金の関連情報（大阪取引所）

### ア 取引価格

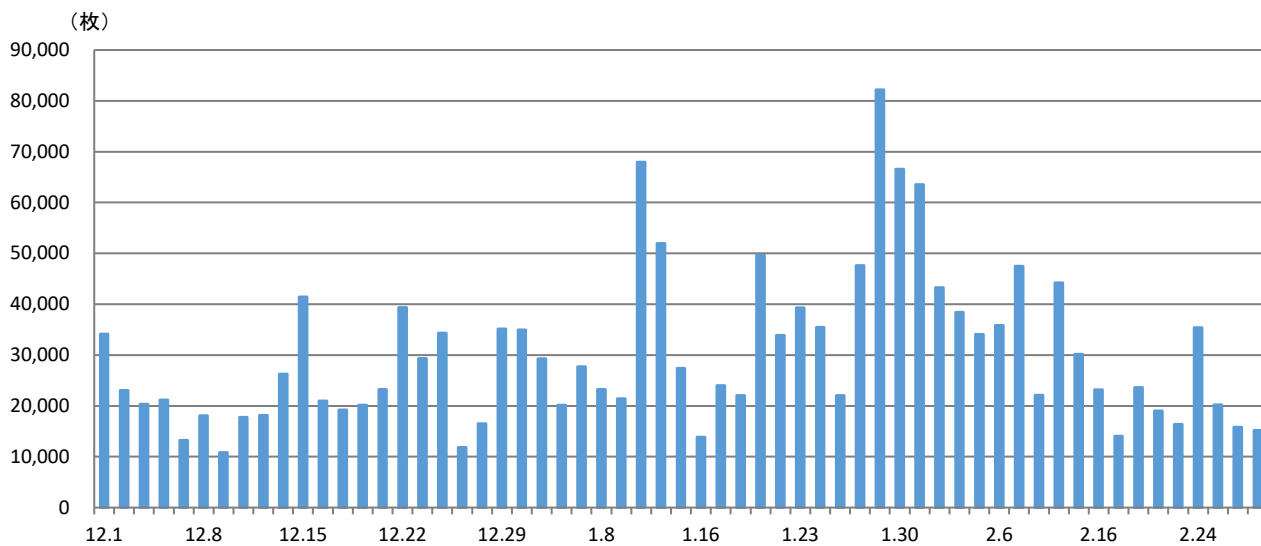
図 1 毎日の値動き（金（標準））R7. 12. 1～R8. 2. 27



- 注： 1 令和 7 年 12 月 1 日から令和 8 年 2 月 27 日までの期先限月の清算数値（帳入値）。  
 2 大阪取引所 H P 商品先物価格情報をもとに農林水産省において作成。  
 3 価格は 1 g。

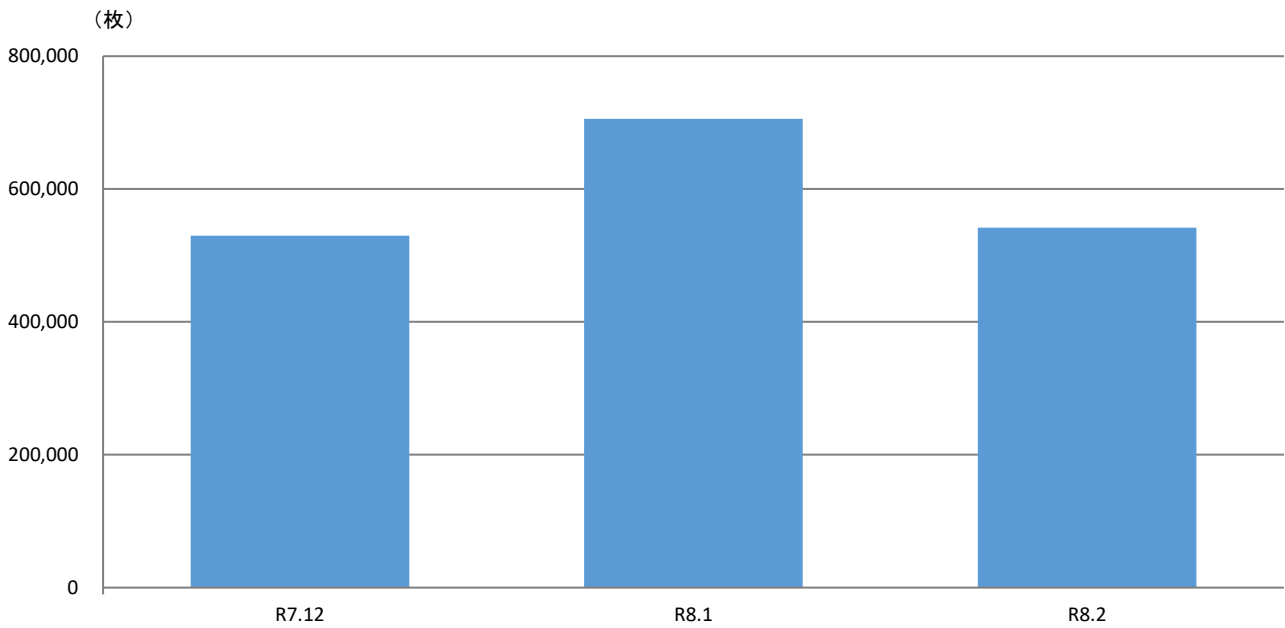
### イ 出来高

図 2-1 毎日の出来高の動き（金（標準））R7. 12. 1～R8. 2. 27



- 注： 1 令和 7 年 12 月 1 日から令和 8 年 2 月 27 日までの金（標準）の毎日の出来高。  
 2 大阪取引所 H P 商品先物価格情報をもとに農林水産省において作成。  
 3 出来高 1 枚当たりの取引単位は 1 kg。  
 4 J-NET 取引、ストラテジー取引は含まない。

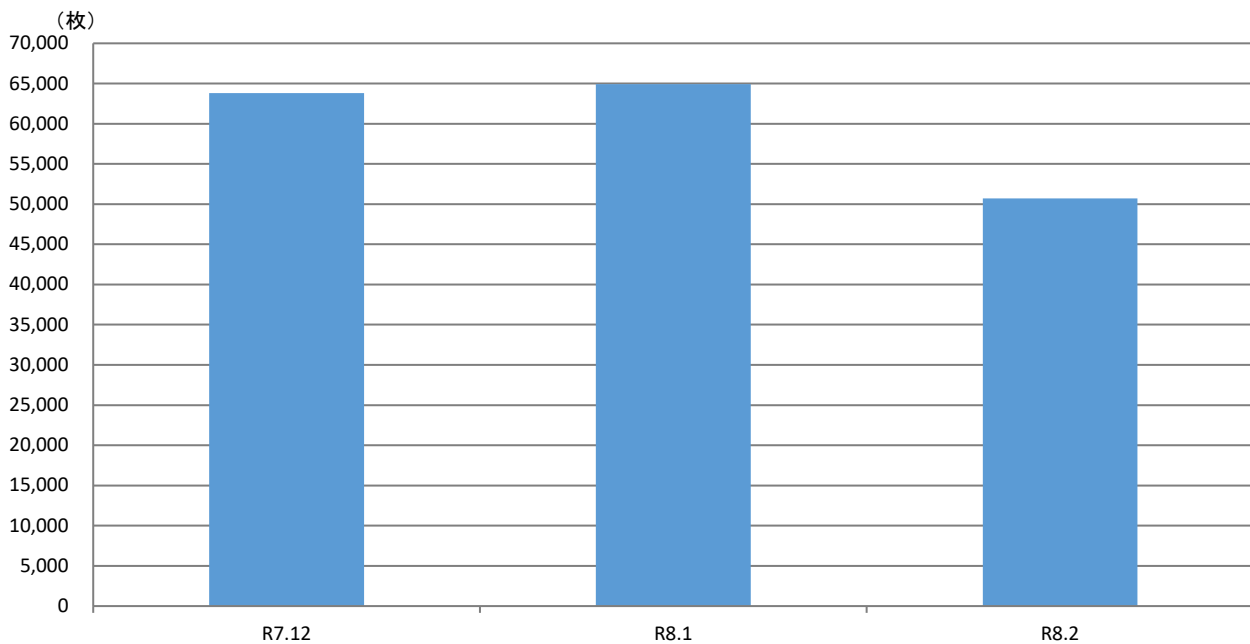
図2-2 毎月の出来高の動き（金（標準））R7.12.1~R8.2.27



- 注：1 令和7年12月から令和8年2月までの金標準の月間出来高合計。  
 2 大阪取引所HP商品先物価格情報をもとに農林水産省において作成。  
 3 出来高1枚当たりの取引単位は1kg。  
 4 J-NET取引、ストラテジー取引は含まない。

## ウ 取組高

図3 取組高（金（標準））R7.12~R8.2



- 注：1 令和7年12月から令和8年2月までの各月末時点での取組高合計。  
 2 大阪取引所HP商品先物価格情報をもとに農林水産省において作成。  
 3 取組高1枚当たりの取引単位は1kg。

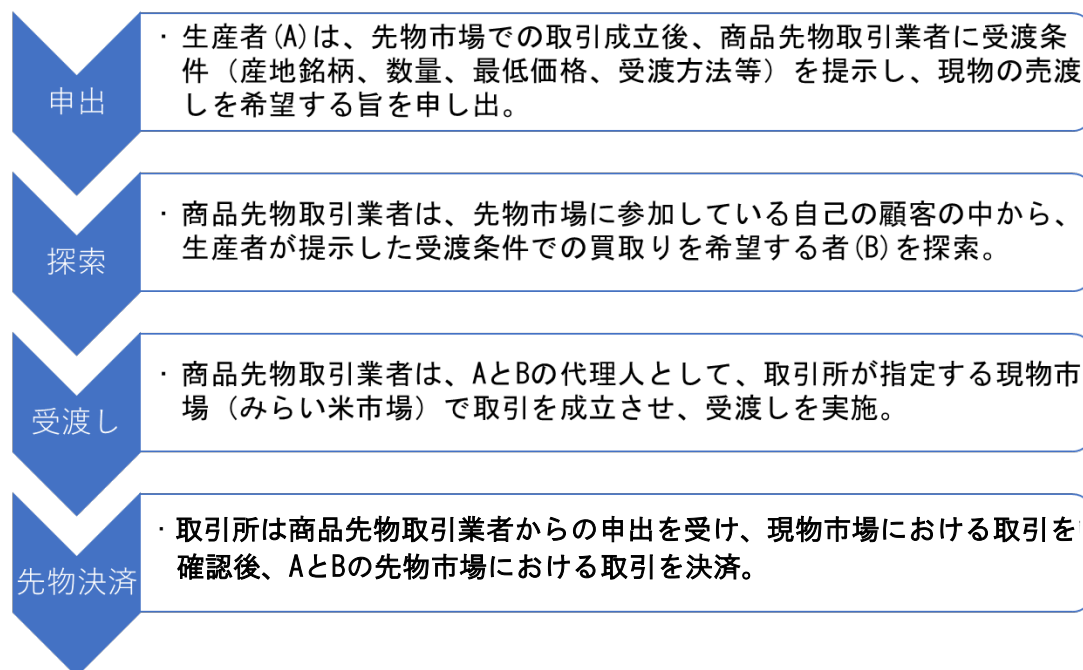
## 3 參考資料



## (1) 現物市場と先物市場（堂島取引所）との連携について

現物の受渡しを希望する当業者は、先物市場（堂島取引所）での取引成立後、商品先物取引業者を通じて堂島取引所が指定する現物市場（みらい米市場）で売買を行うことにより、現物の受渡しを行うとともに、先物市場での取引を結了させることができる（なお、対応できる商品先物取引業者については堂島取引所に御照会ください。）。

### ア 生産者が現物市場での受渡しを行う場合の流れ



### イ みらい米市場の概要

趣旨	・産地や品種・銘柄だけでない米の品質や付加価値を評価して取引できるマーケットを創出することを目的として開設（R5年10月）
仕組み	・登録を受けた生産者、集荷業者、卸売業者等が参加者となってオンラインで ① オークション方式 ② 買い手からのオーダー方式 で米の売買を実施
登録要件	・販売者の登録要件 ①米の生産者、ならびに生産者グループ、協同組合、企業等で、米の生産を行っていることが当社の要求する客観的な資料等で確認できる者 ②業務を安定的に行う体制が整っていること ③主要食糧の需給および価格の安定に関する法律（以下「食糧法」という。）第47条の規定に基づき米穀の出荷または販売の事業を行おうとする者として農林水産大臣に届出を行い受理された者 ④その他、米の販売事業者として適正であると当社が判断した者  ・購買者の登録要件 ①食糧法第47条の規定に基づき米穀の出荷または販売の事業を行おうとする者として農林水産大臣に届出を行い受理された者 ②業務を安定的に行う体制が整っていること ③年間10トン以上の米穀の取扱いがあり、与信等によって信頼性が確認された者 ④その他、米の購買事業者として適正であると当社が判断した者
利用料(売り手のみ、買い手無料)	売買数量が10トン未満の場合、売買代金(税込)の1%(税別) 売買数量が10トン以上の場合、売買代金(税込)の0.5%(税別)
取引単位	販売者が設定可能（30kg/袋～）
問合わせ先	電話番号：080-9438-2860 メールアドレス：support@rice-market.com URL：https://rice-market.jp/what-is-rmt

## (2) 米先物取引に係るこれまでの主な経過

- 平成17年12月9日 ・東京穀物商品取引所が米の試験上場を認可申請
- 平成17年12月16日 ・関西商品取引所が米の試験上場を認可申請
- 平成18年4月12日 ・米の試験上場を不認可
- 平成23年3月8日 ・東京穀物商品取引所及び関西商品取引所が米の試験上場を認可申請
- 平成23年7月1日 ・米の試験上場を認可
- 平成23年8月8日 ・取引開始
- 平成24年5月29日 ・東京穀物商品取引所が農産物市場の移管の方針を公表  
平成25年2月を目途に、大豆等を東京工業品取引所に、米穀を関西商品取引所に移管
- 平成24年12月14日 ・関西商品取引所から大阪堂島商品取引所への名称変更を認可（平成25年2月12日に変更）
- 平成25年2月12日 ・国内の3つの商品取引所を2つの商品取引所に再編  
東京穀物商品取引所は2月8日に農産物市場の立会を停止し、平成24年5月公表の再編方針に基づき、大豆等を東京商品取引所（旧東京工業品取引所）に、米穀を大阪堂島商品取引所（旧関西商品取引所）に移管
- 平成25年7月8日 ・大阪堂島商品取引所が試験上場の2年間の延長を申請
- 平成25年8月7日 ・米の試験上場の2年間の延長を認可
- 平成26年4月21日 ・大阪堂島商品取引所が東京コメ（平成26年10月限以降）について、受渡供用品を農産物検査法に基づく検査規格水稻うるち玄米合格品の全てに拡大するとともに、取引単位を受渡単位と同じ1枚12トンに拡大
- 平成27年4月13日 ・大阪堂島商品取引所が大阪コメ（平成27年10月限以降）について、標準品を石川及び福井コシヒカリから滋賀及び三重コシヒカリに変更
- 平成27年4月21日 ・大阪堂島商品取引所が東京コメ（平成27年10月限以降）について、標準品を茨城、栃木及び千葉コシヒカリから栃木あさひの夢、群馬あさひの夢、埼玉彩のかがやき、千葉ふさおとめ及び千葉ふさこがねに変更
- 平成27年7月21日 ・大阪堂島商品取引所が試験上場の2年間の再延長を申請
- 平成27年8月6日 ・米の試験上場の2年間の再延長を認可
- 平成28年10月21日 ・大阪堂島商品取引所が標準品に新潟コシヒカリを追加
- 平成29年7月11日 ・大阪堂島商品取引所が本上場を申請
- 平成29年8月4日 ・大阪堂島商品取引所が本上場の申請を取り下げ、試験上場の2年間の再々延長を申請
- 平成29年8月7日 ・米の試験上場の2年間の再々延長を認可
- 平成30年10月15日 ・大阪堂島商品取引所が取引方法を板寄せ方式からザラバ方式に変更
- 平成30年10月22日 ・大阪堂島商品取引所が標準品を大阪コメから秋田こまちに変更
- 平成31年3月8日 ・大阪コメの取引を終了
- 令和元年7月16日 ・大阪堂島商品取引所が本上場を申請
- 令和元年7月29日 ・大阪堂島商品取引所が本上場の申請を取り下げ、試験上場の2年間の再々延長を申請
- 令和元年8月7日 ・米の試験上場の2年間の再々々延長を認可
- 令和2年4月21日 ・大阪堂島商品取引所が秋田こま치의取引単位を1.02トンに小口化し、標準品に宮城ひとめぼれを追加
- 令和3年2月19日 ・取引単位が12.24トンの秋田こま치의取引を終了

- 令和3年3月19日 ・ 会員制組織から株式会社への大阪堂島商品取引所の組織変更を認可（令和3年4月1日に変更）
- 令和3年3月22日 ・ 大阪堂島商品取引所が標準品に新潟コシヒカリEXWを追加
- 令和3年7月16日 ・ 大阪堂島商品取引所が本上場を申請
- 令和3年8月6日 ・ 米の本上場を不認可
- 令和3年8月7日 ・ 米の試験上場期間の終了
- 令和3年8月10日 ・ 大阪堂島商品取引所から堂島取引所へ名称変更
- 令和6年2月21日 ・ 堂島取引所が米穀指数の本上場を申請
- 令和6年6月21日 ・ 米穀指数の本上場を認可
- 令和6年8月13日 ・ 米穀指数の取引開始

## 【商品先物取引のリスクについて】

商品先物取引は、相場の変動幅が小さくても大きな額の利益又は損失が生ずるハイリスク・ハイリターンの取引であり、また、商品先物市場の価格変動が予測に反して推移した場合には損失が発生する可能性や預託した取引証拠金等の全額を上回る損失が発生するおそれがあります。

商品先物取引を行う場合には、これらの点を含め、取引の仕組みやリスクについて十分に理解した上で、許可を受けた商品先物取引業者又は登録を受けた商品先物取引仲介業者を通じて行っていただきますようご注意願います。

この他、商品先物取引に関する注意点等については、農林水産省のホームページなどをご覧ください。

【農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部 商品取引グループ HP】

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/syoutori/index.html>

【堂島取引所 HP】

<http://www.odex.co.jp/index.html>

【日本取引所グループ HP（大阪取引所・東京商品取引所）】

<https://www.jpx.co.jp/index.html>

【日本商品先物取引協会 HP】

<https://www.nisshokyo.or.jp/index.html>

【本レポートに関するお問い合わせ先】

農林水産省大臣官房新事業・食品産業部  
商品取引グループ

代表：03-3502-8111（内線 4177）

ダイヤル：03-6744-1860



[商品取引グループ HP]